

ネットワークレコーダ

6ch 映像表示録画装置

ユーザーマニュアル

Network Video Recorder

- ご使用になる前に必ず本書をお読みにになり、正しくお使いください。
- 本書はなくさないように大切に保管し、いつでも手にとって見られるようにしてください。

ご注意

- 本書の中に含まれる情報は、当社(ハイテクインター株式会社)の所有するものであり、当社の同意なしに、全体または一部を複写または転載することは禁止されています。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一、ご不審な点や誤り、記載漏れなどのお気づきの点がありましたらご連絡ください。

改版履歴

第 1 版 2022 年 6 月 29 日 新規作成

ご使用上の注意事項

- 本機を正しく安全に使用できるように、本ユーザーマニュアルを熟読ください。
- 本ユーザーマニュアルには技術的に間違っただ箇所や印刷エラーがいくつか存在することがあります。アップデートは本ユーザーマニュアルの新バージョンに追加されます。本ユーザーマニュアルの内容は予告なしに変更されることがあります。
- 本機は、マーキングラベルに記載されているタイプの電源からのみ操作してください。電源の電圧は、使用前にご確認ください。長期間使用しない場合は、電源コードを電源から取り外してください。
- ラジエータ、ヒートレジスタ、ストーブなどの発熱源の近くに本製品を設置しないでください。
- 本機を水の近くに設置しないでください。乾いた布でのみクリーニングください。
- 本機の換気口を塞がずに、周囲を適切に換気してください。
- 通常の録画状態で、本製品の電源を切らないでください。
- 本機は屋内でのみ使用できます。雨や湿気の多い場所に本製品を置かないでください。固体または液体が本製品のケースに入った場合、すぐに電源を切って、有資格技術者に確認してください。
- 技術的支援や承認を得ずに、自分で修理しないでください。
- 本機を使用する場合、Microsoft、Apple、Google の関連コンテンツが含まれます。本ユーザーマニュアルの写真とスクリーンショットは、当社製品の使用方法を説明するためだけに使用しています。Microsoft、Apple、Google に関連する商標、ロゴおよびその他知的財産の所有権は、上記の企業に帰属するものとします。
- 本マニュアルでは、当社が所有していない商標、製品名、サービス名、会社名、製品はそれぞれの所有者の財産です。
- 本機を修理または交換のために返却される前に、本装置に保存されている個人データをバックアップしてクリアすることをお勧めします(修理または交換の目的に不可欠なデータを除く)。本装置はデフォルトの工場出荷時の設定に復元され、すべての個人データはクリアされます。当社は、本装置が交換された場合、お客様のデータが第三者に提供されないことを保証します。
- 本ユーザーマニュアルは多くのモデルが対象です。本ユーザーマニュアルで使用されているすべての例と画像は、対象のモデルのいずれかからのもので、お使いのモデルと異なる場合があります。

免責事項

- インターネットアクセスのある製品に関しては、製品の使用は完全に自己のリスクにあるものとします。当社は、サイバー攻撃、ハッカー攻撃、ウイルス検査、その他のインターネットセキュリティリスクに起因する異常な動作、プライバシー漏洩、その他の損害に対して無責任であるものとします。ただし、必要に応じてタイムリーな技術サポートを行います。
- 監視法は国によって異なります。監視目的のためにこの製品を使用する前に、お住まいの地域のすべての法律を確認してください。当社は、違法な業務に起因するいかなる結果にも責任を負いません。本書と適用法との間に矛盾が生じた場合、後者が優先されます。
- 個人データの保存は、ユーザーが使用する記憶装置の容量と、デバイスに保存されているすべてのデータを自分で処理する必要があります。当社は、データの損失について責任を負いません。

サイバーセキュリティに関する推奨事項

- 強力なパスワードを使用してください。8 文字以上の文字、数字、大文字と小文字の組み合わせをパスワードにすることを推奨します。
- パスワードの有効期限を設定し、定期的に装置のパスワードを変更して、許可されたユーザーのみがシステムにアクセスできるようにしてください。(推奨時間は 90 日です)。
- インターネットと通信できる場合、システムは自動的に最新のファームウェアバージョンを 1 日 1 回チェックします。最新バージョンを確認したら、最新のセキュリティパッチと修正プログラムでシステムを最新にするため、更新することをお勧めします。
- サービスのデフォルトポート(HTTP-80、HTTPS-443 など)を変更して、部外者がアクセスできるリスクを低減することを推奨します。
- ルータのファイアウォールを設定することをお勧めします。ただし、重要なポート(HTTP ポート、HTTPS ポート、データポートなど)を閉じることができない点に注意してください。
- 本製品をパブリックネットワークに公開することはお勧めしません。パブリックネットワークに公開する必要がある場合は、外部ハードウェアファイアウォールと対応するファイアウォールポリシーを設定してください。
- SNMP の v1 および v2 機能を使用することはお勧めしません。
- WEB クライアントアクセスのセキュリティを強化する場合は、TLS 証明書を作成して HTTPS を有効にするなどを行ってください。
- IP アドレスをフィルタリングするには、ブラックリストとホワイトリストを使用します。これにより、指定された IP アドレスを除くすべてのユーザーがシステムにアクセスできなくなります
- 複数のユーザーを追加する場合は、ゲストアカウントの機能を制限してください。
- UPnP を有効にすると、ルータまたはモデムのポートが自動的に転送されます。ユーザーにとっては便利ですが、データ漏洩のリスクが高まります。
- システムは自動的にポートを転送します。機能が実際のアプリケーションで使用されていない場合は、UPnP を無効にすることをお勧めします。
- 本製品が承認されていないユーザーによってアクセスされたかどうかを知りたい場合は、ログを確認します。システムログには、システムのログインに使用された IP アドレスとアクセスされた IP アドレスが記録されます。

規制情報

FCC 情報


1. FCC コンプライアンス

本製品は、協議会 FCC の規則と規制パート 15 サブパート B に準拠しています。これらの制限は、有害な干渉に対する合理的な保護を提供するように設計されています。この装置を使用すると、無線周波数エネルギーを放射され、取り扱い説明書に従って設置および使用しない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ただし、設置で干渉が発生しない保証はありません。有害な干渉が発生した場合、ユーザーは自費で画面を修正する必要があります。

2. FCC の条件:

本製品の動作は、次の 2 つの条件の対象となります:(1)本製品は有害な障害を発生させないこと、(2)本機は、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、あらゆる干渉を受け入れること。

CE 情報

 本製品は、次の指令に準拠するように製造されています。

EMC 指令 2014/30/EU

RoHS

本製品は、電気および電子機器における特定の有害物質の使用の制限に関する指令 EU RoHS 指令 2011/65/EU および修正指令 EU 2015/863 に従って設計され、製造されています。



2012/19/EU(WEEE 指令):廃電・電子機器に関する指令(WEEE 指令)。WEEE の環境管理を改善するためには、寿命の末に電子機器の回収、処理、リサイクルの改善が不可欠です。したがって、この記号でマークされた製品は、責任ある方法で廃棄する必要があります。

指令 94/62/EC:この指令は、包装および包装廃棄物および環境保護の管理を目的としています。本書に記載されている製品の包装・包装廃棄物は、適切なリサイクルと環境保護のために、指定された収集ポイントで廃棄する必要があります。

REACH(EC1907/2006): REACH は化学物質の固有特性をより適切かつ早期に同定することで、人の健康と環境の高いレベルの保護を確保することを目的とした化学物質の登録、評価、認可、制限に関するものです。本書の製品は、REACH の規則および規則に準拠しています。REACH の詳細については、**DG GROWTH** または **ECHA** のウェブサイトをご覧ください。

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために

ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。

お読みになった後はいつでも見られる所に保管してください。

尚、本製品のファームウェアバージョンによっては、本書に記載のメニューと異なる場合があります。

絵表示について

この取扱説明書および本機への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

お買い上げになった機器に当てはまらない注意事項もありますが、ご了承ください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



○記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

使用上の注意



警告



●本機に乗らない！

倒れたり、こわれたりしてけがの原因になることがあります。



●本機の上に重いものを置かない！

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因になることがあります。



●移動させる場合は、必ず電源スイッチを切り、プラグを抜き、機器間の接続ケーブルをはずす！

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



●長期間使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く！

火災の原因となることがあります。



●専用 AC アダプタ以外は使用しない！

定格外の AC アダプタを使用すると、火災・感電の原因になることがあります。



●電源コードを傷つけない！ 加工しない！ 無理に曲げない！ ねじらない！

引っ張らない！ 加熱しない！

コードが破損して火災・感電の原因となります。



●雷が鳴り出したら、同軸コネクタ/ケーブルや電源プラグに触れない！

感電の原因になります。



●指定された消費電力 (W) を越える装置は接続しない！

火災の原因となります。本機の AC アウトレットが供給できる電力 (W) は AC アウトレット付近または取扱説明書に表示してあります。



●レンズで太陽・照明などをのぞかない！

強い光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。



●本機のケース・裏パネル等をはずさない！

内部には高圧の部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店または営業マンにご依頼ください。



●本機の上に水などの入った容器を置かない！

こぼれて中に入ると、火災・感電の原因になります。

**●風呂、シャワー室などの水場では使用しない！**

火災・感電の原因となります。

**●本機の上に小さな金属物を置かない！**

中に入ると、火災・感電の原因となります。

**●表示された電源電圧以外は使用しない！**

火災・感電の原因となります。

**●本機に水を入れたり、濡らしたりしない！**

火災・感電の原因になります。

雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。

**●本機の開口部から金属物や燃えやすいものなどの異物を差し込まない！落とし込まない！**

火災・感電の原因となります。

**●本機を改造しない！**

火災・感電の原因となります。

設置について



警告

**●不安定な場所に置かない！**

落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

**●電源コードの上に重いものを置かない！本機の下敷きにしない！**

コードが傷ついて、火災・感電の原因になります。コードの上を敷物などで覆うと、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。

**●水場に設置しない！**

火災・感電の原因となります。

**●指定された機器以外とは接続しない！**

火災・感電の原因となります。

**●本機の固定は工事専門業者に依頼を！**

本機を固定する場合は、指定された方法できちんと固定しないと、落ちたり、倒れたりして、火災・感電・けがの原因になります。特に、壁や天井に固定する場合は、必ず工事専門業者にご依頼ください。なお、取付け費用については、販売店または営業マンにご相談ください。

● **湿気やほこりの多い場所に置かない！**

火災・感電の原因となることがあります。

● **調理台や加湿器のそばなど油煙や湿気が当たる場所に置かない！**

火災・感電の原因となることがあります。

● **本機の通風孔をふさがない！**

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。

- ・本機を仰向けや横倒し、逆さまにする。風通しの悪い狭い所に押し込む。
- ・じゅうたんや布団の上に置く。テーブルやクロスなどを掛ける。

● **電源コードを熱器具に近づけない！**

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

● **電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない！**

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

● **濡れた手で電源プラグを抜き差ししない！**

感電の原因となることがあります。

異常時の処理について



警告

● **煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態の場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！**

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

煙が出なくなるのを確認して、販売店または営業マンに修理をご依頼ください。

お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

● **本機の内部に水などが入った場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！**

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

販売店または営業マンにご連絡ください。

● **本機の内部に異物が入った場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！**

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

販売店または営業マンにご連絡ください。



● **本機が故障した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！**

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

販売店または営業マンに修理をご依頼ください。



● **本機を落としたり、ケースが破損した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！**

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

販売店または営業マンにご連絡ください。



● **電源コードが傷んだ (芯線の露出・断線など) 場合は、交換を依頼する！**

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

販売店または営業マンに交換をご依頼ください。

乾電池について(使用モデル)



● **機器使用の乾電池を、お子様の手の届くところに置かない！**

電池はお子様の手が届かない所に置いてください。

万一、飲み込んだ場合は医師に相談してください。



● **指定以外の乾電池は使用しない！**

乾電池の破裂・液もれにより、火災・けが・周囲を汚損する原因となることがあります。



● **新しい電池と古い電池を混ぜて使わない！**

乾電池の破裂・液もれにより、火災・けが・周囲を汚損する原因となることがあります。



● **乾電池は極性 (+・-) を正しくつなぐ！**

間違えると、乾電池の破裂・液もれにより、火災・けが・周囲を汚損する原因となることがあります。



● **乾電池を分解・加熱しない！火中・水中に投げ入れない！**

ショートや破裂・液もれにより、火災・けがの原因となることがあります。

お手入れについて



注意



● **お手入れの際は安全のため、スイッチを切り電源プラグを抜く！**

感電の原因となることがあります。



● **一年に一度くらいは、販売店または営業マンに内部の掃除の相談を！**

本機の内部にほこりがたまったまま使用し続けると、火災・故障の原因になることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行くと、より効果的です。

なお、掃除費用については販売店または営業マンにご相談ください。

**注意**

本パッケージに含まれる内容に損傷、不足、不適當なものがあった場合、お住まいの地域の販売店までご連絡ください。本製品の不正改造を行うと保証の対象外となります。

その他**通知**

- 本書に記載された情報は予告なしに変更される場合があります。
- 本書に含まれる情報は、あくまで参考用とみなされます。

**通知**

- ハードディスクドライブは消耗品です。
- 本機がさらされる環境や使用環境によってはハードディスクドライブの寿命を短くすることがありますのでご注意ください。
- ハードディスクドライブの交換、増設についてはハイテクインター(株)の代理店もしくは弊社営業担当にご連絡ください。
- お客様によってハードディスクドライブの交換、増設を実施された結果について、ハイテクインター(株)はその責を負うものではありません。

**通知**

- インターネットを経由する機能については、お客様のインターネット環境に合わせた設定が必要です。
- お客様のインターネット環境の変更が必要となる場合もあります。

目次

1 はじめに	1
1.1.概要	1
1.2.機能	1
1.3 背面パネルの説明	4
1.4.接続	5
2 基本操作ガイド	6
2.1.起動とシャットダウン.....	6
2.1.1.起動	6
2.1.2.シャットダウン	6
2.2 .マウスコントロール	6
2.3.テキスト入力命令.....	7
2.4.共通ボタン操作.....	7
3 ウィザードとメイン画面	8
3.1.起動ウィザード.....	8
3.2.メイン画面	15
3.2.1.メイン画面について.....	15
3.2.2.設定メニュー.....	17
3.2.3.主な機能	19
4 カメラ管理	20
4.1.カメラの追加/編集.....	20
4.1.1.カメラの追加.....	20
4.1.2.カメラの編集.....	21
4.1.3.カメラ信号.....	22
5 ライブ画面の概要	24
5.1 ライブ画面の概要	24
5.2.表示モード.....	26
5.2.1.表示モードによるプレビュー	26
5.2.2.クイックシーケンスビュー	28
5.2.3.スキームビューの順番	29
5.3.POS 設定.....	30
5.4.プレビュー画像設定	32
5.4.1.OSD 設定	32
5.4.2.画像設定.....	32
5.4.3.マスク設定	34
5.4.4.魚眼の設定	35

5.4.5.画像調整.....	36
6 PTZ.....	39
6.1.PTZ 制御画面の概要.....	39
6.2.プリセット設定.....	43
6.3.クルーズ設定.....	44
6.4.プロトコル設定.....	45
7 録画と HDD の管理.....	46
7.1.録画の設定.....	46
7.1.1.モード設定.....	46
7.1.2.録画スケジュール設定.....	49
7.1.3.高度な設定.....	52
7.2.エンコードパラメータの設定.....	53
7.3.録画モード.....	55
7.3.1.手動録画.....	55
7.3.2.時間設定録画.....	55
7.3.3.動体検知録画.....	55
7.3.4.センサー検知録画.....	55
7.3.5.スマート検知イベント録画.....	55
7.4.HDD.....	56
7.4.1.HDD の管理.....	56
7.4.2.記録モードの設定.....	56
7.4.3.HDD と S.M.A.R.T 情報の表示.....	57
8 再生とバックアップ.....	58
8.1.クイック再生.....	58
8.2.再生画面について.....	58
8.3.スマート再生.....	63
8.4.録画検索、再生、バックアップ.....	66
8.4.1.時間分割された画像による検索、再生、バックアップ.....	66
8.4.2.スマートサーチ.....	68
8.4.3.検索、再生、バックアップ(時間別).....	70
8.4.4.イベント別の検索、再生、バックアップ.....	71
8.4.5.タグによる検索と再生.....	71
8.4.6.画像管理.....	72
8.4.7.バックアップ状態の表示.....	73
9 スマート検知管理.....	74
9.1.物体の検出.....	74
9.2.異常対応.....	76
9.3.改竄の検出.....	78

9.4.侵入検知.....	80
10 一般的なイベント管理.....	82
10.1.センサーアラーム.....	82
10.2.動体検知アラーム.....	84
10.2.1.動体検知設定.....	84
10.2.2.動体検知アラーム処理設定.....	85
10.3.例外アラーム.....	85
10.3.1.IPC オフライン設定.....	85
10.3.2.ビデオロス設定.....	86
10.3.3.異常処理設定.....	86
10.4.アラームイベント通知.....	87
10.4.1.アラーム出力.....	87
10.4.2.電子メール.....	88
10.4.3.画面.....	88
10.4.4.ブザー.....	88
10.4.5.プッシュ通知.....	89
10.4.6.アラームサーバ.....	89
10.4.7.スケジュール編集.....	89
10.5.手動アラーム.....	90
10.6.アラーム状態の表示.....	91
11 アカウントとアクセス許可の管理.....	92
11.1.アカウント管理.....	92
11.1.1.ユーザーの追加.....	93
11.1.2.ユーザーの編集.....	94
11.2.ユーザーログインとログアウト.....	95
11.3.権限管理.....	96
11.3.1.アクセス許可グループの追加.....	96
11.3.2.権限グループ編集.....	97
11.4.許可リスト(ホワイトリスト)と不許可リスト(ブラックリスト).....	97
11.5.ログアウト時のプレビュー.....	98
11.6.パスワードセキュリティ.....	98
11.7.オンラインユーザーの表示.....	99
12 デバイス管理.....	100
12.1.ネットワーク設定.....	100
12.1.1.TCP/IP 設定.....	100
12.1.2.ポート設定.....	101
12.1.3.PPPoE 設定.....	103
12.1.4.DDNS 設定.....	104
12.1.5.電子メールの設定.....	106

12.1.6.UPnP 設定.....	108
13.1.7.802.1X	108
12.1.8.NAT 設定.....	109
12.1.9.FTP 設定	110
12.1.10.プラットフォームアクセス.....	111
12.1.11.SNMP.....	112
12.1.12.3G/4G	113
13.1.13.ネットワーク状態の表示	114
12.2.システム設定	115
12.2.1.一般設定.....	115
12.2.2.日付と時刻の設定	116
12.2.3.OSD 設定	117
12.3.初期設定.....	117
12.4.デバイスソフトウェアのアップグレード	118
12.5.バックアップと復元	120
12.6.自動メンテナンス	121
12.7.ログの表示.....	121
12.8.システム情報の表示.....	122
13 遠隔監視	124
13.1.モバイルクライアント監視 [Super Live Plus].....	124
13.2.パソコン監視 [Web CLIENT] LAN アクセス	125
13.3. パソコン監視 [Web CLIENT] WAN アクセス	125
13.4.Web CLIENT について（遠隔監視）	127
13.4.1.リモートプレビュー	128
13.4.2.リモート再生	131
13.4.3.リモート検索とバックアップ.....	133
13.4.5.機能パネル.....	134
付録	135
付録 A：よくある質問.....	135
付録 B：記録容量を計算する.....	140
付録 C：互換デバイス一覧.....	142
付録 D：通信ポートリスト.....	143
製品仕様.....	144
製品保証.....	145

1 はじめに

1.1.概要

HDR-R シリーズは、アナログハイビジョン信号フォーマットに対応し、IP カメラも接続が可能なハイブリッドデジタルレコーダーです。アナログ HD 信号は、AHD、HD-TVI、HD-CVI、の全てのフォーマットをサポートし、従来の CVBS (NTSC/PAL)信号をもサポートします。

記録圧縮方式に H.265 を採用し、全チャンネル 15fps(アナログ)/30fps(IP)の高フレームレートで、ハイビジョンの高画質映像を高圧縮記録します。

既設の同軸ケーブルを流用したハイビジョン映像監視システムの構築や、アナログカメラと IP カメラが混在するシステムが構築できるなど、柔軟でコストパフォーマンスに優れた監視システムの導入可能なエントリークラスのレコーダーです。

1.2.機能

🔑特徴

- AHD、HD-TVI、HD-CVI の三種類のアナログハイビジョンフォーマットに対応。NTSC 信号も入力可能。
- アナログカメラに加えて、ハイテクインターブランドの IP カメラや ONVIF-S 対応の IP カメラを同時に接続可能です。
- アナログ HD カメラ、IP カメラ、どちらもフルハイビジョン解像度をサポート。
- 記録圧縮方式に H.265 を採用し、ハイビジョン解像度の IP カメラなら全 CH を 30fps の高フレームレートで高画質・高圧縮記録が可能です。(アナログ HD/2Mpix は全 CH15fps)
- 連続、モーション、センサーの各種録画方式に対応しており、録画スケジュールも設定できます。
- カメラごとに録画画質及び録画フレーム数を設定することができます。
- HDD は最大 8TB に対応しています。
- モニタ出力は HDMI、VGA の 2 系統対応。スポット出力 (CVBS) も装備。
- 録画を止めることなく検索・再生・バックアップが可能です。
- 録画映像は USB フラッシュメモリに簡単にバックアップできます。独自フォーマットの他、AVI 形式でのバックアップが可能です。
- ネットワーク機能で、LAN/インターネット経由で、パソコン、タブレット端末、スマートフォンを使った映像監視が可能です。

🔑基本機能

- バレットカメラ/ドームカメラ、ONVIF IP カメラなどのネットワークデバイスをサポートしています。
- 標準 ONVIF プロトコルをサポートしています。
- IP カメラの簡単追加または手動追加をサポートしています。
- カメラの OSD、ビデオパラメータ、マスク、モーションなど一括設定または個別設定をサポートしています。
- シーン変更、ビデオカラーキャスト検出、ビデオぼかし検出、侵入検知(領域入口/出口検出)など、IP カメラの複数のスマート検出と連携をサポートしています。(IP カメラが機能をサポートしている場合)
- 録画映像の再生とバックアップをサポートしています。
- システムへのアクセス許可グループ (管理者、上級者、および通常のユーザー) をサポートしています。
- 複数のユーザーを作成し、ユーザーごとに個別に権限設定ができます。
- 複数のウェブクライアントからのログインをサポートしています。(モデルによる)

🌟 ライブ画面

- 1/4/6/9 などの分割画面をサポートしています。
- カメラ映像の表示比率を自動調整する機能をサポートしています。
- カメラのマイクを使用した音声監視をサポートしています。(マイクを内蔵したカメラが必要です)
- スナップショット(手動:静止画保存)をサポートしています。
- プレビューウィンドウのクイックツールバー操作をサポートしています。
- 動体検知設定とプライバシーマスクをサポートしています。
- マウスのスクロールホイールをスライドさせて映像を拡大することができます。
- 画像の任意の領域を最大 16 倍に拡大表示することができます。
- ライブビュー画面からカメラ追加をサポートしています。

🌟 ディスクの管理

- NVR は最大 1 個の SATA HDD を搭載できます。
- HDD の状態を表示することができます。

🌟 録画設定

- スケジュール録画、センサーアラーム録画、モーション検出録画などをサポートしています。
- 線、四角形、長方形を描画することでスマート再生をサポートしています。
- イベント発生時のプリ録画とイベント検知後の録画時間の設定ができます。

🌟 録画再生

- クイック再生機能に対応しています。マウス操作により再生日時や時間を簡単に設定できます。
- さまざまな検索方法をサポートしています。(スライス検索/日時検索/イベント検索)
- グリッド、ライン、四角形を描画することでスマート再生をサポート(一部のモデルでは顔によるスマート再生もサポートしています。)
- スライス検索で表示するカメラサムネイルにより日付、時間、分単位の検索をサポートしています。
- 手動タグ追加によるタグ検索をサポートしています。
- 早送り再生(通常速度の最大 32 倍)、コマ送り再生(通常速度の 1/32 倍)、前後 30 秒へのジャンプ再生をサポートしています。

🌟 録画映像バックアップ

- USB(USB メモリ、モバイル HDD)インターフェイスを介してのバックアップをサポートしています。
- 日時検索/イベント検索/タグ管理などからバックアップしたい時間を選択できます。
- 録画映像バックアップをバックグラウンドで実行およびバックアップ状態表示に対応しています。

🌟 イベント管理

- アラームスケジュールの設定をサポートしています。
- 動作検知、外部センサーアラーム入力、IP アドレスの競合アラーム、ディスク IO エラーアラーム、ディスクフルアラーム、ディスクアラームなし、不正アクセスアラーム、ネットワーク切断アラーム、IPC オフラインアラームなどの動作検出、外部センサーアラーム入力、組み合わせアラーム、インテリジェンスアラーム、例外アラームの有効化または無効化をサポートしています。
- PTZ、スナップ画像、ポップアップビデオなどの IPC オフラインアラームリンケージ設定をサポートしています。

- アラームアウト、ポップアップビデオ、ポップアップメッセージボックス、ブザー、電子メールなどのイベント通知モードをサポートしています。
- アラームリンケージがトリガされると、静止画像をメールに添付して送信できます。
- アラーム入力、アラーム出力、動体検知、例外アラームなどのアラーム発生時、アラーム状態を表示します。
- 例外発生時にシステム自動再起動をサポートしています。

✚ ネットワーク機能

- TCP/IP および PPPoE、DHCP、DNS、DDNS、UPnP、NTP、SMTP、FTP、SNMP プロトコルなどをサポートしています。
- IP アドレス/MAC アドレスを指定して、ブラックリスト/ホワイトリストを作成することができます。
- 遠隔操作、レコーダーの設定、NVR 設定値のバックアップと復元、リモート・アップグレードやシステムの再始動などのシステム保守操作をサポートしています。
- ビデオパラメータ、ビデオ画質など、NVR のリモートカメラ設定をサポートしています。
- レコーダーのリモート検索、リモート再生、リモートバックアップをサポートしています。
- アラーム出力をリモートでオン/オフする機能をサポートしています。
- オートフォーカスカメラはウェブクライアントを介して調整可能です。(ズームイン/アウトをサポートします。現在はワンプッシュフォーカスをサポートしていません。)
- スマートフォンやタブレット端末によるモバイル監視用の NAT 機能 QR コードをサポートしています。
- iOS または Android OS を搭載したスマートフォンやタブレット端末によるモバイル監視をサポートしています。
- Web クライアントを介して手動でカメラ録画を有効または無効に変更した場合、NVR 側も連動して有効または無効になります。

✚ その他の機能

- 設定メニューの上部にあるメニューをクリックすることで、簡単に別カテゴリのメニューに切り替えることができます。
- デバイス名、カメラの状態、アラーム状態、録画状態、ネットワークステータス、HDD ステータス、バックアップステータスなどをライブ画面から簡単に表示することができます。
- 工場出荷値へ復元、レコーダーの設定値インポート、レコーダー設定値バックアップ、ログ表示とログバックアップ、および USB メモリによるレコーダーのファームウェア更新をサポートしています。
- 右マウスボタンをクリックすると、任意のメニューから上位のメニューに戻ることができます。
- 中マウスボタンをクリックすると、任意のメニューからライブ画面に戻ることができます。

1.3 背面パネルの説明

ここでは、背面パネルのインターフェイスと接続について紹介します。モデルにより異なります。実際の装置を標準として使用してください。



NO	名前	説明
1	CAMERA IN	アナログカメラを接続します
2	AUDIO IN	音声入力 ※マイクなどの音声入力です。
3	HDMI	HDMI ケーブルで 4K x 2K などの高精細モニタに接続します。
4	VGA	VGA ケーブルでモニタに接続します。
5	LAN	LAN ケーブルを接続します。
6	USB	USB メモリまたは USB マウスを接続します。
7	Power Supply	電源ケーブルを接続します。
8	AUDIO OUT	音声出力 ※オーディオアンプ内蔵スピーカーなどに接続します。

1.4. 接続

- **ビデオ接続**

ビデオ出力:VGA/HDMI 高精細モニタ出力に対応しています。

- **音声接続**

音声入力:マイクなどに接続します。

音声出力:オーディオアンプ内蔵スピーカーなどに接続します。

2 基本操作ガイド

2.1. 起動とシャットダウン

本機の電源を入れる前に、すべての接続が正しく行われていることを確認してください。本機の寿命を延ばすには、適切な起動とシャットダウンが不可欠です。

2.1.1. 起動

- ① 本機の VGA または HDMI コネクタに高精細モニタを接続します。
- ② 本機の USB コネクタに付属のマウスを接続します。
- ③ 本機に電源を接続します。電源スイッチがある機種の場合、電源ボタンを ON にします。本機が起動し、電源 LED が青色に点灯します。
- ④ プライバシーに関する声明を読んだ後、ウィザードウィンドウがポップアップします(NVR を初めて使用するときは表示言語を選択する必要があります)。詳細については、「[3.1. 起動ウィザード](#)」を参照してください。

2.1.2. シャットダウン

付属のマウスを使用して、本機の電源をオフ（シャットダウン）にできます。

- ① [開始]→[終了]をクリックして、[終了]ウィンドウをポップアップ表示します。ウィンドウ内の[終了]を選択します。電源を切るために OK ボタンを押します。
- ② 電源が切れます。

2.2. マウスコントロール

▶ ライブ画面や検索再生画面でのマウスコントロール

ライブ画面や録画再生画面で、任意のカメラウィンドウをダブルクリックすると、ウィンドウがシングルスクリーンモードで表示されます。ウィンドウをもう一度ダブルクリックして、前のサイズに戻します。

ライブ画面や録画再生画面で、画面がフルスクリーンで表示されている場合は、マウスを画面の下部に移動してツールバーをポップアップします。マウスを離すと、しばらくしてマウスバーが自動的に消えます。マウスを画面の右側に移動してパネルをポップアップ表示する場合、マウスカーソルを左に移動するとパネルが自動的に消えます。

2.3.テキスト入力命令



テキスト入力ボックスには 2 つの入力ボックスがあります。上記の画像を参照してください。左側は数値入力ボックス、右側は数字、文字、句読点を入力するボックスです。

ボタン	説明	ボタン	説明
	バックスペースキー		数字、文字、句読点の切り替え
	デリート（削除）		エンター（確定）
	大文字と小文字の切り替え		スペース
	言語の切り替え		

2.4.共通ボタン操作

ボタン	説明
	メニューリストの表示
	リストの順序を変更
	カメラの表示モードを変更
	現在のインターフェイスを閉じる
	カメラ録画の最も古い日付に移動
	カメラ録画の最新の日付に移動
	消去、警報解除など解消時に使用
	OK, YES など承認時
	NO, CANCEL など変更しないで戻る場合

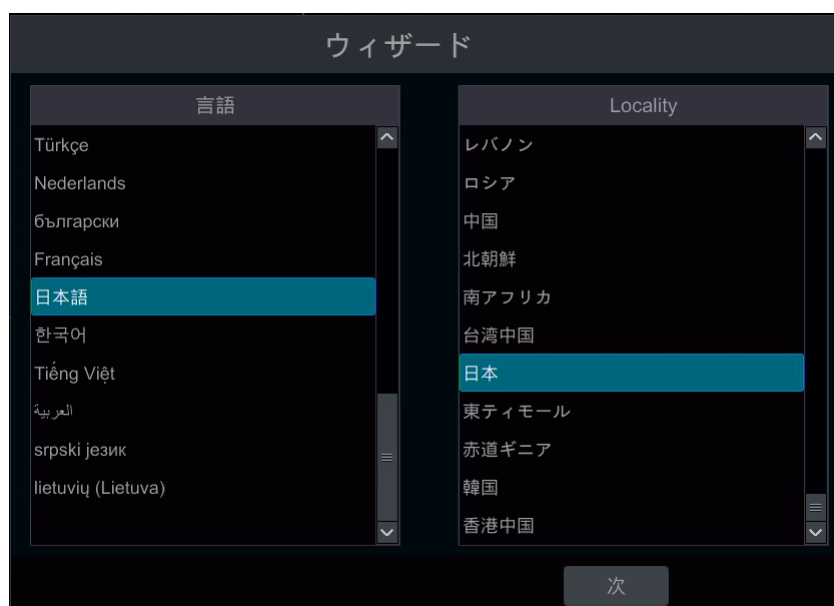
3 ウィザードとメイン画面

3.1.起動ウィザード

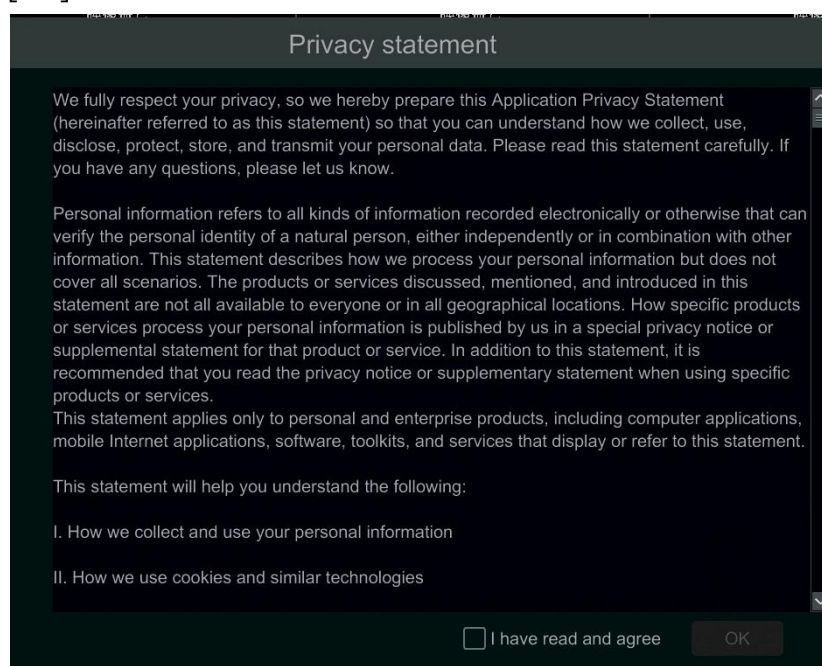
起動画面の上部にディスクアイコンが表示された場合、これらのアイコン(🟡:ディスクなし、🔴: ディスクが使用不可 🟢: RW 使用可能ディスク)で、HDD の搭載数とステータスを確認することができます。

ウィザードのセットアップで DVR を設定して、DVR を正常に動作させることができます。DVR を初めて起動する場合は、ウィザードを設定する必要があります(または、ウィザードをキャンセルして、次回設定することもできます。)。レコーダーのバージョンが異なると、ウィザードの手順が異なる可能性があります。次のウィザードの手順を参考にしてください。

- ① レコーダーを工場出荷状態に復元して初めて起動した場合、言語と地域を設定する画面を表示します。例えば、「日本語」と「日本(Japan)」を選択して、[次]をクリックします。



- ② ウィザードを初めて使用する場合は、プライバシーに関する声明を読み、「I have read and agree」にチェックマークを付けます。そして、[OK]をクリックします。



- ③ **日付と時刻の設定。**ウィザードを初めて使用する場合は、システムの日付と時刻を設定する必要があります。次の図を参照してください。タイムゾーン、システム時刻、日付形式、時刻形式、同期、映像形式を設定します。サマータイムを実施しているタイムゾーンを選択すると、サマータイムは有効になります。[次]をクリックして、続行します。

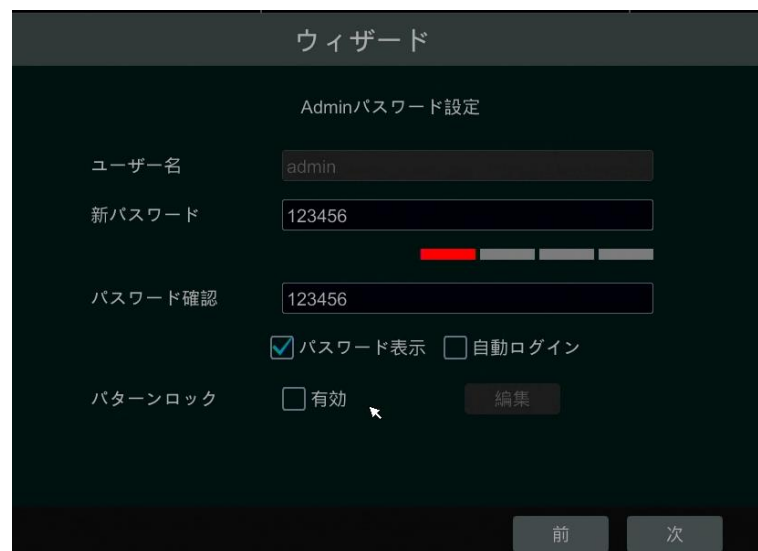


The screenshot shows the 'Wizard' (ウィザード) screen with the following settings:

- タイムゾーン: GMT+09大阪、札幌、東京、ソウル、イル
- システム時間: 2022/03/17 14:53:55
- 日付形式: 年/月/日
- 時間形式: 24時間
- サマータイム: オフ
- 同期: 手動
- NTPサーバー: time.windows.com
- 映像形式: NTSC

Buttons at the bottom: 前 (Previous), 次 (Next).

- ④ **システムログイン。**ウィザードを初めて使用する場合は、パスワードを設定します(システムの初期ユーザー名は“admin”、パスワードは“123456”です)。パスワードは後からでも変更できます。**※パスワードを忘れると、ログインできなくなります。リセットボタンなどで初期化することもできなくなります。初期パスワードを変更した場合は忘れないようにしてください。**



The screenshot shows the 'Wizard' (ウィザード) screen for 'Adminパスワード設定' (Admin Password Setting) with the following settings:

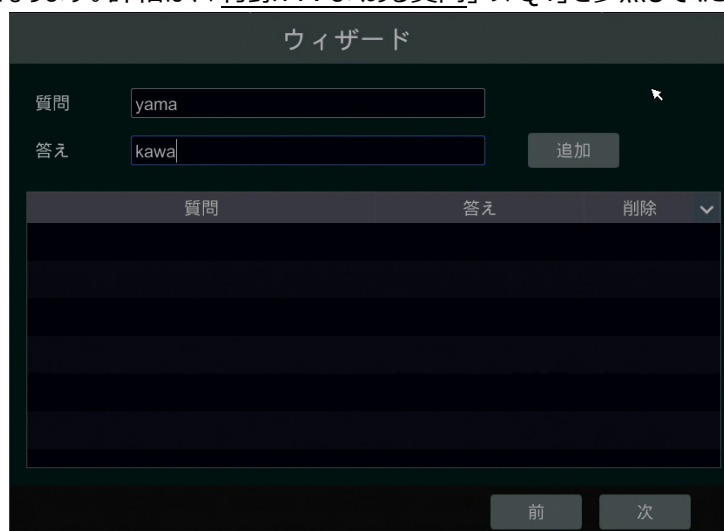
- ユーザー名: admin
- 新パスワード: 123456
- パスワード確認: 123456
- パスワード表示 自動ログイン
- パターンロック: 有効

Buttons at the bottom: 前 (Previous), 次 (Next). A button labeled '編集' (Edit) is also visible next to the pattern lock setting.

パターンロックを設定する場合は、有効にチェックを入れてから、[編集]をクリックします。[編集]をクリックすると、パターンロックを設定する画面を表示します。マウスカーソルで丸いところをなぞるように 2 回繰り返すとパターンロックを設定できます。



[次]をクリックして、admin のパスワードセキュリティに関する質問と回答を設定します。設定は必須ではありません。パスワードを忘れた場合に必要となります。詳細は、「付録 A：よくある質問」の「Q4」を参照してください。



[次]をクリックして続行します。

- ⑤ **HDD 設定。**HDD 番号、HDD の容量、HDD のシリアル番号、HDD のステータスを表示できます。必要に応じて [初期化] をクリックして、ディスクをフォーマットしてください。[次] をクリックして続行します。次の画面で、[ウィザード設定] をクリックします。




- ⑥ **ネットワーク設定。**[IPアドレス自動取得]と[DNS自動取得]をクリックして、IPアドレスとDNSを自動的に取得します(同じ LAN 内のルータの DHCP 機能も有効にする必要があります)、または、手動で入力します。HTTP ポート、RTSP ポート、およびサーバーポートを入力します(詳細は「

- ⑦ 12.1.2.ポート設定」の構成を参照してください。[次]をクリックして続行します。

- ⑧ **カメラを追加。** [再読込]をクリックして、NVRと同じローカルネットワークに接続されているIPカメラを再読込します。そして **+** をクリックして表示したカメラを追加します。[全追加]をクリックするとリスト内のすべてのカメラを追加できます。**🗑️** をクリックすると、追加したカメラを削除できます。[全削除]をクリックすると、追加したカメラをすべて削除します。

No.	↑	アドレス	編集	ポート	プロトコル	モデル	バージョン	追加
1		192.168.100.4	🔧	8080	ONVIF	ONVIF		+
2		192.168.100.170	🔧	9008	IP Camera	T077SK	5.0.1.0	+
3		192.168.100.176	🔧	80	ONVIF	ONVIF		+
4		192.168.100.177	🔧	9008	IP Camera	HIC-ST2000...	5.0.1.0	+
5		192.168.100.178	🔧	9008	IP Camera	TD-9523E3	5.1.1.0	+
6		192.168.100.186	🔧	9008	IP Camera	TD-9423E3	5.1.1.0	+

カメラリストの各カメラの **🔧** をクリックすると、左下に示すように、検索されたIPカメラを編集できます。カメラの新しいIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、ユーザー名やパスワードを入力し、[OK]をクリックして設定を保存します。

下段に表示される追加したカメラの  をクリックすると、上記の右に示すように追加されたカメラを編集できます。カメラの新しいカメラ名、IP アドレス、ポート、ユーザー名、パスワードを入力します。[IPCと同期]をオンにするとNVRと同じネットワークセグメント内にあるカメラの IP アドレスを異なるセグメントに変更できます。[テスト]をクリックして接続をテストします。[OK]をクリックして設定を保存します。IP カメラ名は、追加したカメラがオンラインの場合にのみ変更できます。[次]をクリックして続行します。

⑨ **録画設定**。2つの録画モードを使用できます：自動とカスタマイズです。

自動：ウィザード画面で自動モードを1つ選択し、[次]をクリックして設定を保存します。[詳細]をクリックして、録画モードを作ることもできます。詳細については、「[7.1.1.モード設定](#)」を参照してください。

カスタマイズ：各カメラの[センサー録画]、[動体検知録画]、[スマート検知録画]、[POS 録画]、[スケジュール録画]を設定します。[OK]をクリックして設定を保存します。詳細については、「[7.1.1.モード設定](#)」を参照してください。

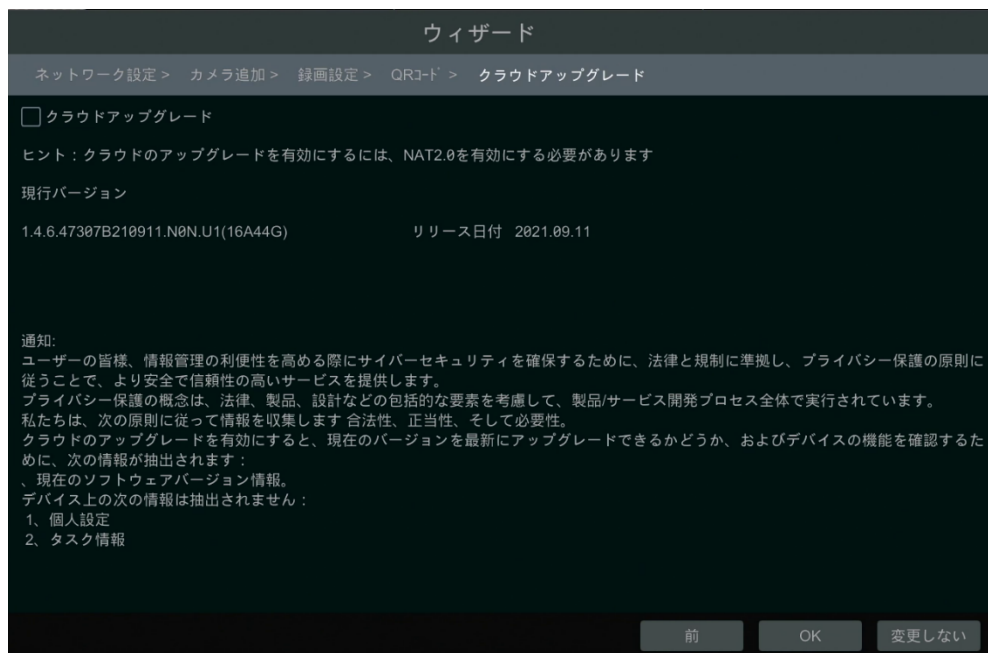


- ⑩ **QRコード**：ウィザード画面で NAT または NAT2.0 機能を有効にするか、ウィザードを終了した後、ネットワーク設定で NAT または NAT2.0 機能を設定します(詳細は「[12.1.8.NAT 設定](#)」を参照してください)。携帯電話やタブレットPCにインストールしたモバイルクライアントを介して監視するときは表示している QR コードをスキャンして即座にログインすることができます。詳細については、「[13.1.モバイルクライアント監視](#)」を参照してください。「次」をクリックして設定を保存します。



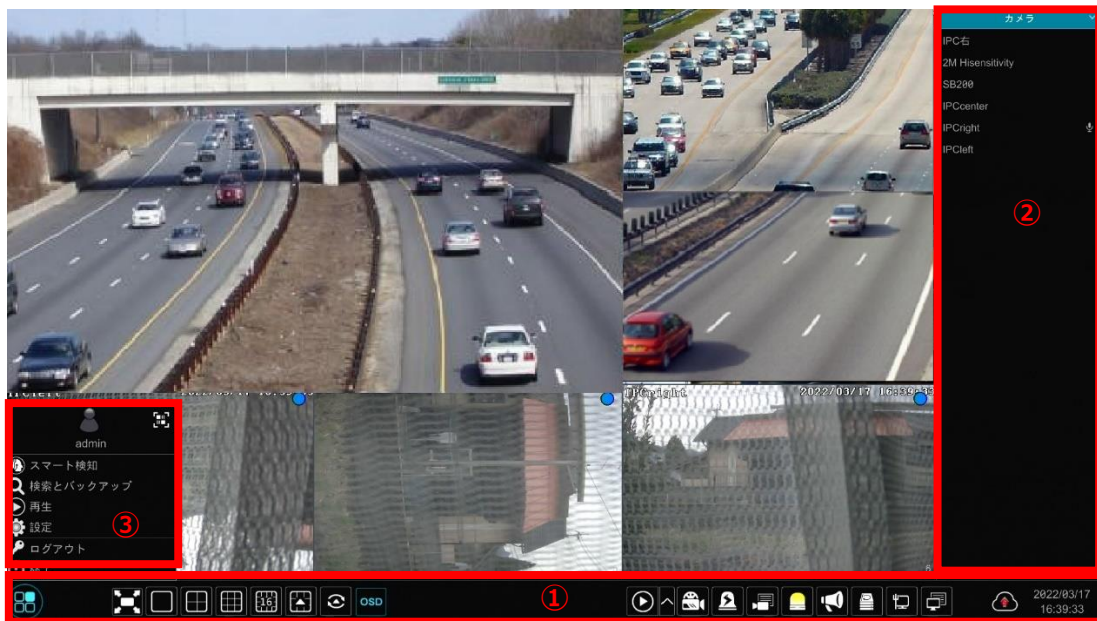
- ⑪ **クラウドアップグレード**。クラウドアップグレードを有効にし[OK]をクリックして設定を保存します。この機能が有効になっている場合は、クラウドサーバーから最新バージョンを取得できます。詳細については、「

⑫ 12.4.デバイスソフトウェアのアップグレード」を参照してください。











3.2.メイン画面

3.2.1.メイン画面について



領域①のアイコン

ボタン	説明
	[開始]ボタン。クリックすると領域③がポップアップ表示されます。
	[フルスクリーン]ボタン。クリックすると全画面表示されます。もう一度クリックして終了します。
	[画面分割モード]ボタン。
	[シーケンス]ボタン。画面を自動的に切り替えて表示します。(詳細については、「5.2.2.クイックシーケンスビュー」および「5.2.3.スキームビューの順番」を参照してください)。
	[OSD]ボタン。クリックすると、OSD の ON/OFF を切り替えることができます。青色の時は ON です。OSD:On-Screen Display
	[クイック再生]ボタン。  をクリックすると、設定した時間だけ戻って再生を始めます。戻る時間は  をクリックして 5 秒前、10 秒前、30 秒前、1 分前、5 分前から選択します。「8.1.クイック再生」、または「8.2.再生画面について」を参照してください。
	[手動録画]ボタン。クリックすると、手動録画をオン/オフできます。
	[手動アラーム]ボタン。クリックすると、アラームを手動で ON/OFF できます。アラーム出力を装備したカメラを NVR に直接接続したときリストに表示します。 ※NVR 経由で登録したカメラはアラームリストに出できません。
	[録画状態]ボタン。クリックすると、録画の状態を表示します。
	[アラーム状態]ボタン。クリックすると、アラームの状態を表示します。
	[オープンブロードキャスト]音声放送を行います。

	[ディスク状態]ボタン。クリックすると、ディスクの状態とRAIDの状態。該当するHDDの録画期間を表示します。
	[ネットワーク状態]ボタン。クリックすると、ネットワークの状態を表示します。
	[情報]ボタン。クリックすると、システム情報を表示します。
	クラウドアップグレードを実行するには、このボタンをクリックします。


Note: モデルや機能によってメイン画面上のアイコンボタンが異なる場合があります。








領域②について:

領域②はデフォルトでは非表示になっている場合があります。表示されていない場合は、マウスカーソルを右に移動して、この領域を表示します。

下表のメニューを選択できます。

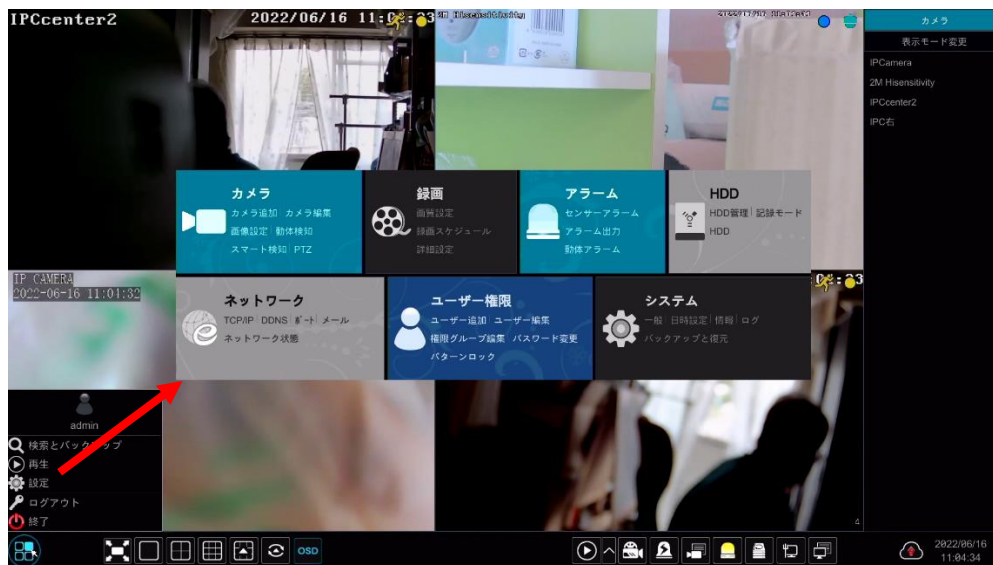
メニュー	説明
カメラ	カメラリストに追加されたすべてのカメラが表示されます。画面の左側にあるカメラウィンドウを1つ選択し、リスト内のカメラをダブルクリックすると、選択したウィンドウでカメラ画像をプレビューできます（すでに、いずれかのウィンドウで再生されていた場合、もとのウィンドウは「映像なし」となります）。
表示モード変更	表示モードに追加されたリストを表示します(表示モードの詳細構成については、「 5.2.1.表示モードによるプレビュー 」を参照)。表示モードリストの1つのリストをダブルクリックすると、保存した表示モードに切り替わります。

領域③のアイコン ※領域①の  開始ボタンを押すと以下のボタンを表示します。

ボタン	説明
	現在ログインしているユーザーを表示しています。
	録画検索とバックアップのメニュー画面に移動します。詳細については「 8.4.録画検索、再生、バックアップ 」を参照してください。
	再生画面に移動します。領域①のクイック再生ボタンと同じです。(戻る時間はツールバーの  をクリックして5秒前、10秒前、30秒前、1分前、5分前から選択します。)「 8.1.クイック再生 」、または「 8.2.再生画面について 」を参照してください。
	設定メニューを表示します。詳細は「 3.2.2.設定メニュー 」を参照してください。
	システムからログアウトします。
	終了画面がポップアップします。[ログアウト]、[再起動]または[終了]を選択します。

3.2.2.設定メニュー

設定メニューを表示するには、[開始]→[設定]をクリックします。



設定メニューには7つの項目があります。ここでは、例としてカメラについて説明します。カメラをクリックすると、以下のような画面に移動し、左側に[カメラ管理][画像][動体検知][スマート検知][PTZ]などの機能を表示します。各機能の下にさらに各種の設定メニューがあります。



たとえば、[カメラ追加]をクリックすると以下のようなウィンドウをポップアップ表示します。



カメラ管理画面の上部にあるメインメニューから各 7 項目のメニューに移動することができます。下の図を参照してください。たとえば、システム設定画面に移動するには、[システム]をクリックします。



3.2.3.主な機能

➤ カメラ

カメラメニューでは、カメラ管理(詳細は、「[4 カメラ管理](#)」を参照)、画像設定(詳細は、「[5.4.プレビュー画像設定](#)」を参照)、動体検知(詳細は、「

10.2.動体検知アラーム」を参照)、PTZ(詳細は、「[6 PTZ](#)」を参照)などの機能があります。

➤ **録画**

録画メニューでは、エンコードパラメータやスケジュール録画（詳細は、「

7 録画と HDD の管理」を参照) などの機能があります。

➤ **アラーム**

アラームメニューでは、スマートイベント、動体、異常、センサーの処理とアラーム出力設定 (詳細は、「9 スマート検知管理」および「10 一般的なイベント管理」を参照) などの機能があります。

➤ **HDD**

HDD メニューでは、HDD 管理、記録モード、HDD 情報 (詳細は、「

7 録画と HDD の管理」を参照) などの機能があります。

➤ **ネットワーク**

ネットワークメニューでは TCP/IP、ポート、DDNS、E-メール、ネットワークステータス（詳細は、「[12.1.ネットワーク設定](#)」を参照）などの機能があります。

➤ **ユーザー権限**

ユーザー権限メニューでは、アカウント管理（詳細は、「[11.1.アカウント管理](#)」を参照）やアクセス許可管理（詳細は、「[11.3.権限管理](#)」を参照）などの機能があります。

➤ **システム**

システムメニューでは、基本設定（詳細は、「

12.2.システム設定」を参照)、設定ファイルのインポートとエクスポート (詳細は、「

12.5.バックアップと復元」を参照)、ログ情報(詳細は、「[12.7.ログの表示](#)」を参照)、デバイス情報(詳細は、「[12.8.システム情報の表示](#)」を参照)などの機能があります。

4 カメラ管理

4.1.カメラの追加/編集

4.1.1.カメラの追加

NVR のネットワークは IP カメラを追加する前に設定する必要があります(詳細は「12.1.ネットワーク設定」を参照)。下の図を参照してください。設定メニューの[カメラ追加]またはライブ画面の右上の **+** をクリックします。カメラの追加のウィンドウがポップアップ表示されます。IP カメラを簡単に追加または追加できます。NVR の性能には上限があります。追加ウィンドウの下部に示される残りの帯域幅に留意して追加してください。上限を超えると十分な性能が出せなくなります。



➤ 簡単追加

カメラを確認し、[追加]をクリックしてカメラを追加します。 **+** をクリックしてカメラの IP アドレス、パスワードなどを編集できます。[初期パスワード]をクリックして、各カメラのデフォルトのユーザー名とパスワードを設定できます。



➤ 手動で追加

IP アドレスまたはドメイン名(IP アドレス項の をクリックすると、ドメイン名を入力するためのウィンドウがポップアップします。ウィンドウに IP カメラのドメイン名を入力し、[OK]をクリックします)、ポート、ユーザー名、パスワードを入力して、プロトコルを

選択します。[テスト]をクリックしてから、問題なければ[追加]ボタンをクリックします([追加]ボタンをクリックする前に、1 台以上のカメラの情報を入力できます)。🗑️をクリックしてカメラを削除します。[初期パスワード]をクリックして、各カメラのデフォルトのユーザー名とパスワードを設定できます。



[開始]→[設定]→[システム]→[一般設定]をクリックして、[無操作による IPC の追加を有効にする]をオンにします。NVR に非占有チャンネルがある場合、再起動することで、操作なしで IP カメラを追加できます。

Note: 一部のモデルでは、この機能をサポートしていない場合があります。

4.1.2.カメラの編集

以下に示すように、設定メニューで[カメラ編集]をクリックして画面に移動します。▶️をクリックするとポップアップウィンドウでカメラのライブ画像が表示されます。🔧をクリックしてカメラを編集します(詳細は「3.1.起動ウィザード」の「カメラを追加」の項を参照)。🗑️をクリックしてカメラを削除します。操作ヘッダー行の「編集」の横の☑️をクリックしてから、[IPC パスワード変更]をクリックして、ポップアップウィンドウを表示させます(ウィンドウ中の IP カメラを確認し、新しいパスワードを設定してから [OK]をクリックします;オンラインの IP カメラだけが変更できます。また同時に複数台の IP カメラのパスワードをバッチで変更できます)。「更新」項の📶をクリックしてオンライン IP カメラをアップグレードします(または、「更新」のヘッダー行の☑️をクリックして、IP カメラをバッチで更新するため[IPC バッチ更新]をクリックします)。ポップアップウィンドウのデバイス名項目とリストの更新ファイルを保存するデバイスを選択します(IP カメラのパスワードのバッチを変更する必要がある場合は、ウィンドウで更新する IP カメラモデルを選択する必要があります)。[更新]をクリックすると更新が開始します(更新が正常に完了した後に IP カメラが自動的に再起動します)。

No.	カメラ名	アドレス	ポート	状態	プロトコル	モデル	プレビュー	編集	更新	バージョン
1	IPCcenter2	192.168.10.105	9008	オフライン	IP Camera	T036QE				
2	IPC右	192.168.10.115	9008	オンライン	IP Camera	X009RD				4.3.0.0
3	[A03]カメラ3									
5	IPCamera	192.168.10.120	80	オンライン	ONVIF	ONVIF				
6	2M Hisensitivity	192.168.10.251	9008	オンライン	IP Camera	D046QW				4.2.1.0

Note :

BNC 接続でアナログカメラを NVR に接続すると、カメラリストに自動的に表示されます。上の図を参照してください。アナログカメラには、カメラ名の前に接頭辞が付いています。プレフィックスは、A と BNC 端子番号で構成されます。上記だと、[A03]となっています。BNC で接続するアナログカメラはカメラリストから手動で削除することはできません。

4.1.3.カメラ信号

以下に示すように、設定メニューで[カメラ信号]をクリックして画面に移動します。アナログカメラとして接続するのかネットワーク経由で IP カメラを接続するのかを選択できます。NVR 背面の BNC 端子で接続できるアナログカメラは 4 台までです。IP カメラを 3 台以上接続する場合は、本画面でアナログカメラではなく IP カメラを接続するよう設定が必要です。

アナログカメラを接続する場合は、[アナログ/IP]で“Analog”を選択して、信号の種類を選択します。信号の種類は“Auto”で自動選択も可能です。IPカメラを接続する場合は、[アナログ/IP]で“IP”を選択してください。画面下に、接続可能な IP カメラの台数が表示されています。最後に[適用]をクリックして設定を保存します。

カメラ	アナログ/IP	信号
[A01]	IP	--
[A02]	IP	--
[A03]	Analog	Auto(TVI/AHD/CVBS)
[A04]	Analog	Auto(TVI/AHD/CVBS)

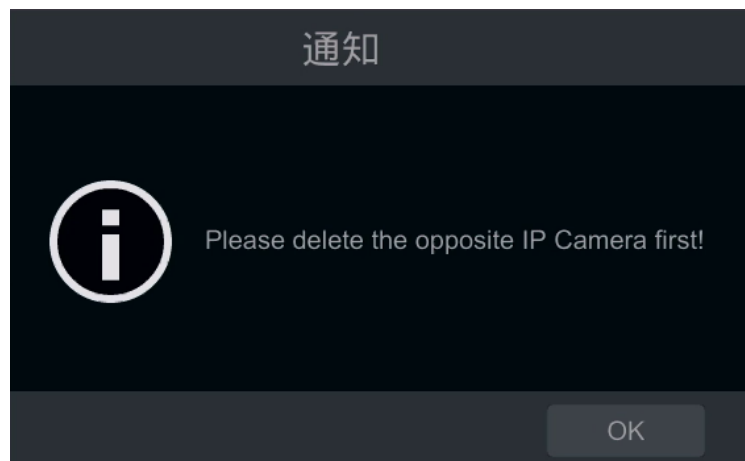
IPカメラ最大数: 4
 実際のアクセス信号は、選択された信号と一致する必要があります。チャンネルがAHD / CVBS信号を選択した場合、AHDまたはCVBS信号に任意にアクセスできます。チャンネルがIPモードを選択した場合、IPチャンネルはIPデバイスにアクセスできます。

適用

設定には再起動が必要な場合があります。下図がポップアップしますので、[OK]をクリックして再起動します。



また、アナログカメラを接続するため、設定を IP カメラからアナログに戻す場合は、下図のウィンドウが表示され設定変更できない場合があります。その場合は、カメラ編集メニューでアナログカメラにする番号と同じ番号の IP カメラを削除する必要があります。IP カメラが接続最大数に達していない場合は、アナログに設定変更後に再度カメラを追加することができます。



5 ライブ画面の概要





5.1 ライブ画面の概要



システムにログオンした後、まずカメラを追加する必要があります(詳細については、「4.1.1.カメラの追加」を参照)。次に示すように、プレビューウィンドウ内のカメラを別ウィンドウのカメラにドラッグすると、カメラウィンドウが交換されます。OSD ボタンをクリックして、録画サインを表示できます。ライブプレビューウィンドウで異なる色を持つ録画サインは、録画時に異なる録画タイプを参照します: 緑は手動録画、赤色はセンサベースの録画、黄色はモーションベースの録画、青はスケジュール録画、シアンはインテリジェンス録画を表します。



プレビューウィンドウをクリックすると領域①に示すようなツールバーが表示されます。プレビューウィンドウを右クリックしてメニューリストを表示します。ツールバーとメニューリストは、次の表で説明します。

ボタン	メニュー一覧	説明
	--	クリックして、ツールバーを移動します。
	手動録画オン	クリックすると、録画が開始されます。
	即時再生	をクリックして録画を再生します ; [再生]ボタンをクリックして設定した時間あるいは既定値で再生します。詳細は「8.1.クイック再生」を参照。
	音声無効	クリックすると、音声が無効になります。カメラの音声を聞くことができます。
--	元の比率/オーバーウッドウィンドウ	ウィンドウの表示比率を選択できます。
	静止画撮影	クリックすると、スナップショットウィンドウがポップアップ表示されます。[保存]をクリックして画像を保存。[出力]をクリックして画像をエクスポートします。
	PTZ 制御	クリックすると、PTZ 制御画面に移動します。詳細は「6 PTZ」を参照。
	ズームイン	クリックすると、単一拡大チャンネル画面に移動します。

	画像調整	クリックすると、画像調整画面に移動します。詳細は「5.4.5.画像調整」を参照。
	--	クリックしてカメラを経由しての会話を始めます(一部のモデルにのみ適用可能)
	360°魚眼	クリックすると魚眼の表示方式を選択できます(一部のモデルにのみ適用可能)
	ターゲット検出	クリックすると、単一チャンネルターゲット検出画面に移動します;ターゲットには顔、人体、車両が含まれます(一部のモデルにのみ適用可能)
--	カメラ情報	クリックすると、カメラ情報が表示されます。

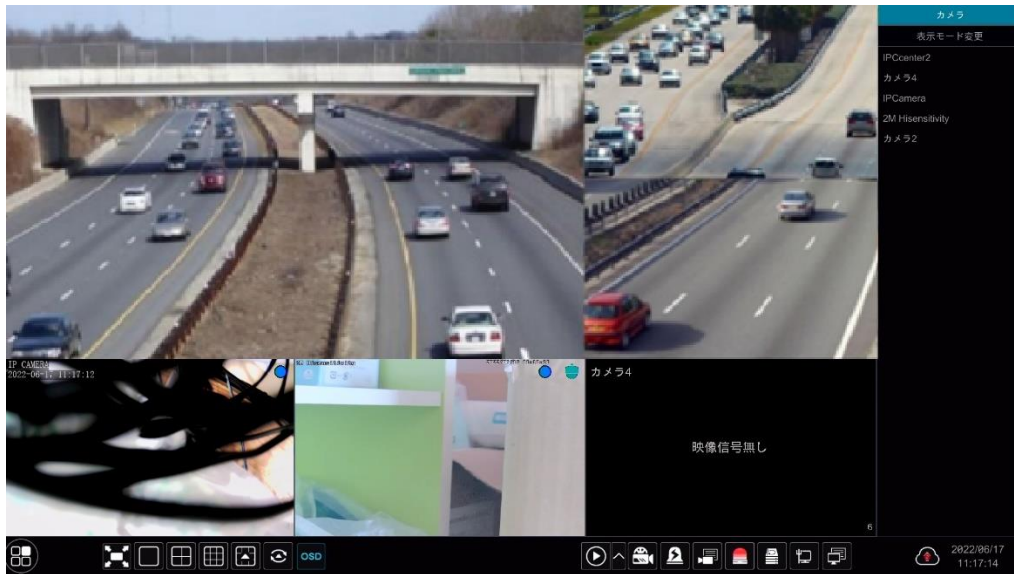
単一拡大チャンネル画面を、以下に示します。青いボックスを選択してドラッグすると拡大領域を変更できます。 /  をクリックして画像をズームします。カメラ選択ボックスの他のカメラをクリックすることで、カメラに変更できます。[戻る]をクリックしてライブ画面に戻ります。



5.2.表示モード


5.2.1.表示モードによるプレビュー

必要に応じて異なる画面モードとカメラの表示シーケンスを設定し、監視領域や優先順位などによって分類される表示モードを保存します。下の図を参照してください。表示モードリストで 1 つの表示モードをダブルクリックすると、そのモードでライブ画像が表示されます。




➤ 表示モードの追加

方法 1:



- ① ライブ画面にカメラを追加・削除し、必要に応じてカメラの表示順序などを調整します。
- ② 上記の画面で右上のカメラの下の[表示モード変更]をクリックします。
- ③ 右下の  をクリックして表示モード名を追加し、表示モードを追加します。

方法 2:

- ① [開始]→[設定]→[システム]→[一般]→[出力設定]をクリックして画面に移動します。
- ② [+]をクリックして、画面を追加します。
- ③ 画面モードを設定します。
- ④ ウィンドウを選択して、リスト内のカメラまたはカメラグループをダブルクリックして設定します。
- ⑤  をクリックして、名前を入力して、表示モードを保存します(詳細な設定は「

⑥ 5.2.3.スキームビューの順番」を参照)。表示モードが保存され、ライブ画面の表示モードリストに表示されます。

➤ **表示モードの編集**

ライブ画面の[ディスード変更]タブをクリックし、表示モードリストより表示モードを選択します。をクリックして、表示モード名を編集します。をクリックして、表示モードを削除します

魚眼モード

一部のモデルでは、この機能をサポートしていない可能性があります。

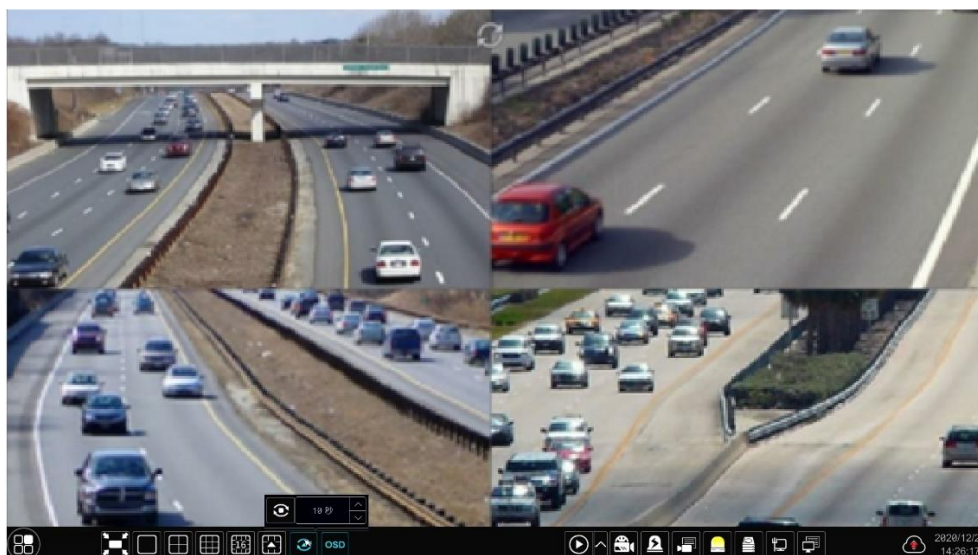
ライブプレビューで、魚眼カメラのインストールモードと表示モードに応じてビューモードを選択します。関連するカメラのユーザーマニュアルを参照してください。






5.2.2.クイックシーケンスビュー

スキームが作成されていない場合でも、クイックシーケンスビューを開始できます。スキームが作成されている場合は、詳細については、「

5.2.3.「スキームビューの順番」を参照してください。



ライブ画面に移動し、をクリックして小さなウィンドウをポップアップ表示します。ウィンドウで遷移時間を設定し、をクリックすることで、現在の画面モードのカメラ番号に応じたグループごとの視聴ができます。順に表示されている映像をダブルクリックするとビューが一時停止します。もう一度ダブルクリックすると復活します。をクリックするとビューが停止します。

5.2.3.スキームビューの順番

[開始]→[設定]→[システム]→[一般]→[出力設定]をクリックして、下図のような画面に移動します。領域①は、すべての DWELL (カメラ表示) スキームを表示します。領域②は、スキームの詳細情報を表示します。領域③は、すべてのカメラとグループを表示します。領域④は、ツールバー(☒:クリアボタン、★:お気に入りのボタン、クリックしてウィンドウをポップアップ表示し、ウィンドウに表示モード名を入力し、[OK]をクリックして現在の表示モードを保存します。その他のボタンは、画面モードボタンです)。



➤ スキームの追加

領域①で **+** をクリックして、新しいスキームを作成します。スキームの右上隅の **×** をクリックして、スキームを削除します。

➤ スキームの設定

- 領域①でスキームを選択し、ツールバーの画面モードボタンをクリックして、スキームの画面モードを設定します。
- 領域②でカメラウィンドウを選択し、領域③でカメラまたはグループをダブルクリックします。選択したウィンドウにカメラまたはグループが追加されます。同じスキーム内の 1 つのカメラを繰り返すことはできません。領域②で右クリックメニューの[クリア]をクリックすると、1 台のカメラを削除できます。または、☒ をクリックしてすべてのカメラを削除します。
- [適用]をクリックして設定を保存します。

➤ シーケンスビューを開始

ライブ画面に移動し、🔄 をクリックしてウィンドウをポップアップします。ウィンドウで遷移時間を設定し、🔄 をクリックして、スキームビューを順番に開始します。シーケンスビュー画面をダブルクリックして、ビューを停止させます。再度ダブルクリックをするとビューを復活させます。🔄 をクリックして、ビューを停止します。

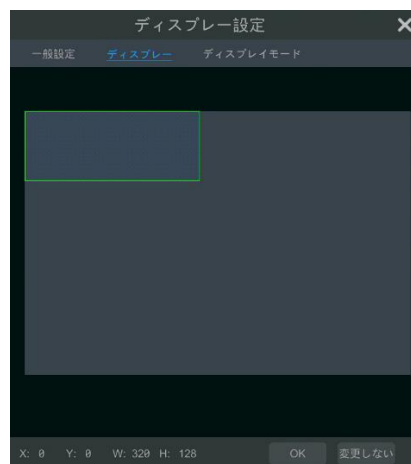
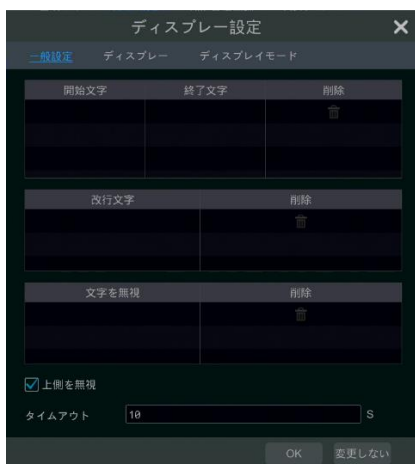
5.3.POS 設定

この機能は、一部のモデルでのみ使用できます。NVR がこのような機能をサポートしていない場合は、次の手順をスキップしてください。

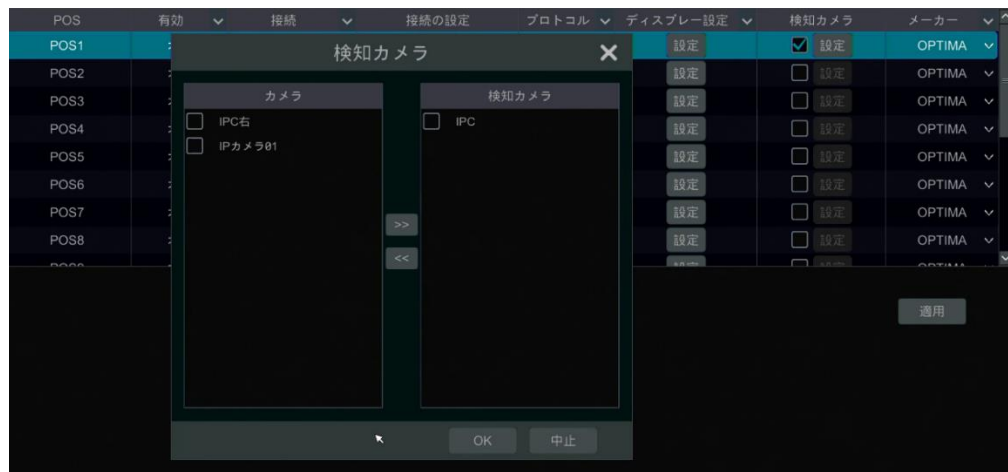
- ① [開始]→[設定]→[システム]→[一般]→[POS 設定]をクリックし、画面に移動します。
- ② POS を有効にします。
- ③ 接続方法を選択します：TCP Server、TCP Client、UDP、マルチキャスト
- ④ 接続設定項の[設定]をクリックして、次の画面に移動します。
 - ✓ 追加する POS の IP アドレスを入力します
 - ✓ [POS ポート]をチェックし、POS ポートを入力します。



- ⑤ ディスプレー設定項の[設定]をクリックして、一般的な設定と POS 情報の位置を設定します。
 - ✓ 一般設定タブ画面では、開始文字と終了文字と表示タイムアウト期間を設定します。
 - ✓ ディスプレータブ画面では、マウスをドラッグして、ディスプレイ画面の POS 情報の位置を設定します。
 - ✓ 表示モードタブ画面では、表示する文字色とスクロール方法を設定します。次に、[OK]をクリックして、設定を確認します。



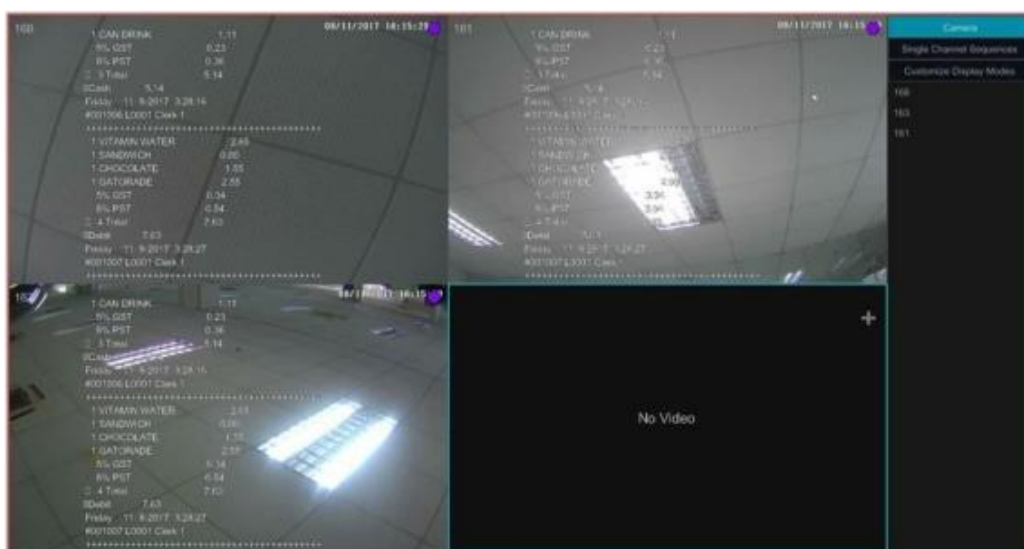
- ⑥ プロトコルを選択します：コモン、OPTIMA、Hayley、SAM4A、AVE、Arch、Casio
- ⑦ 検知カメラのトリガをチェックして、その下の[設定]をクリックし、POS をカメラにバインドします。1 つの POS を複数のカメラにバインドできますが、1 つのカメラは 1 つの POS にのみバインドできます。



- ⑧ 設定を保存するには、[適用]をクリックします。リアルタイムでプレビュー映像にトランザクション情報が表示されます。1つのPOSは1つのカメラにバインドされます。



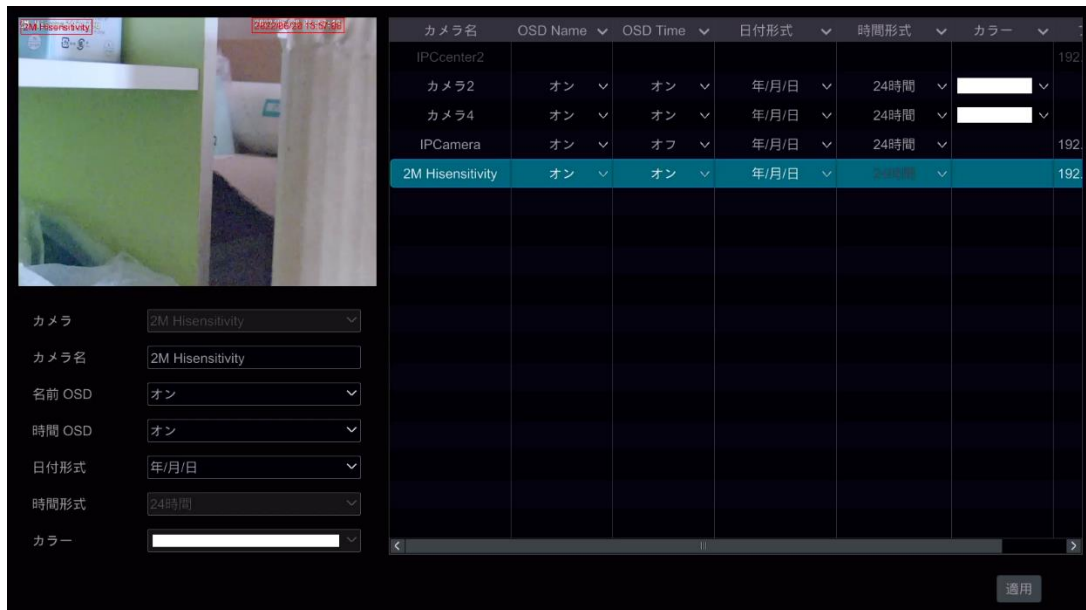
- 1つのPOSは複数のカメラにバインドされています。



5.4.プレビュー画像設定

5.4.1.OSD 設定

[開始]→[設定]→[カメラ]→[OSD 設定]をクリックして、下図のような画面に移動します。カメラを選択し、カメラ名を入力し(または、カメラリスト中のカメラ名をダブルクリックしてカメラ名を変更)、名前と時刻の OSD を有効または無効にします(有効な場合は、画像表示領域で直接赤い名前と時刻をドラッグして OSD の表示位置を変更します)。そして、日付と時刻の形式を選択します。また、透かし(ウォーターマーク)は、ここで有効または無効にすることができます。透かし機能を有効にした場合、必要に応じて透かしの情報を入力することができます。最後に、[適用]をクリックして、設定を保存します。



項目	メニュー	説明
OSD Name	オン/オフ	画像にカメラ名を表示/非表示にします。
OSD Time	オン/オフ	画像に日時を表示/非表示にします。
日付形式	年/月/日 月/日/年 日/月/年	日付の表示形式を選択します。
時間形式	24 時間/12 時間	時刻の表示形式を選択します(選択できない場合は固定形式)。
カラー	白/黒/青/赤/緑/黄	表示色を選択します(選択できない場合は自動)。
アドレス		カメラの IP アドレスです。

5.4.2.画像設定

[開始]→[設定]→[カメラ]→[画像]→[画像設定]をクリックして、次の画面に移動します。カメラを選択し、カメラの明るさ、コントラスト、彩度、および色相を設定します。

[初期値]をクリックすることで、イメージ設定をデフォルトの出荷時設定に戻すことができます。



[詳細]ボタンまたは画面の右側のカメラリストの▼をクリックして、画像調整画面の詳細項目を表示させ、関連する設定項目を設定します。設定項目の詳細については「

5.4.5.画像調整」を参照してください。

The screenshot displays a camera control interface. On the left, a live video feed shows a room with a green wall and a white curtain. Below the feed, a camera selection dropdown is set to '2M Hisensitivity'. To the right of the feed are sliders for '明るさ' (Brightness) at 8, 'コントラスト' (Contrast) at 0, '彩度' (Saturation) at 4, and '色相' (Hue) at 0. Below these are '詳細' (Details) and '初期値' (Default) buttons.

The main settings panel on the right contains a table of camera parameters:

カメラ名	明るさ	コントラスト	彩度	色相	詳細
IPCcenter2	128	128	128	128	▼
カメラ2	128	128	128	128	▼
カメラ4	128	128	128	128	▼
IPCamera	43	53	53	--	▼
2M Hisensitivity	8	0	4	0	▲

Below the table, the '画像調整' (Image Adjustment) section includes:

- 鮮明さ (Sharpness) slider at 10
- ワイドゲイミック (Wide Gamut) slider at 50
- ノイズ除去 (Noise Reduction) slider at 1
- 画像切替 (Image Switch) slider at 0
- バックライト (Backlight) dropdown set to 'オフ' (Off)





At the bottom of the settings panel are numbered tabs 1, 2, 3, and 4.

5.4.4.魚眼の設定


一部のモデルでは、この機能をサポートしていない可能性があります。

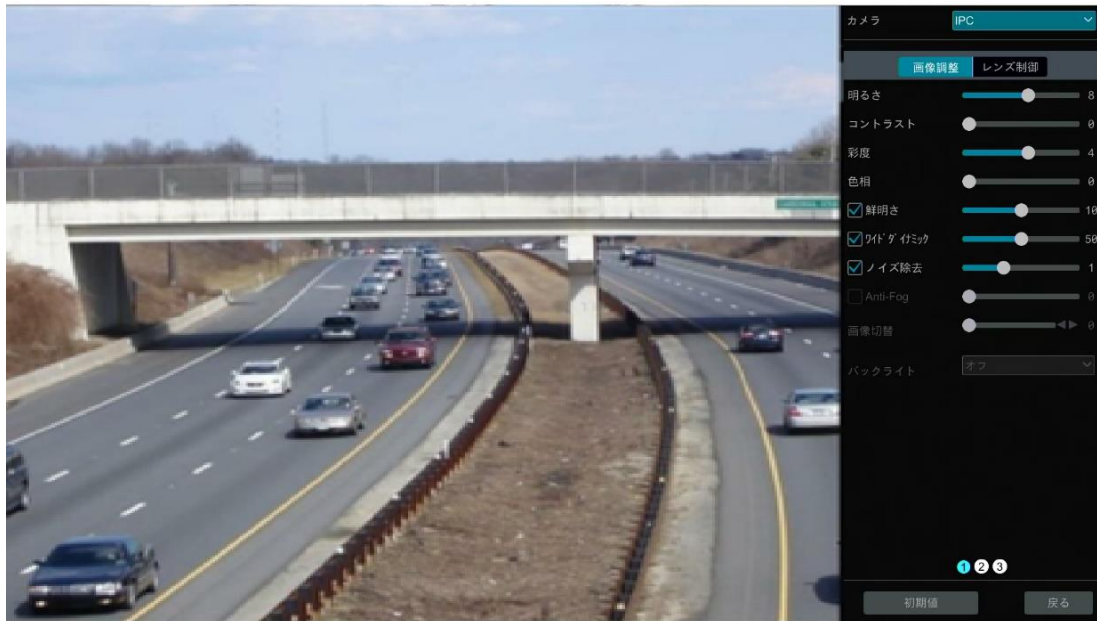
[開始]→[設定]→[カメラ]→[画像]→[魚眼の設定]をクリックして、下図のような画面に移動します。カメラと魚眼とインストールのモードを選択します。



項目	メニュー	説明
魚眼モード	魚眼+パノラマ+3PTZ	表示方式：   
	魚眼+4PTZ	表示方式： 
設置位置	天井(レンズ下向)	天井に設置して、下向きにする場合に選択します。
	壁(レンズ横向)	壁に設置して、横向きにする場合に選択します。
	卓上(レンズ上向)	机の上などに設定して、上向きにする場合に選択します。
有効	オン/オフ	設定を有効にします/無効にします

5.4.5.画像調整

ライブ画面に移動し、カメラウィンドウの下のツールバー上の  ボタンをクリックして、画像調整画面に移動します。



➤ 画像調整

カメラを選択し、[画像調整]をクリックして、画像調整タブに移動します。上の図を参照してください。スライダをドラッグしてカメラの明るさ、コントラスト、彩度、および色相の値を設定します。シャープ、ワイドダイナミック、ノイズ除去をチェックし、スライダをドラッグして値を設定します。[デフォルト]をクリックすることで、これらのパラメータをデフォルト値に設定できます。これらのパラメータの概要は以下となります。

パラメータ	説明
明るさ	カメラの画像の明るさレベルです。
コントラスト	最も明るい部分と最も暗い部分の色差です。
彩度	色純度の程度です。色は純粹で、画像は明るくなります。
色相	画像の合計色度に関連しています。
鮮明さ	イメージプレーンの解像度レベルとイメージエッジの鮮明度レベルに関連します。
ワイドダイナミック	ワイドダイナミックレンジ(WDR)機能は、バックライトの状況下でもカメラが鮮明な画像を提供するのに役立ちます。非常に明るい領域と非常に暗い領域の両方が同時に視野に入っている場合、WDRは画像全体の明るさレベルのバランスをとり、鮮明な画像を提供します。
ノイズ除去	ノイズを減らして、画像をより鮮明にします。値を大きくすると、ノイズ除去効果が良くなりますが、画像解像度が低下します。
くもり除去	霧、埃、スモッグ、雨などの環境下でこの機能を有効にし、必要に応じて適切な値を設定することで、クリアな画像を得ることができます。
画像切替	画像の切り替えを行います。

バックライト	<p>オフ: 使用しません。</p> <p>HLC: 画像の明るい領域の明るさを抑え画像全体の明るさを低下させて、ハロー領域のサイズを小さくします。</p> <p>BLC: 自動露出がシーンに従ってアクティブになり、最も暗い領域の画像のオブジェクトがはっきりと見えるようになります。</p>
ホワイトバランス	環境に合わせて色温度を自動的に調整します。
アンチフリッカー	電灯のちらつきなどでのフリッカーを低減します
露出モード	[手動]の場合はシャッタースピードを選択してください。
ゲイン上限値	値が高いほど、画像が明るくなり、画像のノイズが多くなります。
縦長表示	0°、90°、180°または 270°を選択することができます。(このパターンをサポートするカメラは一部のみ)
画像左右反転	現在の映像を水平方向に反転します。
画像上限反転	現在の映像を垂直方向に反転します。
High FPS Mode	高フレームレートモード。有効になっている場合、カメラのメインストリームのフレームレートは、1080P/720P@60fps/50fps に設定することができます。(このモードをサポートしているカメラは一部のみ)
スマート IR モード	スマート IR 機能を有効にすると、夜間撮影時の表示が改善される場合があります。[オン]、[オフ]が選択できます。
等級	スマート IR モードが[オン]の場合に選択できます。スマート IR のレベルを設定します。[低]、[中]、[高]が選択できます。
昼/夜モード	カラー撮影(日中)、白黒撮影(夜間)の切り替えに関する設定です。通常はオート(自動切換えモード)です。昼、夜、スケジュールが選択できます。スケジュールでは、昼/夜の切り替えの時間を設定することもできます。
感度	[高い]、[一般]、[低い]が選択できます
遅延時間(秒)	影やライトの影響を低減させるため、昼/夜モードの切り替えの遅延時間を設定します。

Note: 上記の画像パラメータの説明は参照用です。カメラの製造メーカーやモデル種別により、パラメータ設定が異なる場合があります。

➤ レンズ制御

カメラを選択し、[レンズ制御]をクリックして、レンズコントロールタブに移動します。[−]または[+]をクリックして、カメラのレンズのズームとフォーカスのパラメータを調整します。[保存]をクリックして設定を保存します。



これらのパラメータとボタンの概要は以下の通りです。


ボタン/パラメータ	説明
	画像を拡大/縮小するには、 / をクリックします。
焦点モード	手動モードが選択されている場合は、フォーカスボタン、ワンキーフォーカス、日/夜モード自動切替が利用可能になります。自動モードを選択すると、時間間隔の設定が使用可能になります。
	焦点距離を増減するには、 / をクリックします。
	クリックすると、すぐにフォーカスが合います。
デイナイトモード 自動焦点切替	オンにすると、カメラが昼/夜モードを切り替えるときに、レンズが自動的にフォーカスされます。

Note: NVR に接続されているカメラのレンズが固定されている場合は、レンズ制御機能は使用できません。

6 PTZ




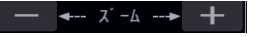



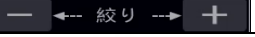

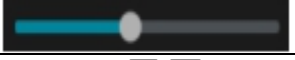





6.1.PTZ 制御画面の概要

IP で接続されている IP ドームまたは PTZ を持つ IP カメラの PTZ を制御できます。

ライブプレビューウィンドウを右クリックして表示されるツールバーの  をクリックして、以下に示すような PTZ コントロールに移動します。あるいは、PTZ/スピードドームカメラウィンドウを右クリックしメニューを表示し、[PTZ 制御]をクリックして、下記のように PTZ コントロールパネルに移動します。



画面の右下にあるボタンの概要:

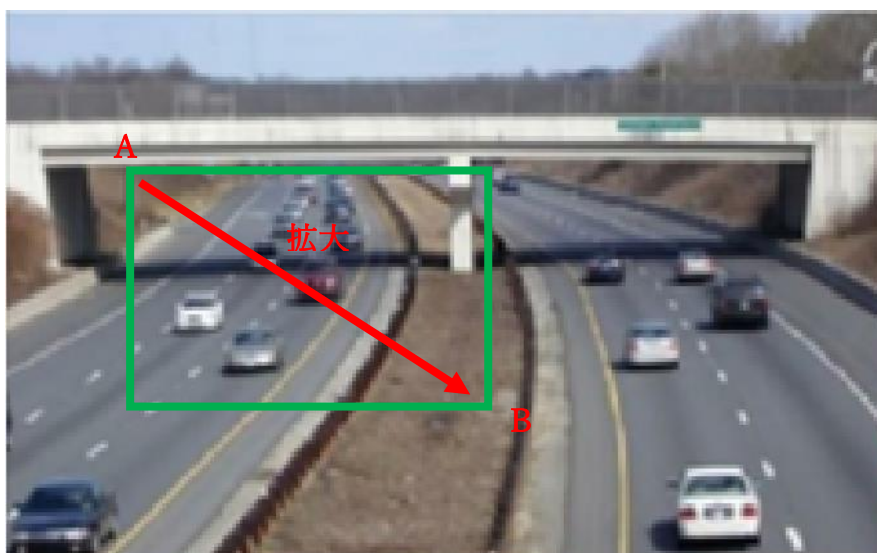
ボタン	説明
	 をクリックしてドームを回転させます。ドームの回転を停止するには、  をクリックします。
	カメラ画像を拡大/縮小するには、  をクリックします。
	焦点距離を増減するには、  をクリックします。
	ドームの絞りを増減するには、  をクリックします。
	スライダーをドラッグしてドームの回転速度を調整します。
	録音を開始/停止するには  をクリックします。
	アナログジョイスティックを非表示/表示するには、  をクリックします。
	ライブ画面に戻ります。

➤ アナログジョイスティックコントロール

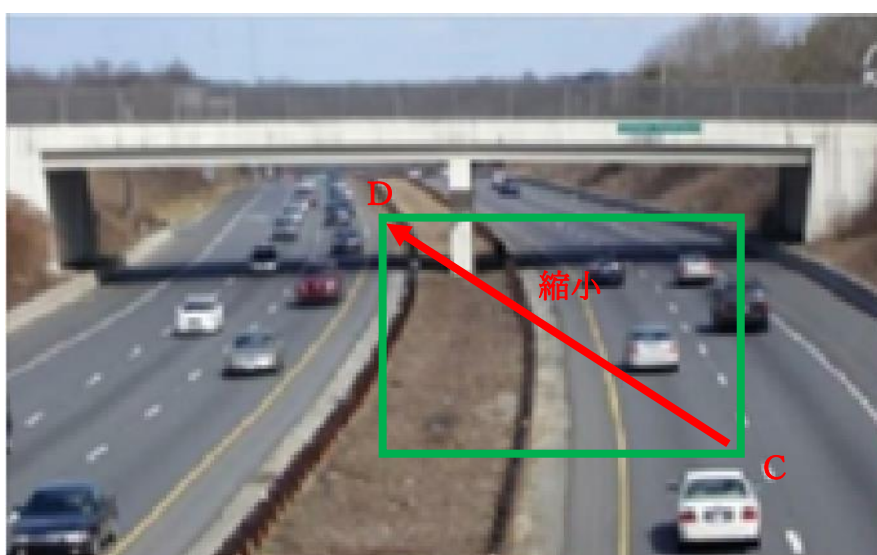
映像の中央にあるアナログジョイスティックは、迅速な PTZ 制御を提供します。ドームまたは PTZ は、アナログジョイスティックをドラッグすると回転します。画像の中央からアナログジョイスティックをドラッグするほど、ドームまたは PTZ の回転が速くなります。ドームまたは PTZ は、アナログジョイスティックのドラッグを停止すると回転を停止します。

➤ 3D コントロール

任意の領域でカメラ画像をクリックすると、クリックした点を中央にした画像になります。下図の画像を参照してください。A から B にマウスをドラッグすると、緑色の四角形が表示され、四角形の領域が拡大表示されます。



下図の画像を参照してください。C から D にマウスをドラッグすると、緑色の四角形が表示され、四角形の領域が縮小されます。



➤ 高度な 3D 制御

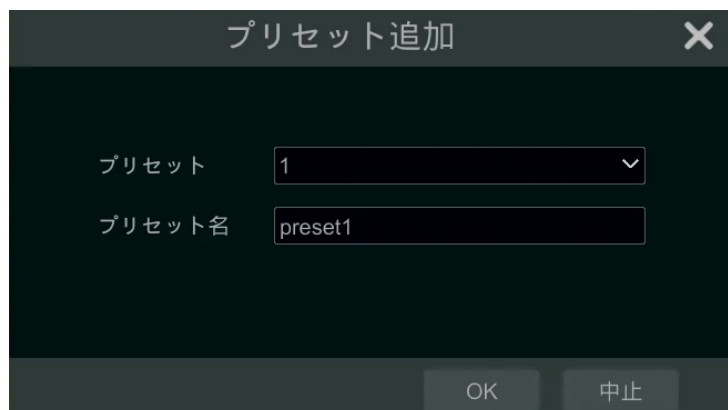
カメラ画像の任意の領域でマウスの左ボタンをダブルクリックすると、クリックしたポイントを中央に配置されます。


カメラ画像の任意の領域でマウスの左ボタンを押し続けて画像を拡大します。右ボタンを押したままにして、画像を縮小します。

マウスカーソルをカメラ画像に移動し、マウスのスクロールホイールを前へスライドさせて画像を拡大し、マウスのスクロールホイールを後方にスライドさせて画像を縮小します。

➤ プリセット設定

[プリセット]をクリックしてプリセット操作タブに移動し、[追加]をクリックして、次に示すようにウィンドウをポップアップ表示します。プリセットを選択し、ウィンドウにプリセット名を入力します。最後に、[OK]をクリックして設定を保存します。各ドームに対して255のプリセットを追加できます。

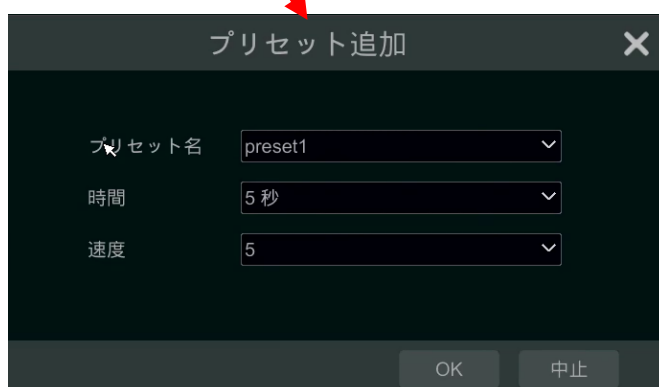
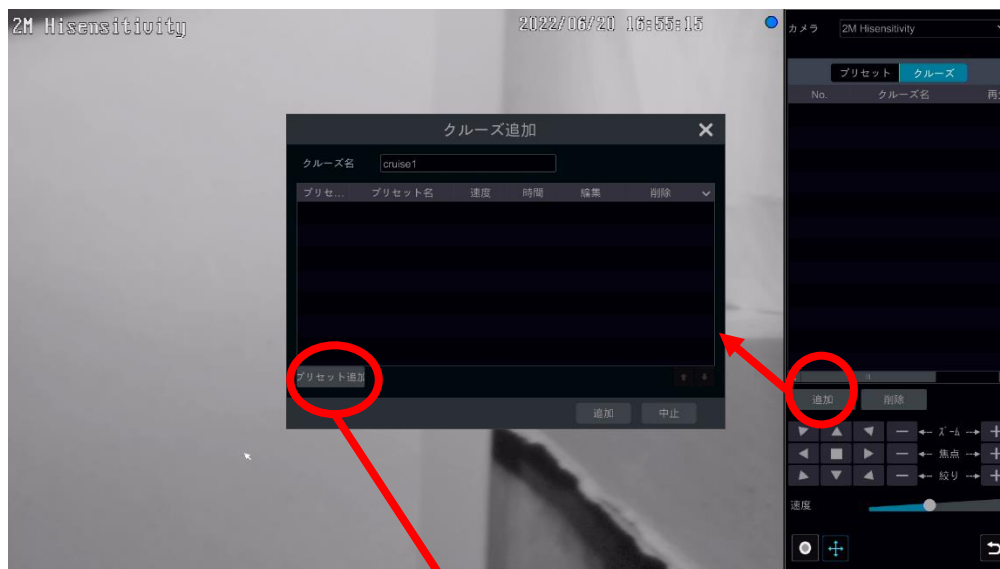




ドームの方向を調整し、[位置保存]をクリックして、現在のプリセット位置を保存します(プリセットリスト内の別のプリセットをクリックして、ドームの方向を調整したプリセットの位置を保存することもできます)。プリセットリストの  をクリックしてプリセットを呼び出します。[削除]をクリックすると選択したプリセットが削除されます。



プリセット設定のためのプリセット設定画面に移動することもできます。詳細は「[6.2.プリセット設定](#)」を参照してください。

➤ クルーズ（巡回表示）設定

右側のパネルで、[クルーズ]をクリックしてクルーズ操作タブに移動し、[追加]をクリックして、左下に示すようなウィンドウをポップアップします。各ドームに対して8つのクルーズを追加できます。



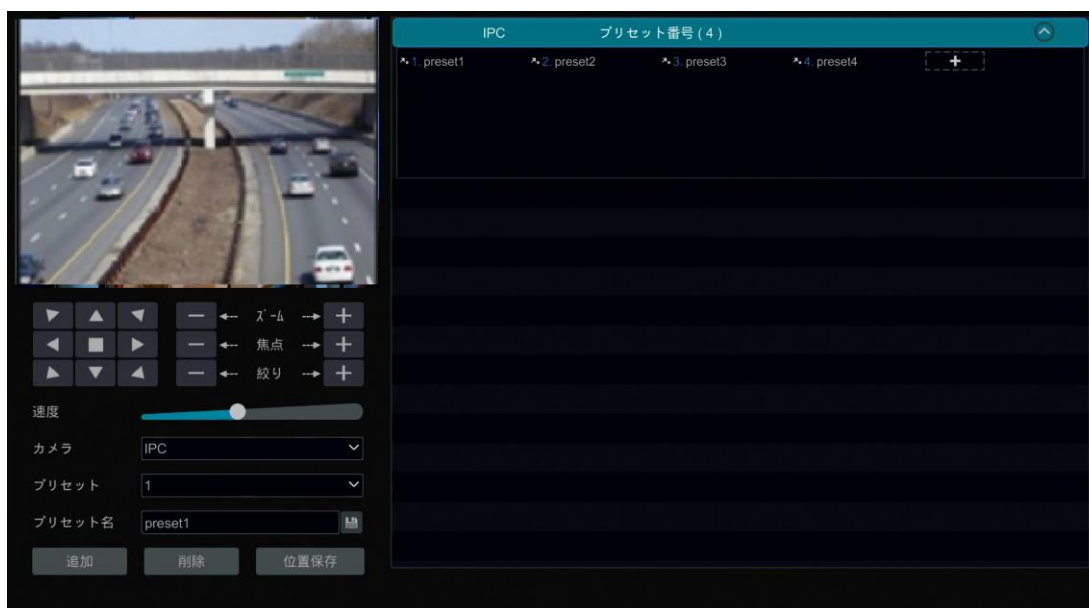
- ① クルーズ追加ウィンドウにクルーズ名を入力し、次に[プリセット追加]をクリックして、プリセット追加ウィンドウをポップアップします(クルーズにプリセットを追加する前に、まずドームのプリセットを追加してください)。
- ② プリセット追加ウィンドウで、プリセット名、時間(滞在時間)、速度(PTZ 移動速度)を選択し、次に[OK]をクリックします。
- ③ クルーズ追加ウィンドウで、をクリックしてプリセットを再選択し、プリセット時間やプリセット速度を変更できます。をクリックしてプリセットを削除します。
- ④ クルーズ追加ウィンドウで[追加]をクリックして保存します。

クルーズ操作タブのクルーズリスト中でをクリックしてクルーズを開始します。をクリックしてクルーズを停止します。
[削除]をクリックして、クルーズを削除します。

クルーズ設定のためのクルーズ設定画面もあります。詳細は「[6.3.クルーズ設定](#)」を参照してください。

6.2.プリセット設定

[開始]→[設定]→[カメラ]→[PTZ]→[プリセット]をクリックして、下図の画面に移動します。



▶ プリセットを追加

カメラを選択し、プリセットを追加するには[追加]をクリックするか、または、画面の右側にあるカメラリストの▼をクリックしてドームカメラのプリセット情報を表示します。そして、プリセットを追加するため、+をクリックします。プリセット追加ウィンドウの操作は、PTZ 制御画面の操作と同様です。詳細は「[6.1.PTZ 制御画面の概要](#)」を参照してください。

▶ プリセットの編集

カメラとプリセットを選択します。プリセット新しい名前を入力し、保存アイコンをクリックして保存します。プリセットの回転速度、位置、ズーム、フォーカス、絞りを調整し、次に[位置保存]をクリックしてプリセットを保存します。

▶ プリセットの削除

カメラとプリセットを選択し、次に[削除]をクリックしてプリセットを削除します。または、画面の右側にあるカメラリストの▼をクリックしてドームカメラのプリセット情報を表示します。そして、削除したいプリセット名にマウスを移動させると、表示される⊗をクリックします。

6.3.クルーズ設定

[開始]→[設定]→[カメラ]→[PTZ]→[クルーズ]をクリックして、下図の画面に移動します。



➤ クルーズの追加

画面の右側にあるカメラリストの をクリックすると、カメラのクルーズ情報が表示されます。 をクリックしてクルーズを追加します。クルーズ追加ウィンドウの操作は PTZ 制御画面の操作と同様です。詳細は「[6.1.PTZ 制御画面の概要](#)」を参照してください。

➤ クルーズの編集

クルーズ画面でカメラとクルーズを選択します。新しいクルーズ名を入力し、次に をクリックしてクルーズ名を保存します。[プリセット追加]をクリックするとクルーズにプリセットを追加できます。 をクリックしてプリセットを編集します。 をクリックすると、クルーズからプリセットを削除できます。プリセットリスト内の 1 つのプリセットをクリックし、 をクリックするとプリセットを下に移動できます。 をクリックしてプリセットを上に移動します。 をクリックしてクルーズを開始し、停止するために をクリックします。

➤ クルーズを削除

画面の右側あるカメラリスト中の をクリックすると、カメラのクルーズ情報が表示されます。マウスをクルーズ名に移動すると表示される右上隅の をクリックしてクルーズを削除します。

6.4.プロトコル設定

[開始]→[設定]→[カメラ]→[PTZ]→[プロトコル]をクリックして、下図の画面に移動します。

PTZ 機能を持つアナログカメラに対する制御方法を設定します。



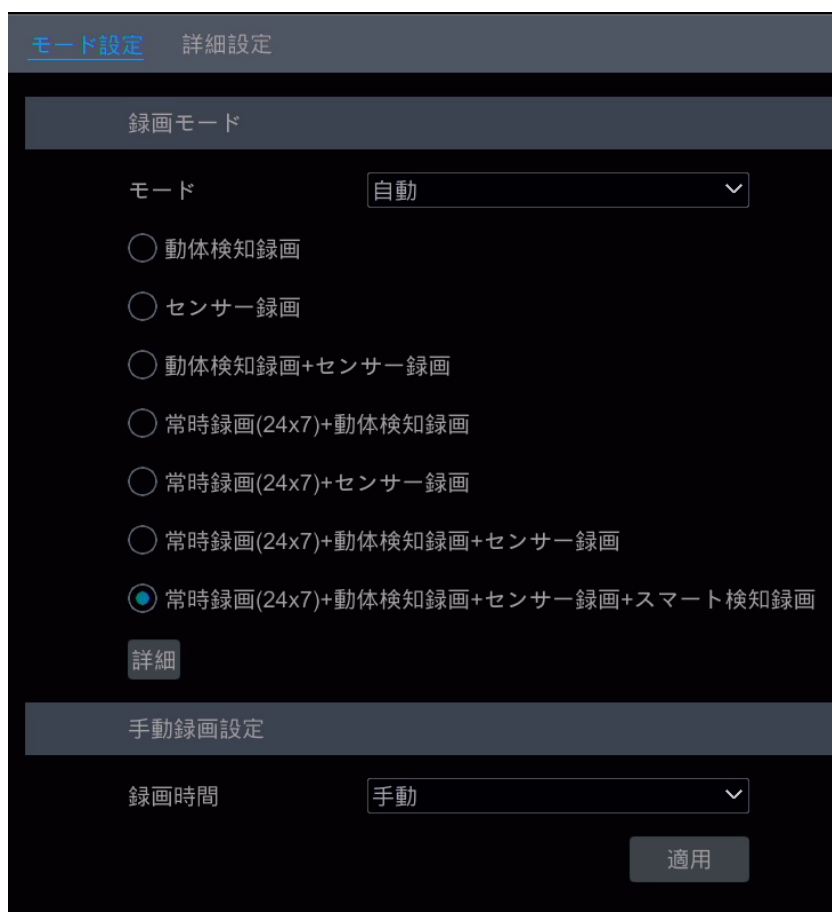
項目	説明
カメラ名	マスクを表示/非表示にします。
PTZ	PTZ 機能をオン/オフします。
プロトコル	PTZ 機能がオンの場合、制御プロトコルを選択してください。
転送速度	制御データの転送ボーレートを設定します。
アドレス	番号を設定します。カメラ側と同じにしてください。

7 録画とHDDの管理

7.1.録画の設定

7.1.1.モード設定

HDDをフォーマットしてから録画してください(詳細は「7.4.1.HDDの管理」を参照してください)。モード設定画面に移動するには、[開始]→[設定]→[録画]→[モード設定]をクリックします。録画モードには、自動モードと手動モードの2種類があります。



➤ 自動モード

動体検知録画: 動体検知アラームが発生すると、動体検知アラーム録画が有効になります。

センサー録画: センサーアラームが発生すると、センサーアラーム録画が有効になります。

動体検知録画+センサー録画: 動体検知/センサーアラームが発生すると、動体検知/センサーアラーム録画が有効になります。

常時録画(24x7)+動体検知録画: 常時録画をしています。動体検知アラームが発生すると、動体検知アラーム録画が開始されます。

常時録画(24x7)+センサー録画: 常時録画をしています。センサーアラームが発生すると、センサーアラーム録画が開始されます。

常時録画(24x7)+動体検知録画+センサー録画: 常時録画をしています。動体検知/センサーアラームが発生すると、動体検知/センサーアラーム録画が有効になります。

常時録画(24x7)+動体検知録画+センサー録画+スマート検知録画: 常時録画をしています。スマート検知イベントが発生すると、スマート検知録画が有効になります。

自動モードにモードを追加できます。[詳細]をクリックして、下図のウィンドウをポップアップ表示します。ウィンドウでモードをチェックして、[追加]をクリックして録画モードリストのモードを表示します(ウィンドウでは、チェックされているモードは録画リストに表示できますが、チェックされていないモードは表示されません)。



1 つの自動モードを選択して、下図のようなウィンドウをポップアップ表示します。各カメラのエンコード、GOP、解像度、FPS、ビットレートの種類、品質、最大ビットレートおよび音声オーディオを設定し、設定を保存するため[OK]をクリックします。実際の条件に応じたパラメータに調整してください。

カメラ名	ストリーミング	エンコード	解像度	FPS	ビットレート	画質	画質	ビットレート推奨範囲	音声	GOP
IPCcenter2	主ストリーム	H.265	1920x1080	30	VBR	高	2048Kbps	2830~4716Kbps	オン	60
カメラ2	主ストリーム	H.265	704x480	7	VBR	高	512Kbps	146~244Kbps		14
カメラ4	主ストリーム	H.265	704x480	7	VBR	高	512Kbps	146~244Kbps		14
IPCamera	主ストリーム	H.265	1920x1080	30	VBR	高	2048Kbps	2830~4716Kbps	オン	60
2M Hisensivity	主ストリーム	H.265	1920x1080	30	VBR	高	2048Kbps	2830~4716Kbps	オン	60

残り回線容量: 11 / 20 Mb

ビデオエンコード: 利用可能なオプションは、H.265S、H.265+、H.265、H.264S、H.264+および H.264 です。接続された IP カメラが H.265S、H.265+、H.264S、H.264S、H.264+をサポートしていない場合、対応するオプションは表示されません。

解像度: 解像度が高いほど、画像が鮮明になります。

FPS: フレームレートが高いほど、動画の動きがなめらかになります。しかし、より多くのデータ量が必要です(ビットレートが高くなります)。

ビットレートの種類: CBR および VBR が選択できます。CBR は、ビデオシーンでどれだけ大きな変化が見られるかにかかわらず、圧縮ビットレートは一定に保たれていることを意味します。VBR は、シーンの変更に応じて圧縮ビットレートが調整されることを意味します。たとえば、あまり動かないシーンでは、ビットレートは低い値に保たれています。これは、ネットワーク帯域幅を最適化するのに役立ちます。

画質: VBR を選択した場合は、画質を選択する必要があります。高い画像品質は、より多くのビットレートが必要になります。

最大ビットレート: 32Kbps～10240Kbps が選択できます。

音声: 音声も同時に録画するか設定できます。機能を持つカメラのみ有効です。

GOP: 画像の 1 グループに含まれる枚数です。

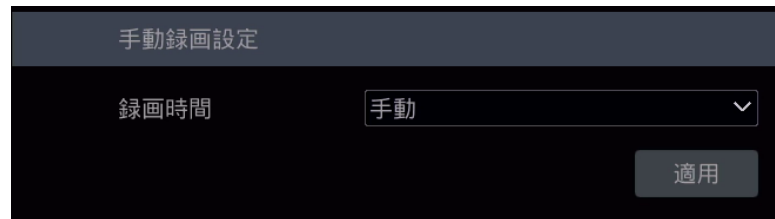
➤ **手動モード**

手動モードを選択した場合は、各カメラの録画スケジュールを設定する必要があります。詳細は「

7.1.2.録画スケジュール設定」を参照してください。

この画面では、ライブ画面で手動録画の録画時間を設定することもできます。


手動録画設定の下に録画時間を設定して、[適用]をクリックして設定を保存します。“手動”を選択した場合は、手動録画ボタンを再度押すまで録画となります。



7.1.2.録画スケジュール設定

➤ スケジュール設定

モード設定で手動に設定した場合は、このメニューでスケジュールを設定してください。スケジュール設定画面に移動するには、[開始]→[設定]→[録画]→[録画スケジュール]→[スケジュール設定]とクリックします。下図のようにスケジュールを設定します。新たなスケジュールを作成する場合は、スケジュールを追加できます。次項を参照してください。

センサー録画スケジュール、動体検知録画スケジュール、スマート検知録画スケジュール、POS 録画スケジュール、連続録画スケジュールについて、カメラごとにスケジュールを設定してください。項目名横の  で選択すると、その機能を持つすべてのカメラに設定できます。

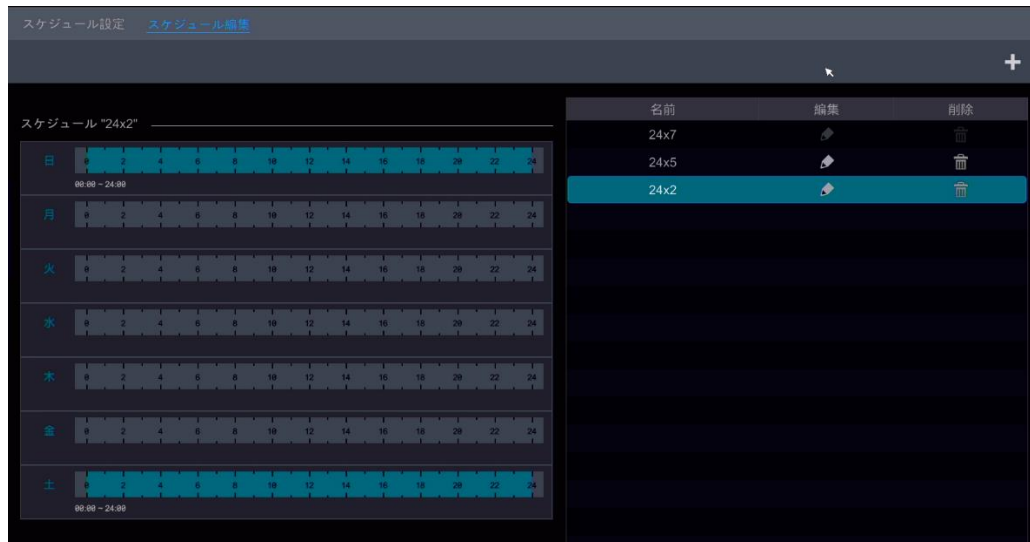


カメラ名	センサー録画スケジュール	動体検知録画スケジュール	スマート検知録画スケジュール	POS録画スケジュール
IPCenter2	24x7	24x7	24x7	<無し>
カメラ2	24x7	24x7	24x7	<無し>
カメラ4	24x7	24x7	24x7	<無し>
IPCamera	24x7	24x7	<無し>	<無し>
2M Hisensitivity	24x7	24x7	<無し>	<無し>

適用

➤ スケジュールを追加

スケジュール編集画面に移動するには、[開始]→[設定]→[録画]→[録画スケジュール]→[スケジュール編集]とクリックします。下図のようにスケジュールを設定します。24x7、24x5、24x2 がデフォルトのスケジュールです。24x7 を編集または削除することはできませんが、24x5 および 24x2 は編集および削除することができます。スケジュール名をクリックすると、画面の左側に詳細なスケジュール情報が表示されます。7行は1週間の7日間を表しており、各行は1日の24時間を表します。青は選択した時間を表し、灰色は選択されていない時間を表します。







[+]をクリックして新しいスケジュールを追加します。下の図を参照してください。



スケジュール名とスケジュール時刻を設定し、スケジュールを保存するには、[追加]をクリックします。日スケジュールまたは週スケジュールを設定します。👉: 追加ボタン。🗑️: 削除ボタン。

➤ 日スケジュールの設定

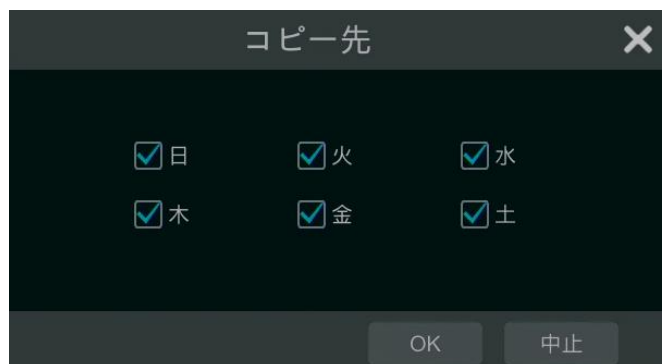
をクリックして、タイムスケール上でカーソルをドラッグして録画期間を設定します。をクリックし、次に時間スケール上でカーソルをドラッグして、選択した領域を削除します。

録画の開始時刻と終了時刻を手動で設定できます。またはをクリックし、各曜日の[手動]をクリックすると、下図のウィンドウがポップアップ表示されます。ウィンドウで開始時刻と終了時刻を設定し、次に[OK]をクリックして設定を保存します。





終日録画を設定するには、[全て]をクリックしてください。[反転]をクリックして、その日の選択した時間と選択されていない時間を入れ替えます。[すべてクリア]をクリックしてその日に選択した領域をすべてクリアします。

[コピー]をクリックして、その日のスケジュールを他の日にコピーします。下の図を参照してください。ウィンドウで曜日をチェックして、[OK]をクリックして設定を保存します。



➤ 週スケジュールの設定

または  をクリックして、 の近くの[手動]をクリックして、週のスケジュールを設定します。下の図を参照してください。開始時刻と終了時刻を設定し、ウィンドウで曜日をチェックし、次に[OK]をクリックして設定を保存します。



すべての週の録画を設定するには、[全て]をクリックしてください。[反転]をクリックすると 1 週間の中で選択した時間と選択されていない時間を入れ替えます。[全消去]をクリックすると 1 週間で選択した領域をすべてクリアできます。

7.1.3. 高度な設定

[開始]→[設定]→[レコード]→[詳細設定]をクリックし、下の画面に移動します。サイクル録画(Cycle Record)を有効または無効にします(サイクル録画:ディスクがいっぱいになると、最も古い録画データが最新のデータに置き換えられます)。録画ストリームを選択します。各カメラの検知前録画時間、検知後録画時間、有効時間を設定し、[適用]をクリックして設定を保存します。



検知前録画時間: 実際の検知が始まる前に録画する時間を設定します。

検知後録画時間: 実際の検知録画が終了した後に録画する時間を設定します。

有効時間: 録画映像の有効時間を設定します。設定した日が超過した場合、録画されたデータは自動的に削除されません。

7.2.エンコードパラメータの設定

[開始]→[設定]→[録画]→[画質設定]をクリックし、次に示す画面に移動します。イベント録画設定やスケジュール録画設定の各カメラの主ストリームのエンコード、解像度、FPS、GOP、ビットレートの種類、画質、最大ビットレートおよび音声を設定します。[適用]をクリックして設定を保存します。各カメラの録画ストリームを1つずつ設定したり、すべてのカメラに対して一括で設定したりできます。

カメラ名	ストリームタイプ	エンコード	解像度	FPS	ビットレートタ...	画質	画質	ビットレート推奨範
IPC右	主ストリーム	H.265	1920x1080	30	VBR	高	2048Kbps	2830~4716Kbps
IPカメラ01	主ストリーム	H.265	2160x2160	30	VBR	高	3072Kbps	5632~10848Kbps
IPC	主ストリーム	H.265	2048x1536	30	VBR	高	2048Kbps	4245~7075Kbps

残りの帯域幅: 150 / 160 Mb

適用

エンコード: 利用可能なオプションは、H.265S、H.265+、H.265、H.264S、H.264+および H.264 です。接続された IP カメラが H.265S、H.265+、H.264S、H.264S、H.264+をサポートしていない場合、対応するオプションは表示されません。

解像度: 解像度が高いほど、画像が鮮明になります。

FPS: フレームレートが高いほど、動画の動きがなめらかになります。しかし、より多くのデータ量が必要です(ビットレートが高くなります)。

ビットレートの種類: CBR および VBR が選択できます。CBR は、ビデオシーンでどれだけ大きな変化が見られるかにかかわらず、圧縮ビットレートは一定に保たれていることを意味します。VBR は、シーンの変更に応じて圧縮ビットレートが調整されることを意味します。たとえば、あまり動かないシーンでは、ビットレートは低い値に保たれています。これは、ネットワーク帯域幅を最適化するのに役立ちます。

画質: VBR を選択した場合は、画質を選択する必要があります。高い画像品質は、より多くのビットレートが必要になります。

最大ビットレート: 32Kbps~10240Kbps が選択できます。

GOP: 画像の 1 グループに含まれる枚数です。

サブストリームに対するエンコードパラメータの設定は、[開始]→[設定]→[ネットワーク]→[ネットワークストリーム設定]をクリックし、次に示す画面に移動します。設定項目は上述のメインストリームの場合と同じです。


ネットワークストリーム設定


カメラ名	ストリームタイプ	エンコード	解像度	FPS	ビットレートタイプ	画質	画質	ビットレート
IPC右	サブストリーム	H.265	704x480	30	VBR	高	512Kbps	563-943
2M Hisensitivity	サブストリーム	H.265	704x480	30	VBR	高	512Kbps	563-943
SB200	サブストリーム	H.265	352x240	30	VBR	高	384Kbps	141~235
IPCcenter	サブストリーム	H.265	704x480	30	VBR	高	512Kbps	563-943
IPCright	サブストリーム	H.265	704x480	30	VBR	高	512Kbps	563-943
IPCleft	サブストリーム	H.265	352x240	30	VBR	高	384Kbps	141~235

通用

7.3. 録画モード

7.3.1. 手動録画

方法 1: ライブ画面の下部にあるツールバー上の  をクリックしてカメラの録画を有効にします。

方法 2: ライブ画面のカメラウィンドウでの右クリックのメニューで[手動録画オン]を選択するか、カメラウィンドウの下のツールバー上の  をクリックして録画を開始します。

Note:

[開始]→[設定]→[録画]→[モード設定]をクリックし、手動録画設定で録画時刻を設定できます。[適用]をクリックして設定を保存します。

7.3.2. 時間設定録画

時間設定録画: システムはスケジュールに従って自動的に録画します。各カメラの時間設定録画スケジュールを設定してください。詳細については、「

7.1.2.録画スケジュール設定」を参照してください。

7.3.3.動体検知録画

動体検知録画: 設定スケジュールに動体オブジェクトが現れると、システムは動体検知録画を開始します。セットアップ手順は次のとおりです。

- ① 各カメラの動体検知の録画スケジュールを設定します。詳細は「

② 7.1.2.録画スケジュール設定」を参照してください。

③ 動体検知を有効にし、各カメラの動体検知エリアを設定します。詳細は「

④ 10.2.動体検知アラーム」を参照してください。

上記の設定を完了すると、カメラは動体検知録画を開始します。

7.3.4.センサー検知録画

- ① 各カメラのセンサー検知の録画スケジュールを設定します。詳細は「

- ② 7.1.2.録画スケジュール設定」を参照してください。
- ③ センサーの NO/NC タイプを設定し、センサーアラームを有効にして、録画を設定します。詳細については、「[10.1.センサーアラーム](#)」を参照してください。

7.3.5.スマート検知イベント録画

- ① 各 IP カメラのスマート検知録画スケジュールを設定します。詳細は「

- ② 7.1.2.録画スケジュール設定」を参照してください。
- ③ スマート検知での検出(物体検出、例外、改竄(かいざん)、侵入または顔検出など)を有効にし、各 IP カメラの警報領域または警告領域を描画します。詳細については、「9 スマート検知管理」を参照してください。
- 上記の設定が完了すると、カメラはスマート検知記録を開始します。この機能は一部の IP カメラでのみ使用できます。

7.4.HDD

7.4.1.HDDの管理

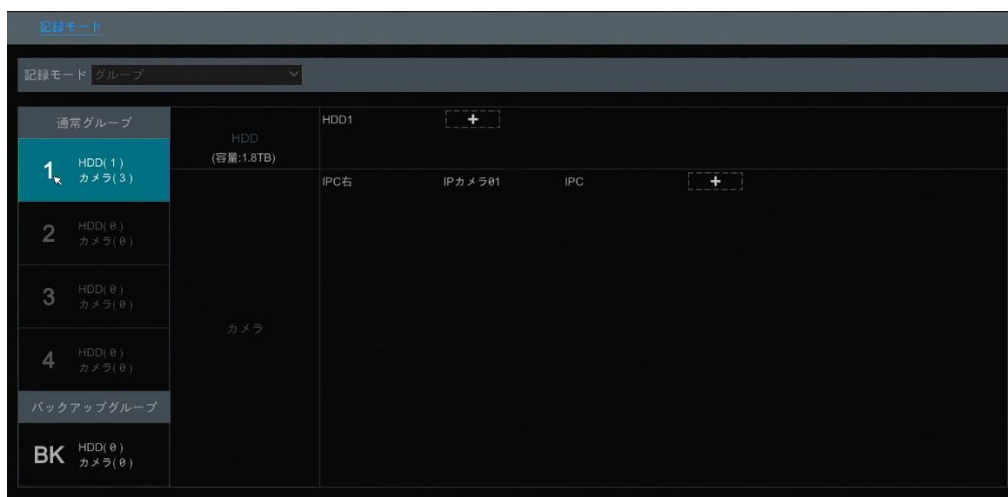
➤ HDD 管理

[開始]→[設定]→[HDD]→[HDD 管理]をクリックし、HDD 管理画面に移動します。画面で NVR の HDD の数や HDD の状態などを確認できます。[初期化]をクリックして、HDD をフォーマットします。





7.4.2.記録モードの設定

[開始]→[設定]→[HDD]→[記録モード]をクリックし、下図の画面に移動します。

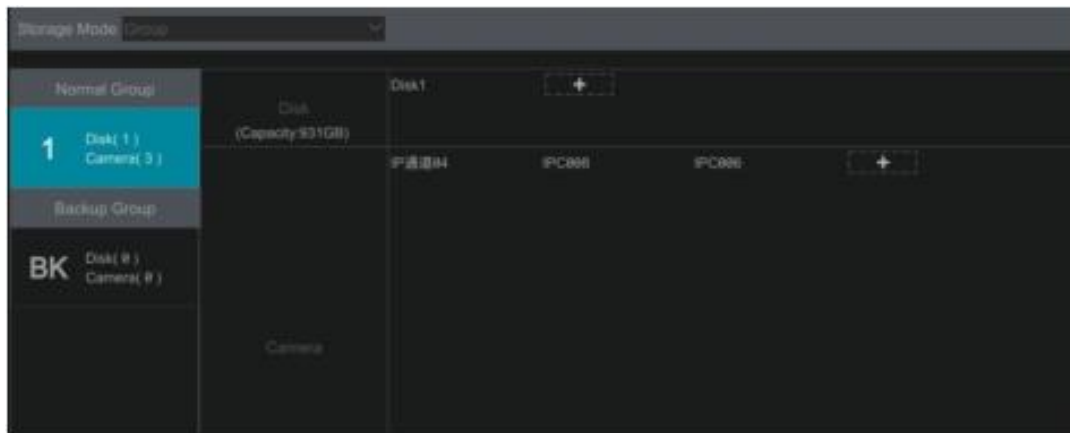


たとえば、ここには全部で 4 つのディスクグループが含まれます。ディスクグループを使用することで、カメラをディスクに対応させることができます(グループ内のカメラの録画データは同じグループのディスクに格納されます)。

追加されたディスクやカメラは自動的にグループ 1 に追加されます。グループ内のディスクやカメラは、グループ 1 を除いて削除できます(ディスクグループを選択して、追加されたカメラやディスクの右上隅に表示される  をクリックして、グループから削除します。削除したディスクやカメラは自動的にグループ 1 に移動します。

各グループは、他のグループからディスクとカメラを追加できます。各ディスクとカメラは、1 つのグループに追加されます。ディスクグループを選択し、ディスクまたはカメラ行の  をクリックして、ウィンドウをポップアップ表示します。ウィンドウ内のディスクまたはカメラをチェックし、[追加]をクリックします。

2 または 4 つの HDD スロットを持つモデルの場合、次に示すように BK グループは追加できます。



+ をクリックして、バックアップ HDD を追加します。アカウント認証後、HDD を選択すれば、この HDD は、通常のグループから削除されバックアップグループに移動します。同時に、フォーマットされます。バックアップグループに変更する場合は、この HDD のすべてのデータを事前バックアップしてください。

この HDD にカメラを追加できます。追加されたカメラは存在すると、通常グループとバックアップグループの両方の HDD に録画することができます。

Note: 各 HDD は 1 つのグループにしか存在できません。

7.4.3.HDD と S.M.A.R.T 情報の表示

HDD 情報を表示するには、[開始]→[設定]→[HDD]→[HDD 情報自動画面切替表示]をクリックします。[S.M.A.R.T.情報]をクリックすると、HDD の稼働状態を表示します。下の図を参照してください。

ID	属性	値	最高値	しきい値	生データ	状態
0x01	Read Error Rate	117	99	6	155713248	正常
0x03	Spin-Up Time	96	95	0	0	正常
0x04	Start/Stop Count	100	100	20	439	正常
0x05	Reallocated Sector Count	100	100	10	0	正常
0x07	Seek Error Rate	70	60	30	33094327	正常
0x09	Power-On Hours	92	92	0	7472	正常
0x0a	Spin Retry Count	100	100	97	0	正常
0x0c	Power Cycle Count	100	100	20	169	正常
0x08	End-to-End error	100	100	99	0	正常
0x0b	Reported Uncorrectable Errors	100	100	0	0	正常
0x0c	Command Timeout	100	100	0	0	正常
0x0d	High Fly Writes	1	1	0	114	正常
0x0e	Airflow Temperature	75	47	45	454998969	正常

8 再生とバックアップ

8.1.クイック再生

プレビューカメラウィンドウの下部にあるツールバー上の▶をクリックして録画を再生します(ライブ画面の下部にあるツールバー上の⏮をクリックして、デフォルトの再生時間を設定します)。下の図を参照してください。再生の進行状況バーをドラッグして再生時間を変更します。また、カメラウィンドウで右クリックメニューを出して[即時再生]をクリックし、即時再生の時間を設定して録画を再生することもできます。




8.2.再生画面について





















ライブ画面の下部にあるツールバー上の⏮をクリックするか、[開始]→[再生]とクリックして、下に示す再生画面に移動します(ライブ画面の下部にあるツールバー上の▶をクリックして、デフォルトの再生時間を設定します)。






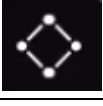




右側のパネルには、チャンネル番号と色で識別される録画データがあります。これらのバーを横切って表示するバーは、再生時間を表します。このバーを移動してエクスポートしたり、目的の録画のセクションをハイライト表示したりします。[バックアップ]をクリックして出てくる表示に従ってください。単一または複数のチャンネルを同時にエクスポートできます。

追加されたカメラは、自動的に再生画面で録画を再生します。また、手動で再生カメラを追加もできます。再生ウィンドウで  をクリックするとカメラ追加ウィンドウがポップアップ表示されます。ウィンドウ内のカメラをチェックし、[追加]をクリックして再生カメラを追加します。


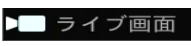
再生画面の下部にあるツールバー(領域①)のボタンを次の表に示します。スマート再生に関する操作は次節を参照してください。

ボタン	説明
	開始ボタン。クリックすると領域②がポップアップ表示されます。
	フルスクリーンボタン。クリックすると全画面表示されます。もう一度クリックして、全画面表示を終了します。
	画面表示モードボタン。数種類の分割モードが出ているモデルもあります。
	OSD オンボタン。クリックすると OSD が有効になります。もう一度クリックして OSD を無効にします。
	停止ボタン。
	巻き戻しボタン。クリックすると、ビデオが逆再生されます。
	再生/一時停止ボタン。クリックするとビデオを再生できます。
	スロー再生ボタン。クリックすると再生速度が低下します。
	高速再生ボタン。クリックすると再生速度が上がります。
	前のフレームボタン。単一画面モードで通常再生が一時停止されている場合にのみ機能します。
	次のフレームボタン。単一画面モードで通常再生が一時停止されている場合にのみ機能します。
	 をクリックして 30 秒を後退させ、  をクリックして 30 秒を進める。
	イベントリスト/タグボタン。クリックすると、手動/スケジュール/センサー/動体検知のイベント記録とタグ情報が表示されます。
	透かしボタン。クリックすると、透かしが有効です。もう一度クリックすると、透かしが無効になります。
	POS 情報を開く/閉じます。
	 : バックアップボタン。タイムスケール上でマウスをドラッグして、期間とカメラを選択します。ボタンをクリックしてバックアップを行います。
	 : バックアップ状態ボタン。クリックすると、バックアップの状態を表示します。





	通常再生モードに移行します。
	スマート再生モードへ移行します。
	全画面で動体検知をさせたい場合にクリックします。
	特定の長方形の領域で検知させたい場合にクリックします。検知を行いたい領域をマウスの左ボタンをクリックしてドラックしながら長方形で設定します。設定した領域の検知結果が表示されます。
	ラインクロスを検知させたいときにクリックします。2 か所でクリックして直線を指定します。設定した線を横切る検知結果が表示されます。
	特定の四角形の領域で検知させたい場合にクリックします。4 か所の各頂点でクリックして領域を指定します。設定した領域で変化があった場合の検知結果が表示されます。
	スマート再生時の再生設定を行います。検知していない部分の映像をスキップしたり、再生速度を速めたりできます。また、検知の感度を変更できます。
	戻るボタン。クリックすると、戻ります。









Note: 一部のモデルでは、顔の検索やスマート再生をサポートしていない場合があります。

領域②の概要:











ボタン	説明
	レコード検索とバックアップ画面に移動します。詳細は「 8.4.録画検索、再生、バックアップ 」を参照してください。
	ライブ画面に移動します。詳細は「 5 ライブ画面の概要 」を参照してください。

再生ウィンドウをクリックすると、領域③に示すツールバーが表示されます。ウィンドウを右クリックしてメニューリストを表示します。ツールバーとメニューリストは、次の表で説明します。






ボタン	メニュー	説明
	--	ツールを移動します。クリックすると、ツールバーを移動します。
	音声有効	クリックすると、音声が無効になります。音声を有効にすることで、カメラの音声を聴くことができます。
	元の比率/ オーバーウッド ウィンドウ	ウィンドウの表示比率を選択できます。
	静止画撮影	クリックしてスナップショットを取得します。

	ズームイン	クリックすると、ズームイン画面に移動します。ズームイン画面は、ライブ画面のカメラウィンドウと同様です。  をクリックするとレコードの再生が一時停止します。  をクリックして再生します。録画が前方再生モードで一時停止すると、録画は  をクリックすると前のフレームを表示し、  をクリックすると次のフレームを表示します。
	タグ追加	クリックしてタグを追加します。追加したタグを検索して、録画を再生できます。アイコンをクリックし、ポップアップウィンドウにタグ名を入力します。[タグを追加]をクリックすることで追加します。
	カメラ切替	クリックすると、再生カメラが切り替わります。アイコンをクリックし、ポップアップウィンドウでカメラをチェックします。カメラを変更するには[OK]をクリックします。
	カメラ終了	クリックして再生カメラを閉じます。

領域④の概要:


をクリックして日付を設定します。をクリックして時間を設定すると、再生カメラは設定した時点からの録画を再生します。録画再生のため必要な録画の種類を確認できます。まず、画面の下部にあるツールバー上のをクリックして、すべての再生カメラをクリアする必要があります。それから、録画の種類をチェックします(:手動;:センサー;:動体検知;:スケジュール;:スマート検知全て;:POS。)。最後に、再生ウィンドウのをクリックし、再生のためのカメラを追加します(録画タイムスケールは、上記の操作後にのみ、チェックされた録画タイプの録画データを表示します)。

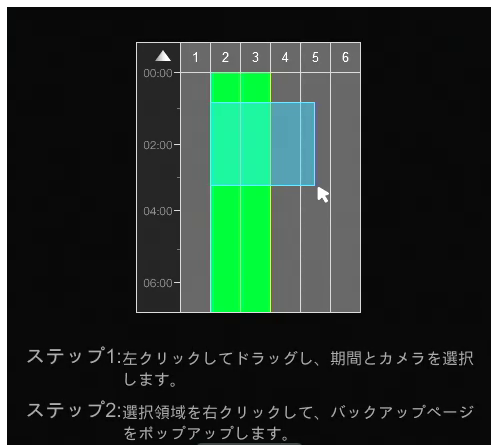
録画タイムスケールの概要(領域⑤):

ツールバーは、マウスをレコードタイムスケールに移動すると表示されます。/をクリックして、タイムラインをズームします。タイムラインを 24 時間の比率に戻すには、をクリックします。タイムライン上でマウスをドラッグするかスクロールホイールをスライドさせて、タイムラインの上下に隠れた時間を表示します。をクリックしてタイムラインの上部の隠れた時間を表示させ、をクリックしてタイムラインの下部の隠れた時間を表示します。タイムスケールの下部のスライダーをドラッグして隠れていた再生カメラを表示します。

録画タイムスケールは、異なる色で録画の種類を示します。緑色のブロックは手動録画を表し、赤色のブロックはセンサベースの録画を表し、黄色のブロックはモーションベースの録画を表し、青色のブロックはスケジュール録画を表し、シアンブロックはインテリジェンス録画を表します。録画ブロックをクリックして時間を設定すると、再生カメラが設定した時点からレコードを再生します。

バックアップの概要:

蓄積装置をデバイスに挿入します。時間スケールのカラーブロックをドラッグして、バックアップ領域を選択し領域を右クリックするか、をクリックしてバックアップ情報ウィンドウをポップアップ表示します。ポップアップしたバックアップウィンドウで[バックアップ]ボタンをクリックします。デバイス、バックアップパスとバックアップ形式を選択して[バックアップ]ボタンをクリックします。領域を選択せずにバックアップしようすると下左図のようなバックアップの説明画面が表示されます。



バックアップウィンドウで、バックアップパスと形式を選択できます。


8.3.スマート再生

再生画面で、スマート検知をサポートしているカメラを左クリックして選択してから、 スマート再生 やスマート関連ボタンをクリックして、次のスマート再生画面に移動します。スマート検知をサポートしていないカメラは操作できません。

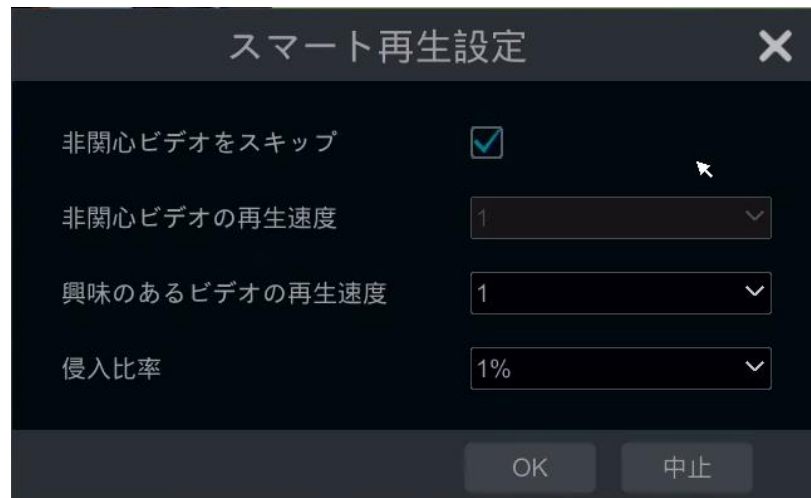


画面のボタンについては、通常再生と同じです。前節を参照してください。

スマート検知画面の操作方法


- ①  をクリックして再生方法を設定します。設定することで効率的に映像を確認できます。


クリックすると、下図がポップアップします。必要に応じて設定してください。



項目	説明
非関心ビデオをスキップ	非検知の映像をスキップさせたい場合にチェックします。
非関心ビデオの再生速度	非検知の映像の再生速度を設定できます。スキップ設定の場合は設定不要です。
興味のあるビデオの再生速度	検知した期間の映像の再生速度を設定できます。
侵入比率	検知感度を設定します。値が大きいほど大きな動きでしか検知しなくなります。

- ② 次に検知領域を設定します。

 : クリックして選択すると全画面が対象になります。

 : クリックして選択すると、長方形の領域を指定できます。

マウスの左ボタンをクリックしながらドラッグして領域を設定します。





：クリックして選択すると、直線を指定できます。

マウスの左ボタンを2か所でクリックして直線を描きます。



：クリックして選択すると、四角形の領域を指定できます。

マウスの左ボタンを4か所でクリックして四角形を描きます。



- ③ ②で領域を指定すると、検知結果が画面右側に表示されます。侵入比率の設定で検知結果が異なる場合があります。操作は通常画面と同じです。

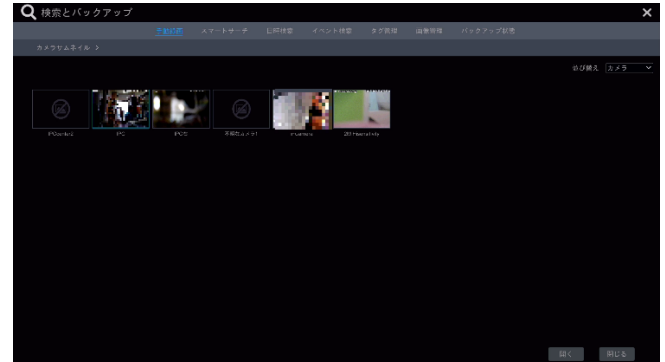
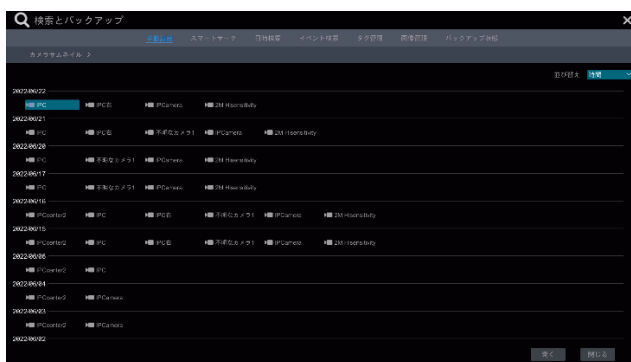


8.4. 録画検索、再生、バックアップ

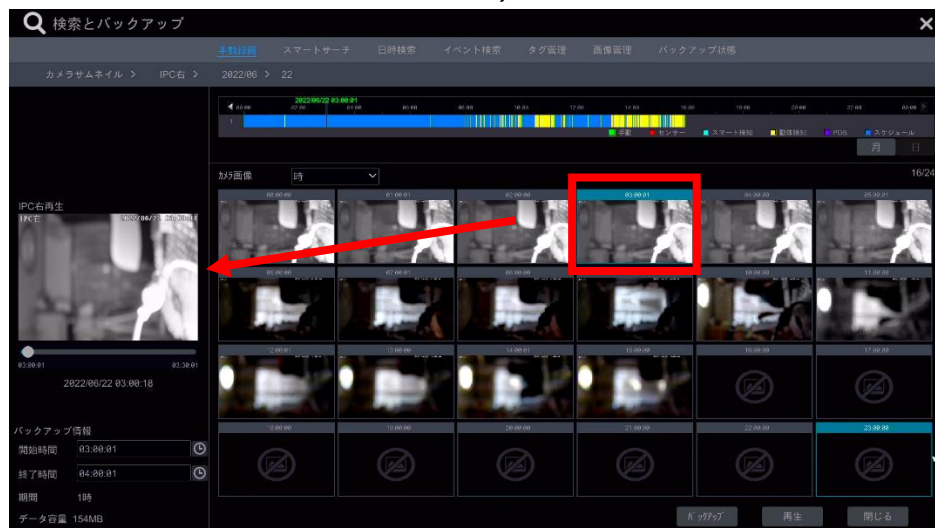
録画データと撮影された静止画は、ネットワーク、USB(U ディスクまたは USB モバイル HDD)を介してバックアップすることができます。バックアップデバイスのファイルシステムは FAT32 形式である必要があります。

8.4.1. 時間分割された画像による検索、再生、バックアップ

- ① [開始]→[検索とバックアップ]→[手動録画]をクリックして、時間分割の画像タブに移動します。時間とカメラの 2 つの表示モードがあります。時間ビューモードでは、日付とカメラ名で表示されます。カメラビューモードでは、カメラのサムネイルで表示されます。



- ② 時間ビューモード画面でカメラを 1 つ選択し、次に[開く]ボタンをクリックします。
- ③ 画面の右側にある画像ボックスのいずれかをクリックして、左側の小さな再生ボックスで録画を再生します(内部に画像が入っているボックスは、録画データが存在することを示します)。



- ④ 下の図を参照してください。タイムスケールのカラーブロックをドラッグして録画データを選択し、次に[バックアップ]ボタンをクリックして、以下のように録画バックアップウィンドウをポップアップ表示します。デバイス名、バックアップ形式、パスを選択し、[バックアップ]ボタンをクリックして、バックアップを開始させます。




Note:

プライベート形式で録画をバックアップする場合、システムは RPAS プレーヤーを USB デバイスに自動的にバックアップします。プライベート形式の録画は、RPAS プレーヤーでのみ再生できます。

時間分割モード選択:

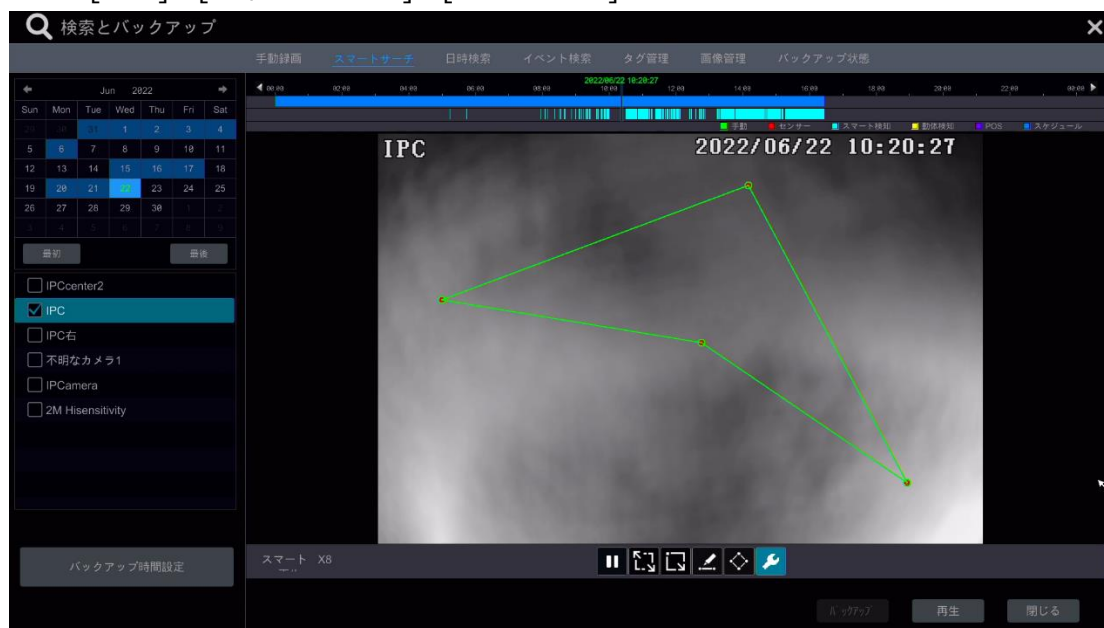
方法 1: 録画タイムスケールの下にある[年]、[月]または[日]ボタンをクリックして、時間分割モードを選択します。タイムスケールの下にある画像オプションで[分]をクリックし、分モードを選択します(分モードで、時間スケールをクリックすると、60 の表示ウィンドウの時間を変更します)。[時]をクリックして時間モードを選択します。


方法 2: 画面の左上隅にあるカメラサムネイルの近くの  をクリックします。

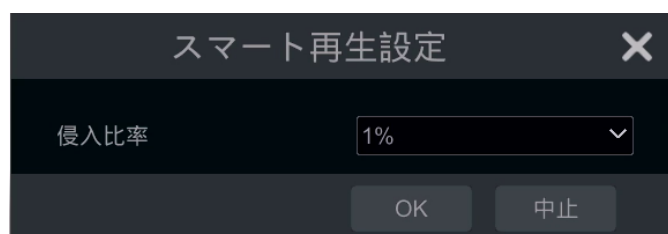
方法 3: 時間分割された画面の任意の領域でマウスを右クリックし、上位の画面に戻ります。

8.4.2.スマートサーチ





- ① 下図のように、[開始]→[検索とバックアップ]→[スマートサーチ]をクリックして、スマート検知によるタブに移動します。





- ② 画面の左上部のカレンダーで年月日を選択します。
- ③ 左下部のカメリストから検索したいカメラを選択します。以下の操作はスマート検知機能を持つカメラのみ有効です。スマート検知機能を持たないカメラでも再生は可能ですが、検知設定はできません。
- ④ 画面の下部の  アイコンをクリックして、侵入比率を設定します。値が大きいほど、動きが大きなものしか検知しなくなります。



- ⑤ 画面下部のアイコンをクリックして検知する領域を設定します。操作は、「8.3.スマート再生」と同じです。

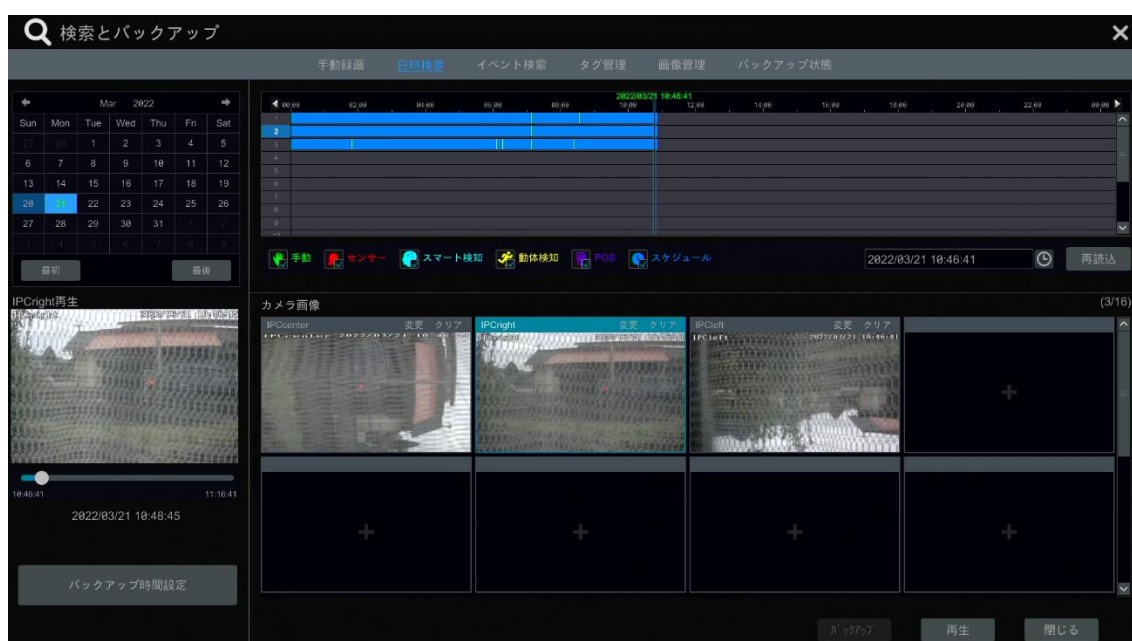
ボタン	説明
	再生/一時停止ボタン。クリックするとビデオを再生できます。
	全画面で動体検知をさせたい場合にクリックします。
	特定の長方形の領域で検知させたい場合にクリックします。検知を行いたい領域をマウスの左ボタンをクリックしてドラッグしながら長方形で設定します。設定した領域の検知結果が表示されます。
	ラインクロスを検知させたいときにクリックします。2か所でクリックして直線を指定します。設定した線を横切る検知結果が表示されます。

	特定の四角形の領域で検知させたい場合にクリックします。4か所の各頂点でクリックして領域を指定します。設定した領域で変化があった場合の検知結果が表示されます。
	検知の感度を変更できます。

- ⑥ タイムスケールのカラーブロックをドラッグして録画データを選択します(または、画面の左下隅にある[バックアップ時間設定]をクリックして、バックアップの開始時刻と終了時刻を設定します)。そして、録画バックアップのため[バックアップ]をクリックします。再生画面で[再生]をクリックして録画を再生します。

8.4.3. 検索、再生、バックアップ(時間別)

- ① 下図のように、[開始]→[検索とバックアップ]→[日時検索]をクリックして、時間によるタブに移動します。
- ② 画面の下部の **+** をクリックして、再生カメラを追加します。最大 16 カメラを再生用に追加できます。カメラウィンドウの右上隅にある[変更]をクリックしてカメラを変更します。[クリア]をクリックしてカメラを削除します。
- ③ カメラウィンドウをクリックして、画面の左側にある小さな再生ボックスで録画を再生します。画面の左上に日付を設定し、必要に応じてイベントタイプをチェックして、そして、時間スケールをクリックするか、時間スケールの下の **🕒** をクリックして時間を設定します。カメラウィンドウは、設定した時間とイベントの種類に応じて録画が再生されます。
- ④ タイムスケールのカラーブロックをドラッグして録画データを選択します(または、画面の左下隅にある[バックアップ時間設定]をクリックして、バックアップの開始時刻と終了時刻を設定します)。そして、録画バックアップのため[バックアップ]をクリックします。再生画面で[再生]をクリックして録画を再生します。



8.4.4. イベント別の検索、再生、バックアップ

一部のモデルでは、POS イベントの検索をサポートしている場合があります。

- ① 以下に示すように、[開始]→[検索とバックアップ]→[イベント検索]をクリックし、イベント検索タブに移動します。



- ② 必要に応じて、画面でイベントタイプをチェックします。
- ③ 画面の左上の🕒をクリックして、開始時刻と終了時刻を設定します。
- ④ 画面の左側にあるカメラをチェックするか、[すべて]をチェックしてすべてのカメラを選択してから、🔍検索をクリックして録画を検索します。検索した録画が一覧に表示されます。
- ⑤ リスト内の▶をクリックすると、ポップアップウィンドウで録画を再生できます。📄をクリックして 1 つの録画データをバックアップするか、リストの複数の録画データをチェックして[バックアップ] をクリックして、録画バッチバックアップを行います。
- ⑥ リストから録画データを 1 つ選択し、[再生]をクリックして、再生画面で録画を再生します。

8.4.5. タグによる検索と再生

タグを追加した場合にのみ、タグ検索でレコードを再生できます。[開始]→[再生]をクリックして、再生画面移動し、選択したカメラの再生地点をマークしたい時に、カメラウィンドウの下部にある📍をクリックし、タグを追加します。

[開始]→[検索とバックアップ]→[タグ管理]をクリックして、タグ管理タブに移動します。





画面の▶をクリックして録画を再生します。✎をクリックしてタグ名を編集します。🗑️をクリックしてタグを削除します。







8.4.6.画像管理

[開始]→[検索とバックアップ]→[画像管理]とクリックして、画像管理タブに移動します。システムは、自動的にスナップされたすべての画像をリストで表示します。




No.	カメラ名	撮影モード	撮影時間	作者	ブラウザ	出力	削除
1	IPC右	アラーム	2020/12/26 17:54:28	IPC右			
2	IPC右	アラーム	2020/12/26 17:54:24	IPC右			
3	IPC右	アラーム	2020/12/26 17:54:08	IPC右			
4	IPC右	アラーム	2020/12/26 17:54:01	IPC右			
5	IPカメラ01	アラーム	2020/12/26 17:53:56	IPカメラ01			

 をクリックして画像を削除します。 をクリックすると、エクスポートウィンドウがポップアップ表示されます。ウィンドウでデバイス名と保存パスを選択して、[保存]ボタンをクリックします。

 をクリックすると、画像の表示ウィンドウがポップアップ表示されます。 をクリックして画像をエクスポートします。 をクリックして前の画像を表示します。 をクリックして次の画像を表示します。 をクリックして画像を削除します。 をクリックすると、すべての画像が再生されます。



8.4.7.バックアップ状態の表示

[開始]→[検索とバックアップ]→[バックアップ状態]と移動するか、再生画面の下部にあるツールバーのをクリックして、バックアップ状態へ移動します。[一時停止]をクリックするとバックアップが一時停止します。再度クリックすると再開します。[削除]をクリックするとバックアップを中止します。



No.	時間帯	期間	データ容量	パス	作者	進捗	詳細	操作	削除
1	2022/03/21 00:27:23-2022/03/21 10:41:31	10時 14分	13.39GB	/mnt/u/ExternalStorag...	admin	0.59%		<input type="button" value="一時停止"/>	<input type="button" value="削除"/>

9 スマート検知管理

注：機能を持つカメラのみ有効です。一部のモデルでは、NVR/DVR による検出となります。

9.1. 物体の検出

物体の持ち込み・持ち去りを検出します。機能を持つカメラのみ有効です。

物体の検出の設定:

- ① まずは、カメラの検知機能を有効にします。[開始]→[設定]→[カメラ]→[スマート検知]→[物体検知]とクリックして、次の画面に移動します。



- ② カメラを選択し、必要に応じて関連する検出項目を設定します。

項目	説明
物体検知	オン/オフを選択します。
時間	検知した場合のアラーム時間を設定します。
検知タイプ	持ち込み/持ち去りを選択します。
検知エリア	検知するエリアを設定します。4 か所まで設定できます。 ID を選択したのち、左側のカメラ画像の[検知エリア設定]をチェックします。画像上で6点まで頂点を指定でき、領域を設定します。 [消去]ボタンをクリックすると、領域がクリアされます。最後に[検知エリア設定]をチェックはずします。
エリア名	エリアの名前を設定します。

- ③ 全てのカメラの設定が終了したら、[適用]をクリックして設定を保存します。
- ④ 次に、検知した際のアラーム手段を設定します。最下部の[処理モード]をクリックするか、[開始]→[設定]→[アラーム]→[スマート検知警告]→[物体検知]とクリックして、画面を移動します。



検知時に行う操作を設定します。設定できる操作は、録画、静止画撮影、Push、アラーム出力、プリセット、ブザー、画像表示、メールとなります。録画、アラーム出力、プリセットに関しては、有効にすると実行するカメラやプリセット番号などを選択できます。アラーム通知の詳細は「[10.4.アラームイベント通知](#)」を参照してください。

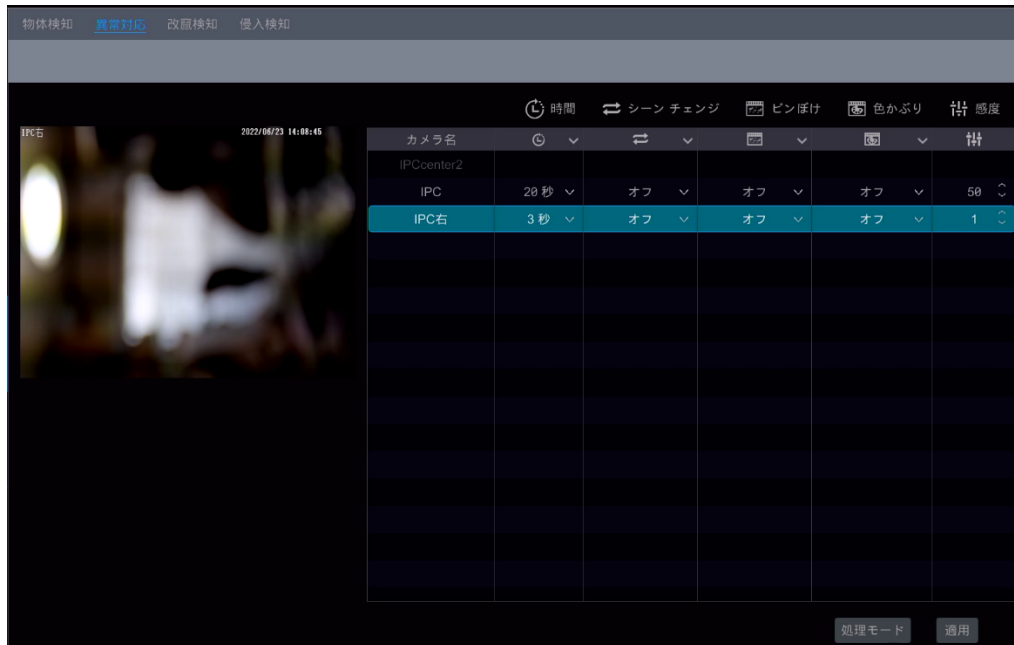
- ⑤ [適用]をクリックして設定を保存します。

9.2.異常対応

カメラの異常に対応する検出の設定を行います。機能を持つカメラのみ有効です。

異常の検出の設定:

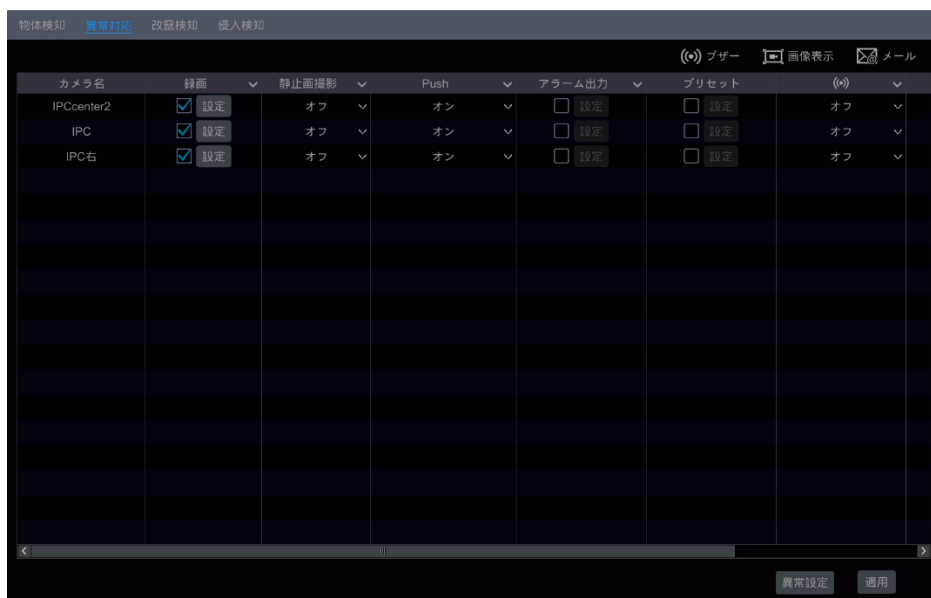
- ① まずは、カメラの検知機能を有効にします。[開始]→[設定]→[カメラ]→[スマート検知]→[異常対応]をクリックして、次の画面に移動します。



- ② カメラと検出時間を選択し、必要に応じて関連する検出有効にします。

項目	説明
時間	検知した場合のアラーム時間を設定します。
シーンチェンジ	オンにすると、映像のシーンが変更された場合、アラームがトリガされます。
ピンぼけ	オンにすると、ビデオがぼやけるとアラームがトリガされます。
色かぶり	オンにすると、ビデオが不明瞭になると、アラームがトリガされます。
感度	検知する感度を設定します。

- ③ 全てのカメラの設定が終了したら、[適用]をクリックして設定を保存します。
- ④ 次に、検知した際のアラーム手段を設定します。最下部の[処理モード]をクリックするか、[開始]→[設定]→[アラーム]→[スマート検知警告]→[異常対応]とクリックして、画面を移動します。



検知時に行う操作を設定します。設定できる操作は、録画、静止画撮影、Push、アラーム出力、プリセット、ブザー、画像表示、メールとなります。録画、アラーム出力、プリセットに関しては、有効にすると実行するカメラやプリセット番号などを選択できます。アラーム通知の詳細は「[10.4.アラームイベント通知](#)」を参照してください。

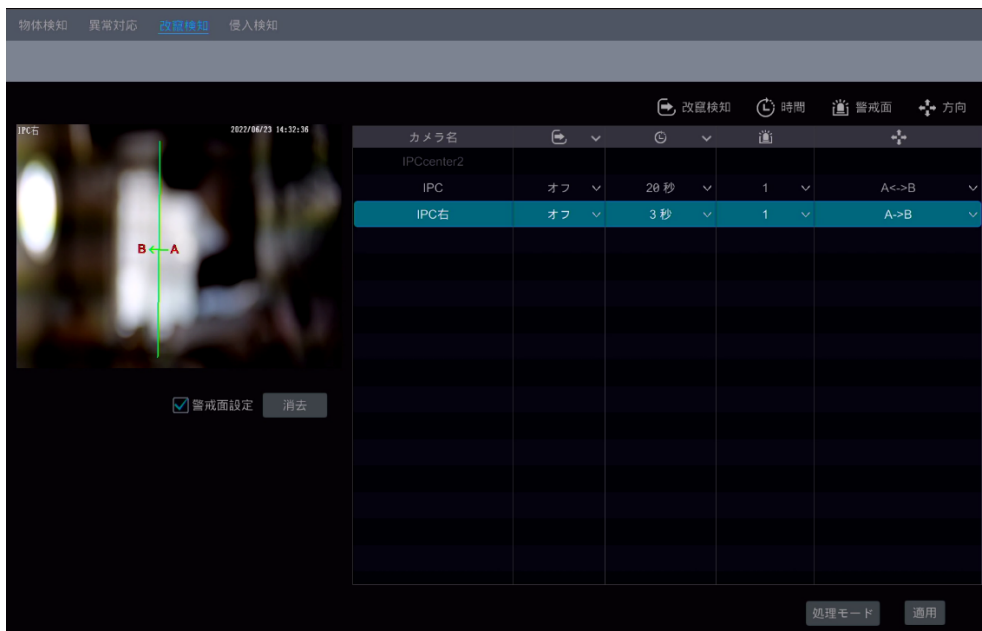
- ⑤ [適用]をクリックして設定を保存します。

9.3.改竄の検出

横切りを検出します。機能を持つカメラのみ有効です。

改竄の検出の設定:

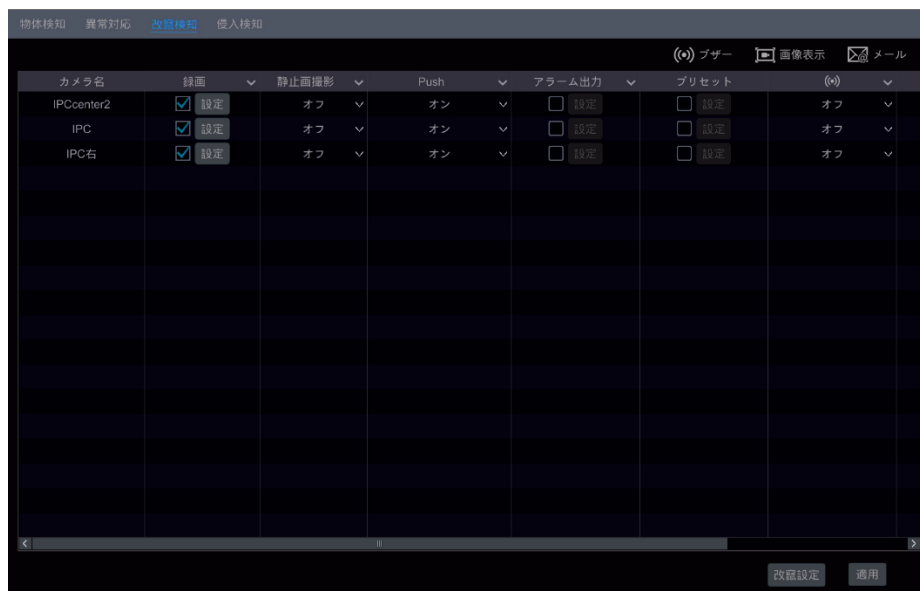
- ① まず、カメラの設定を行います。[開始]→[設定]→[カメラ]→[スマート検知]→[改竄検知]とクリックして、次の画面に移動します。



- ② カメラを選択し、必要に応じて関連する検出項目を設定します。

項目	説明
改竄検知	検知をオンにして有効にします。
時間	検知した場合のアラーム時間を設定します。
警戒面	検知するラインを設定します。4 か所まで設定できます。 ID を選択したのち、左側のカメラ画像の[警戒面設定]をチェックします。画像上でマウスの左ボタンをクリックしたままドラックしてラインを描画します。 [消去]ボタンをクリックすると、ラインがクリアされます。最後に[警戒面設定]のチェックをはずします。
方向	横切り方向を設定します。

- ③ 全てのカメラの設定が終了したら、[適用]をクリックして設定を保存します。
- ④ 次に、検知した際のアラーム手段を設定します。最下部の[処理モード]をクリックするか、[開始]→[設定]→[アラーム]→[スマート検知警告]→[改竄検知]とクリックして、画面を移動します。



検知時に行う操作を設定します。設定できる操作は、録画、静止画撮影、Push、アラーム出力、プリセット、ブザー、画像表示、メールとなります。録画、アラーム出力、プリセットに関しては、有効にすると実行するカメラやプリセット番号などを選択できます。アラーム通知の詳細は「[10.4.アラームイベント通知](#)」を参照してください。

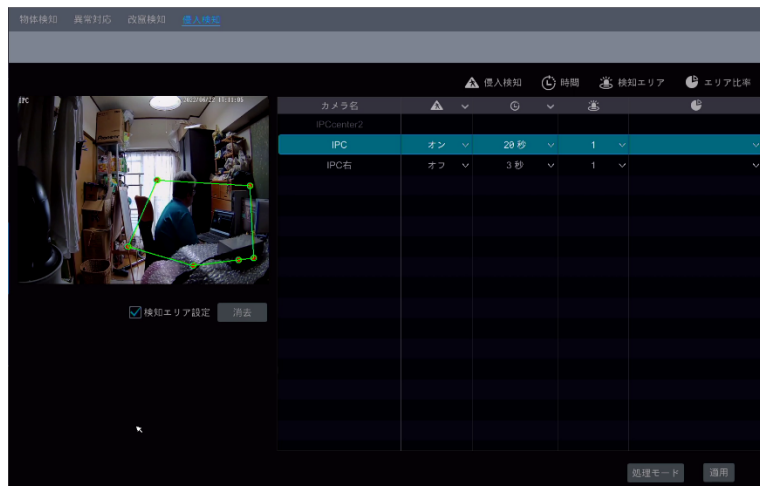
- ⑤ [適用]をクリックして設定を保存します。

9.4. 侵入検知

侵入検知の設定:

物体が事前に定義された領域に侵入した場合、アラームがトリガされます。

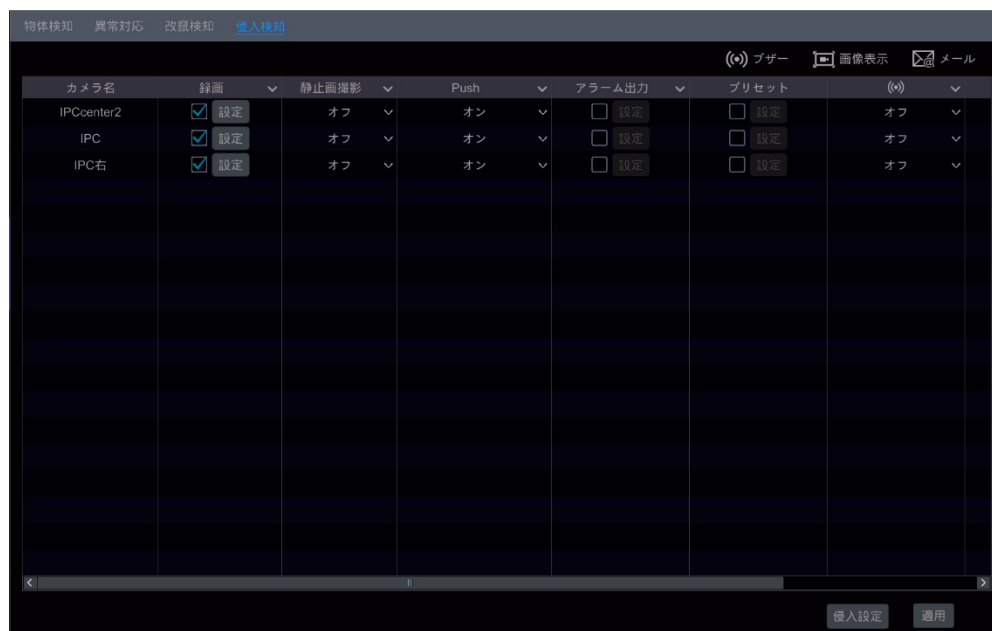
- ① まずは、カメラの検知機能を有効にします。[開始]→[設定]→[カメラ]→[スマート検知]→[侵入検知]とクリックして、画面を移動します。



- ② カメラを選択し、IPカメラによる検出を有効にして、継続時間を設定します。

項目	説明
侵入検知	オン/オフを選択します。
時間	検知した場合のアラーム時間を設定します。
検知エリア	検知するエリアを設定します。4か所まで設定できます。 ID を選択したのち、左側のカメラ画像の[検知エリア設定]をチェックします。画像上で6点まで頂点を指定でき、領域を設定します。 [消去]ボタンをクリックすると、領域がクリアされます。最後に[検知エリア設定]をチェックはずします。
エリア比率	(未サポート)

- ③ 全てのカメラの設定が終了したら、[適用]をクリックして設定を保存します。
- ④ 次に、検知した際のアラーム手段を設定します。最下部の[処理モード]をクリックするか、[開始]→[設定]→[アラーム]→[スマート検知警告]→[侵入検知]とクリックして、画面を移動します。



検知時に行う操作を設定します。設定できる操作は、録画、静止画撮影、Push、アラーム出力、プリセット、ブザー、画像表示、メールとなります。録画、アラーム出力、プリセットに関しては、有効にすると実行するカメラやプリセット番号などを選択できます。アラーム通知の詳細は「[10.4.アラームイベント通知](#)」を参照してください。

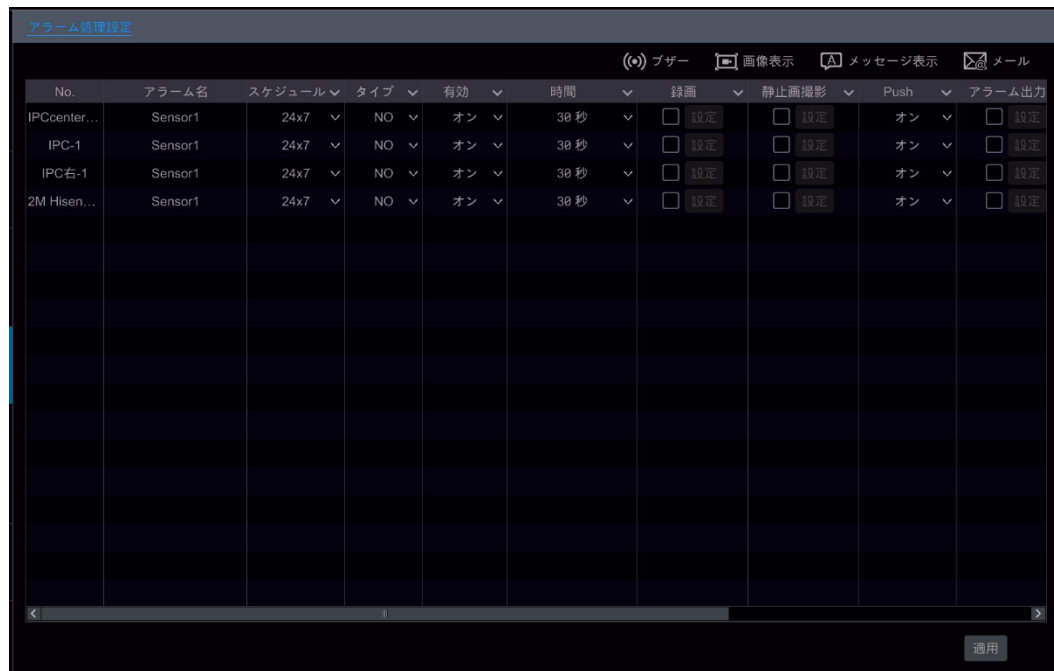
- ⑤ [適用]をクリックして設定を保存します。

10 一般的なイベント管理

10.1.センサーアラーム

センサーアラームの設定を行うには、各カメラのセンサーアラームを有効にしてから、各カメラのアラーム処理を設定する必要があります。

- ① [開始]→[設定]→[アラーム]→[センサーアラーム]とクリックして、次の画面に移動します。



- ② センサーのトリガタイプに応じてアラームタイプ(NO または NC)を選択します。
- ③ 各カメラのセンサーアラームを[有効]にし、スケジュールを選択します。
- ④ 必要に応じて[時間]、[録画]、[静止画撮影]、[アラーム出力]、[プリセット]をチェックし、[Push]、[ブザー]、[1 画面表示]、[メッセージ表示]および[電子メール]を有効化または無効にします。録画、静止画出力、アラーム出力、プリセットに関しては、有効にすると実行するカメラやプリセット番号などを選択できます。アラーム通知の詳細は「[10.4.アラームイベント通知](#)」を参照してください。
- ⑤ [適用]をクリックして設定を保存します。

上記のアラーム連携の設定手順は以下の通りです。

持続時間: 隣接する動き検出の間隔を指します。たとえば、持続時間が 10 秒に設定されている場合、システムが一度動きを検出すると、アラーム状態に移行し、10 秒以内は他の動きを検出しません(カメラの仕様によります)。この期間中に別の動きが検出された場合、それは連続的な動きとみなされます。言い換えれば、単一の動きとみなされます。

録画: チェックされていると、録画トリガウィンドウが自動的にポップアップします(また、[設定]ボタンをクリックして、ウィンドウをポップアップすることができます)。左側のカメラを選択し、 をクリックして、カメラをトリガーカメラに設定します。右側のトリガーカメラを選択し、 をクリックしてトリガーカメラをキャンセルします。設定を保存するには[OK]をクリックします。センサーアラームがトリガされると、トリガーカメラが自動的に録画されます。

静止画撮影: チェックされていると、スナップショット起動ウィンドウが自動的にポップアップします。ウィンドウでトリガーカメラを設定します。トリガーカメラは、センサーアラームがトリガされると自動的に画像をキャプチャします。

音声: 音声を選択します。センサーアラームがトリガされると、システムは音声を出力します。音声出力機能が必要です。

Push: チェックしてオンまたはオフを選択します。オンの場合、センサーアラームがトリガされると、システムはメッセージを送信します。

アラーム出力: チェックされていると、アラーム出力検知ウィンドウが自動的にポップアップします。ウィンドウでトリガーアラーム出力を設定します。センサーアラームがトリガされると、システムはアラームを自動的にトリガします。アラーム出力の遅延時間とスケジュールを設定する必要があります。詳細については、「[10.4.1.アラーム出力](#)」を参照してください。

プリセット: チェックされていると、プリセット起動ウィンドウが自動的にポップアップします。各カメラのトリガープリセットを設定します。プリセットを追加する手順については「[6.2.プリセット設定](#)」を参照してください。

ブザー: 有効にすると、センサーアラームがトリガされるとシステムがブザーを鳴らします。ブザーの遅延時間を設定するには、「[10.4.4.ブザー](#)」を参照してください。

1 画面表示: カメラを設定した後、センサーアラームがトリガされると、システムは自動的に対応する映像をポップアップします。映像の再生時間を設定するには、「[10.4.3.画面](#)」を参照ください。

メッセージ送信: 有効にすると、センサーアラームがトリガされたときに、システムは自動的に対応するアラームメッセージボックスをポップアップします。メッセージボックスの継続時間を設定するには、「[10.4.3.画面](#)」を参照してください。

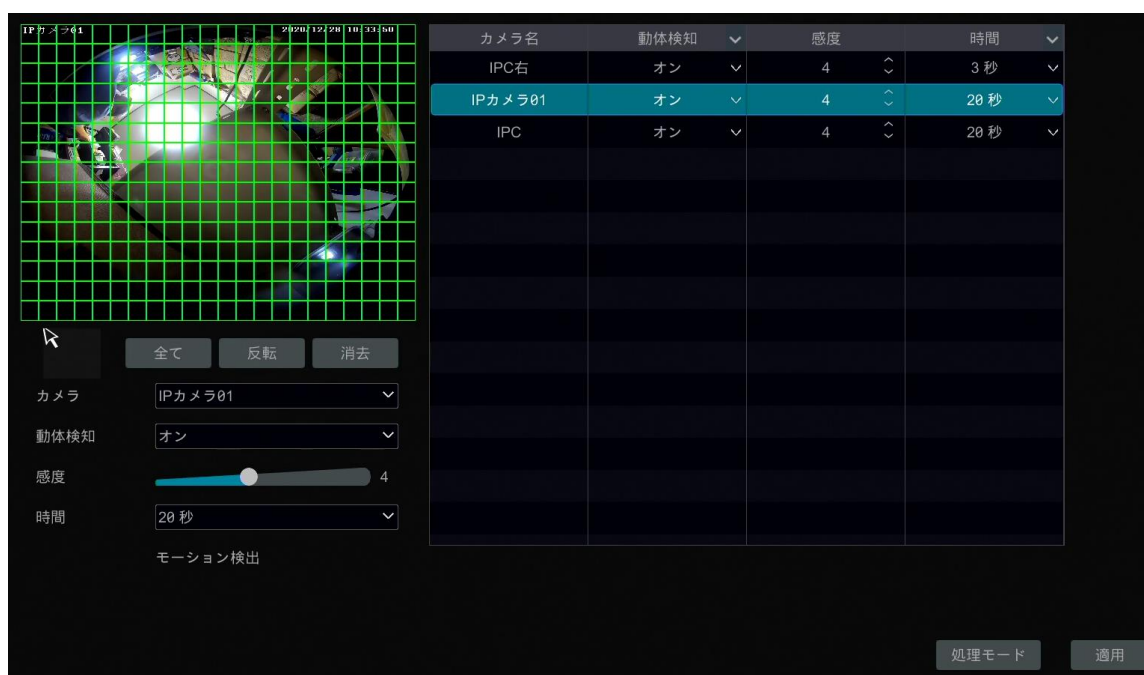
電子メール: 有効にすると、センサーアラームがトリガされると、システムから電子メールが送信されます。電子メールを有効にする前に、まず受信者の電子メールアドレスを設定してください(詳細については、「[12.1.5.電子メールの設定](#)」を参照してください)。

10.2. 動体検知アラーム

動体検知アラーム: 動体検知が指定された領域に表示されると、アラームがトリガされます。最初に各カメラの動作を有効にしてから、カメラのアラームを設定して、動体検知アラームの設定全体を完了する必要があります。

10.2.1. 動体検知設定

- ① [開始]→[設定]→[カメラ]→[動体検知設定]をクリックして、次の画面に移動します。



- ② カメラを選択し、動体検知を有効にし、カメラの感度と持続時間を設定します。

感度: 値が大きいほど、動きに対する感度が高くなります。感度は色と時間(昼夜)の影響を受けるので、実際の条件に応じて値を調整する必要があります。

時間: 隣接する動き検出の間隔を指します。たとえば、持続時間が 10 秒に設定されている場合、システムが動きを検出すると、アラーム状態に移行し、10 秒以内に他の動きを検出しません(カメラの仕様によります)。この期間中に別の動きが検出された場合、それは連続的な動きとみなされます。言い換えると、単一の動きとみなされます。

- ③ カメラの画像をドラッグして、動体検知領域を設定します。複数の動き検知領域を設定できます。カメラ画像全体を動き検知領域として設定するには[全て]をクリックします。[反転]をクリックすると、動き検知領域と非領域が入れ替わりま。[消去]をクリックするとすべての動き検知領域がクリアされます。
- ④ 設定を保存するには[適用]をクリックします。[処理モード]をクリックして動体検知アラームのアラーム処理設定画面に移動します。

10.2.2.動体検知アラーム処理設定

- ① [開始]→[設定]→[検知/アラーム]→[一般イベント]→[動体検知]をクリックし、次の画面に移動します。



- ② [録画]、[静止画撮影]、[Push]、[アラーム出力]、[プリセット]、[ブザー]、[1画面表示]、および[電子メール]を有効化または無効化します。動体検知アラームのアラーム処理設定は、センサーアラームの設定と同様です(詳細は「[10.1.センサーアラーム](#)」を参照)。
- ③ 設定を保存するには[適用]をクリックします。[動体検知設定]をクリックするとカメラの動体検知設定画面に移動できます。

10.3.例外アラーム

10.3.1.IPC オフライン設定

IPカメラとの通信がオフラインになった場合にアラーム通知します。設定方法は、

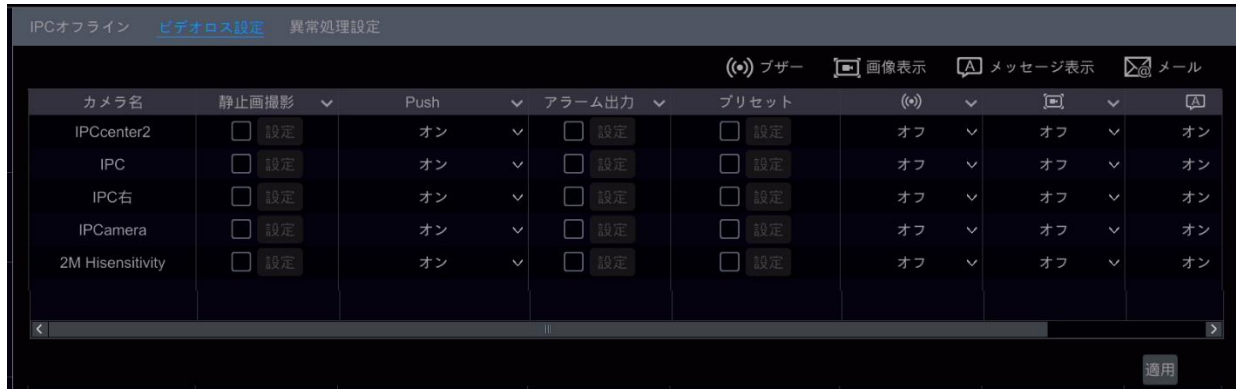
- ① [開始]→[設定]→[アラーム]→[異常]→[IPC オフライン設定]をクリックして、次に示す画面に移動します。
- ② [静止画撮影]、[Push]、[アラーム出力]、[プリセット]、[ブザー]、[1画面表示]、[メッセージ表示]および[電子メール]を有効または無効にします。IPC オフライン設定は、センサーアラームの設定と似ています(詳細は「[10.1.センサーアラーム](#)」を参照)。
- ③ 設定を保存するには[適用]をクリックします。



10.3.2.ビデオロス設定

映像が消失した場合にアラーム通知します。機能があるカメラのみ有効です。設定方法は、

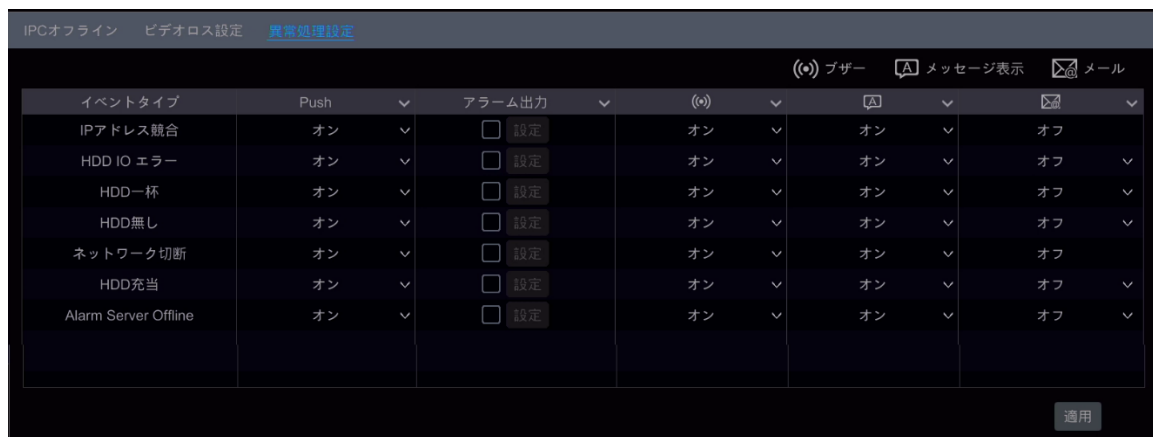
- ④ [開始]→[設定]→[アラーム]→[異常]→[ビデオロス設定]をクリックして、次に示す画面に移動します。
- ⑤ [静止画撮影]、[Push]、[アラーム出力]、[プリセット]、[ブザー]、[1画面表示]、[メッセージ表示]および[電子メール]を有効または無効にします。IPC オフライン設定は、センサーアラームの設定と似ています(詳細は「[10.1.センサーアラーム](#)」を参照)。
- ⑥ 設定を保存するには[適用]をクリックします。



10.3.3.異常処理設定

機器の様々な異常状態に対してアラーム通知します。機能があるカメラのみ有効です。設定方法は、

- ① [開始]→[設定]→[アラーム]→[異常]→[異常処理設定]をクリックして、下図の画面に移動します。



イベントは、次のものがあります。

イベントタイプ	説明
IP アドレス 競合	他の機器と IP アドレスが競合しました。別の IP アドレスを設定してください。
HDD IO エラー	HDD への書き込み/読み込みでエラーが発生しました。HDD の交換が必要かもしれません。
HDD 一杯	HDD の空き容量がなくなりました。Cycle 設定になっていない場合は追加で録画などが保存できません。
HDD 無し	HDD がありません。

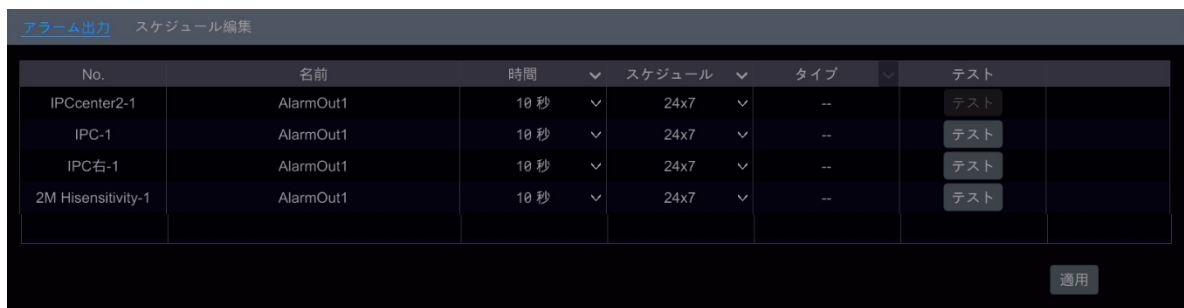
ネットワーク切断	NVR がネットワークに接続されていません/切断されました。
HDD 充当	HDD が見つかりません。
Alarm Server Offline	Alarm Server との接続が切断されました。

- ② [Push]、[アラーム出力]、[ブザー]、[メッセージ表示]と[電子メール]を有効化または無効化します。例外処理設定は、センサーアラームの設定と似ています(詳細は「[10.1.センサーアラーム](#)」を参照してください)。
- ③ 設定を保存するには[適用]をクリックします。

10.4.アラームイベント通知

10.4.1.アラーム出力

- ① [開始]→[設定]→[アラーム]→[イベント通知]→[アラーム出力]をクリックして、次の画面に移動します。



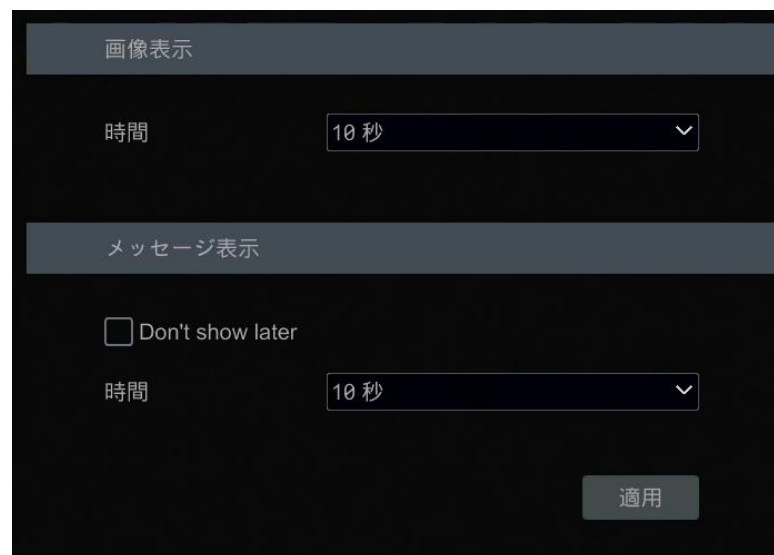
- ② 各アラーム出力の継続時間とスケジュールを設定します。スケジュールを編集するには、[スケジュール編集]タブをクリックします(詳細は「[7.1.2.録画スケジュール設定](#)」を参照)
- ③ 設定を保存するには[適用]をクリックします。[テスト]をクリックしてアラーム出力をテストできます。

10.4.2.電子メール

[開始]→[設定]→[アラーム]→[イベント通知]→[メール]をクリックして電子メール設定画面に移動します。受信者の電子メールアドレスを設定します。詳細については、「[12.1.5.電子メールの設定](#)」を参照してください。

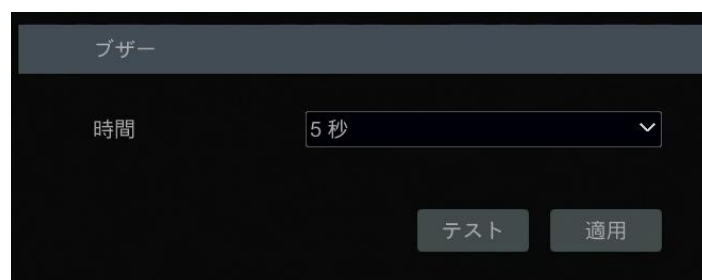
10.4.3.画面

[開始]→[設定]→[アラーム]→[イベント通知]→[画面]をクリックして、画面に移動します。1 画面表示とメッセージ表示の継続時間を設定します。デバイスが 2 つの出力をサポートしている場合は、必要に応じて画像表示の出力を設定してください。その後、設定を保存するには[適用]をクリックします。



10.4.4.ブザー

[開始]→[設定]→[アラーム]→[イベント通知]→[ブザー]をクリックして、ブザー設定画面に移動します。ブザーの継続時間を設定し、[適用]をクリックして設定を保存します。ブザーをテストするために[テスト]をクリックすることができます。



10.4.5.プッシュ通知

[開始]→[設定]→[アラーム]→[イベント通知]→[プッシュ通知]をクリックして、下図の画面に移動します。[有効]をチェックしてから、[適用]をクリックして設定を保存します。プッシュサーバーがオンラインの場合、メッセージはモバイルクライアントにプッシュされます。



10.4.6.アラームサーバ

以下に示すように、[開始]→[設定]→[アラーム]→[イベント通知]→[Alarm Server]画面に移動します。

アラームサーバを有効にして、アラームサーバのサーバーアドレスとポートを入力します。次にプロトコルを選択します。プロトコルにより入力項目が変化します。

[Send Heartbeat]が有効になっている場合は、定期的にハートビートをサーバに送って正常確認を行います。[インターバル時間(秒)] (Interval Time[s])を設定してください。その後、アラームサーバの有効性をテストします。テストが正常に終了したら、[適用]をクリックしてください。アラームが発生すると、アラームイベントがアラームサーバに転送されます。アラームサーバが不要な場合は、このセクションを設定する必要はありません。




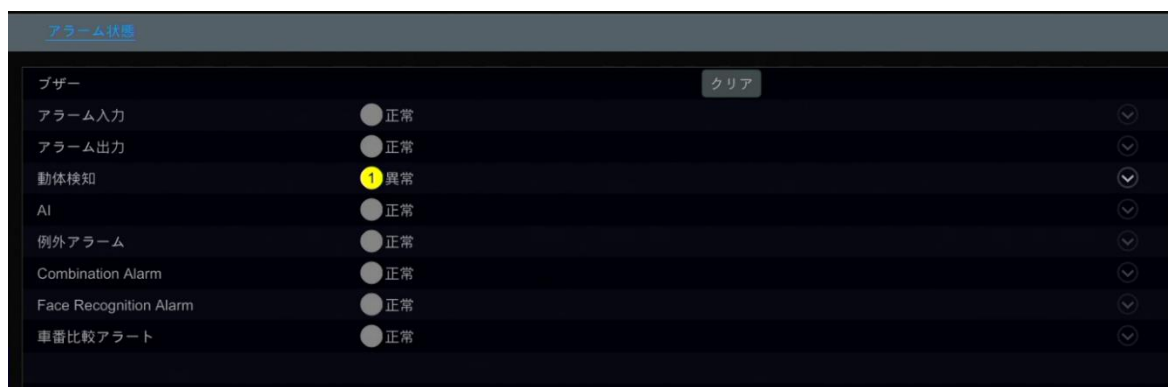
10.4.7.スケジュール編集


[開始]→[設定]→[アラーム]→[イベント通知]→[スケジュール編集]をクリックして、画面に移動します。操作の詳細は「

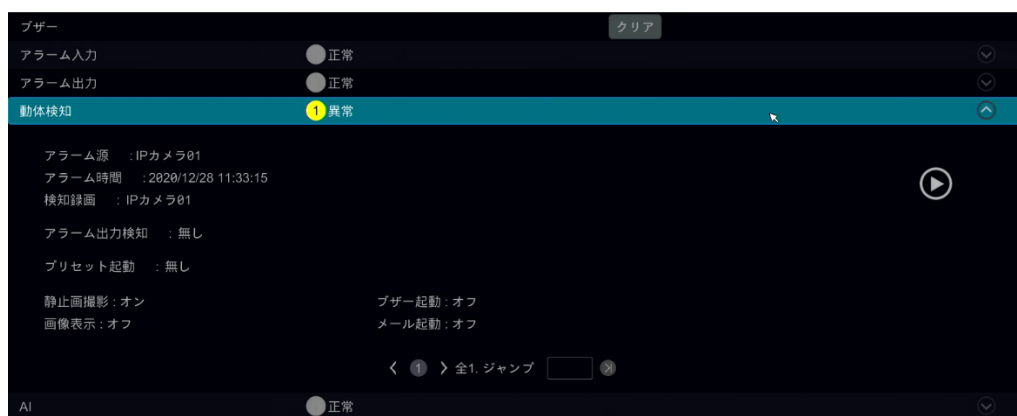
7.1.2.録画スケジュール設定」を参照してください。




10.6.アラーム状態の表示

[開始]→[設定]→[アラーム]→[アラーム状態]をクリックするか、ライブ画面の下部にあるツールバーのをクリックして、アラームの状態を表示させます。



ブザーアラームが発生したときには、[クリア]をクリックするとブザーが停止します。をクリックすると以下に示すような詳細を表示します。



アラーム情報が複数のページである場合は、ボックスに番号を入力し、をクリックして、指定したページにジャンプすることもできます。/をクリックして、前/次のページのアラーム情報を表示します。

11 アカウントとアクセス許可の管理

11.1.アカウント管理

[開始]→[設定]→[ユーザー権限]→[ユーザー]→[ユーザーの編集]をクリックして、下図の画面に移動します。



領域①には、ユーザー権限が表示されます。領域②はユーザーリストを表示します。リストのユーザーをクリックすると、そのユーザーのアクセス許可が領域①に表示されます。

アカウントを追加する際には、3つのデフォルトのアクセス許可グループがあります([管理者]、[詳細]、および[共通])。新しいアクセス許可グループを手動で追加できます(詳細については、「[11.3.1.アクセス許可グループの追加](#)」を参照してください)。

“admin”と「ユーザー権限」の権限を持つユーザーのみが、システムのアカウントを管理できます。[管理者]グループは、「ユーザー権限」を除き、領域①に表示されるすべての権限を所有しています。

11.1.1.1. ユーザーの追加

- ① [開始]→[設定]→[ユーザー権限]→[ユーザー]→[ユーザー追加]をクリックするか、検索ボックスの横 **+** をクリックして、次に示すように、ウィンドウをポップアップ表示します。

ユーザー追加

ユーザー名

パスワード

パスワード確認

パスワード表示

Allow Modify Password

パターンロック 有効

メール

グループ

- ② ユーザー名、パスワード、グループを設定します。ユーザーは、ここでパターンロックを設定することもできます。電子メールアドレスはオプションです。MAC アドレスを設定できるモデルの場合、チェックした後に MAC アドレスを入力します。
[追加]をクリックしてユーザーを追加します。

11.1.2.ユーザーの編集

[開始]→[設定]→[ユーザー権限]→[ユーザー]→[ユーザーの編集]をクリックしてからユーザー一覧の▼をクリックするか、ユーザーをダブルクリックしてユーザー情報を編集します。🗑️をクリックしてユーザーを削除します(“admin”は削除できません)。



➤ 秘密の質問編集

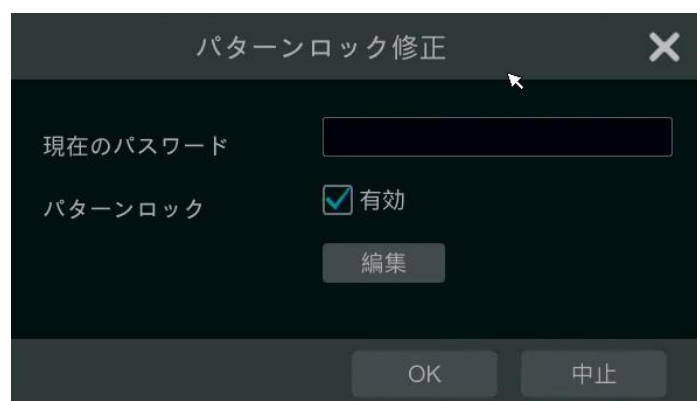
パスワードセキュリティは“admin”に対してのみ設定できます。[秘密の質問編集]をクリックし、ポップアップウィンドウで質問と回答を設定します。“admin”のパスワードを忘れた場合は、「付録 A：よくある質問」の Q4 を参照してください。他のユーザーのパスワードは、“admin”または[ユーザー権限]の権限を持つユーザーによって回復することができます。

➤ パスワードの変更

変更できるのは“admin”のパスワードのみです。[パスワード変更]をクリックするとウィンドウがポップアップ表示されます。現在のパスワードを入力し、新しいパスワードを設定します。設定を保存するには[OK]をクリックします。

➤ パターンロックの変更

一部のモデルでは、この機能をサポートしていない可能性があります。
[パターンロック修正]をクリックしてウィンドウをポップアップ表示します。



現在のパスワードを入力し、[有効]をオンにして、パターンロックを設定します。いずれかの○からドラックをして少なくとも4つの○を結んでください。

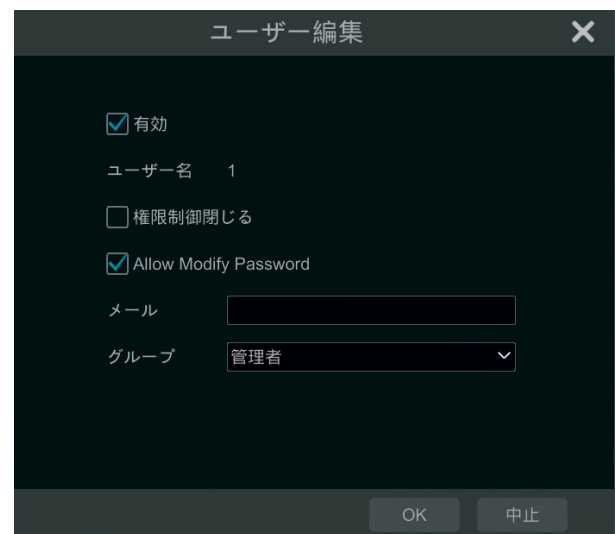


➤ パスワードを回復

[パスワード復元]をクリックして、パスワードを"123456"にリセットします。

➤ ユーザー編集

[ユーザー編集]をクリックすると、以下のようにウィンドウがポップアップ表示されます。"admin"は常に[有効]になっています。アクセス許可の制御はできないので、アクセス許可グループは既定で変更できません。他のユーザーの場合は有効または無効にできます(権限を無効にした場合は、そのユーザーが無効になります)。権限制御を可能または不可にできます(不可にすると、ユーザーは管理者が持つすべてのアクセス許可を取得します)、アクセス許可グループを設定できます。[OK]をクリックして設定を保存します。



11.2.ユーザーログインとログアウト

ログイン: [開始]→[ログイン]をクリックするか、ライブ画面を直接クリックして、表示されたポップアップウィンドウで[ユーザー名]を選択し、パスワードを入力します。[ログイン]ボタンをクリックして、システムにログインします。

ログアウト: [開始]→[ログアウト]をクリックするか、[開始]→[終了]をクリックして、シャットダウンウィンドウを表示させます。ウィンドウで[ログアウト]を選択し、次に[OK]をクリックしてシステムをログアウトします。

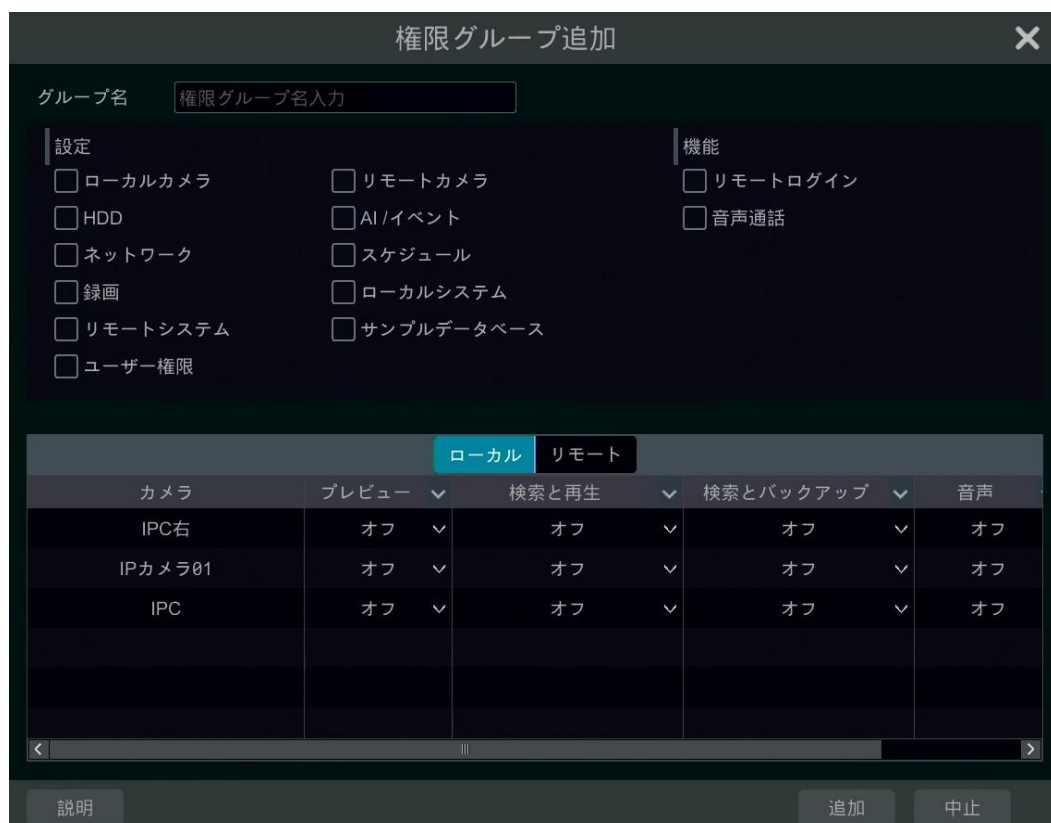
11.3.権限管理

11.3.1.アクセス許可グループの追加




[開始]→[設定]→[ユーザー権限]→[ユーザー]→[権限グループ編集]をクリックして、下図の画面に移動します。



+ をクリックして、アクセス許可グループを追加します。グループ名を設定し、必要に応じて権限をチェックし、次に、[ローカル]と[リモート]のアクセス許可を設定します。[追加]をクリックして設定を保存します。権限はモデルにより異なる場合があります。

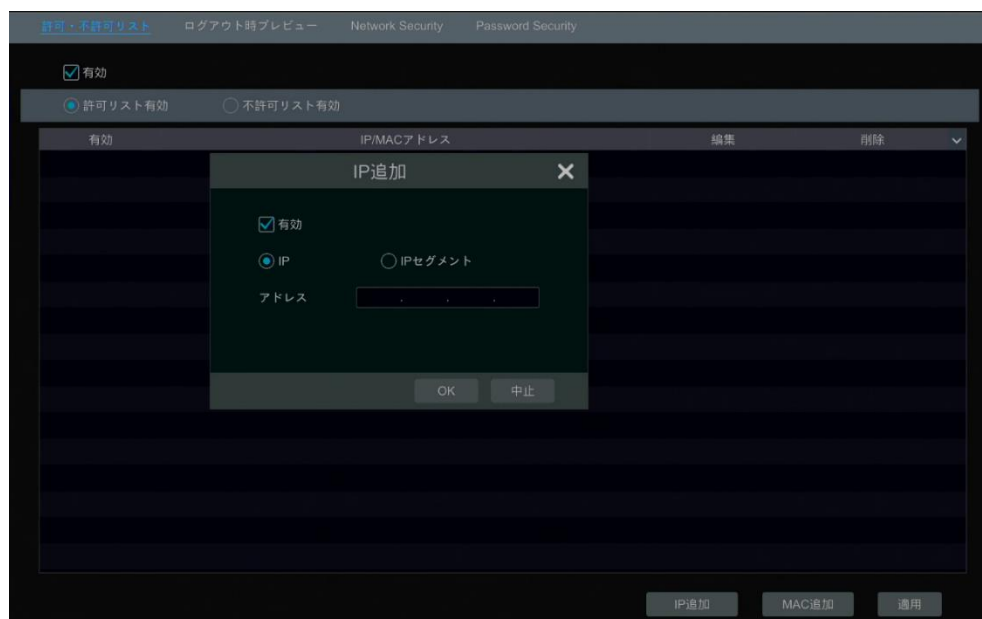




11.3.2.権限グループ編集

[権限グループ編集]画面に移動し、グループリストの  をクリックして権限グループを編集します([権限グループの編集]の操作は、[権限グループの追加]の操作と似ています。詳細については「11.3.1.アクセス許可グループの追加」を参照してください)。 をクリックすると別のグループとして保存できます。 をクリックすると、権限グループが削除されます。3つのデフォルトアクセス許可グループ([管理者]、[詳細]および[共通])は削除できません。

11.4.許可リスト(ホワイトリスト)と不許可リスト(ブラックリスト)

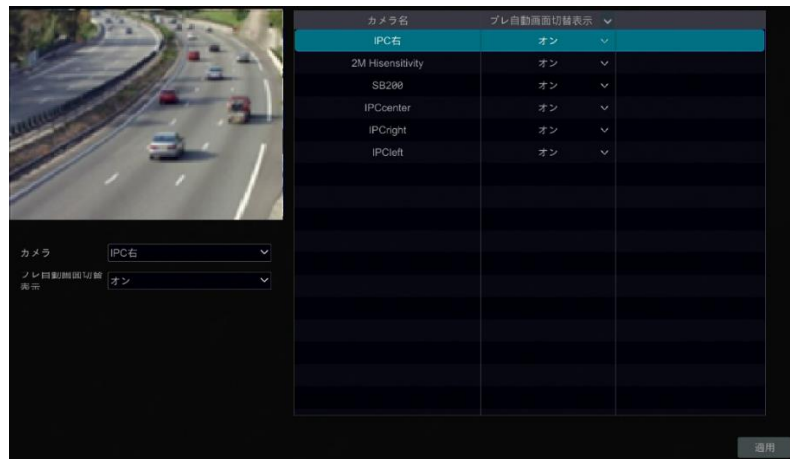
① [開始]→[設定]→[ユーザー権限]→[セキュリティ] →[許可・不許可リスト]をクリックして、次の画面に移動します。



- ② [有効]をチェックして、次に、[許可リスト(ホワイトリスト)有効]または[不許可リスト(ブラックリスト)有効]を選択します(許可リスト内の PC クライアントが NVR にリモートでアクセスでき、不許可リストの PC クライアントはできません)。
- ③ IP/IP セグメント/MAC を追加します。[IP 追加]または[MAC 追加]をクリックし、ポップアップウィンドウで[有効]をオンにします(追加する IP/IP セグメント/MAC が有効であることを確認した場合のみ)。IP/IP セグメント/MAC を入力し、次に[OK]をクリックします。上記の画面で、 をクリックして IP/IP セグメント/MAC を編集します。 をクリックして削除します。[適用]をクリックして設定を保存します。

11.5.ログアウト時のプレビュー

[開始]→[設定]→[ユーザー権限]→[セキュリティ]→[ログアウト時プレビュー]をクリックして、次の画面に移動します。カメラを設定し、必要に応じてログアウトのプレビュー権限を有効または無効にします。ログアウトに対するカメラのプレビュー許可が[オン]の場合は、ユーザーがログアウトしたときにカメラのライブ画像を表示することができます。さもないとログアウトしたときにカメラのライブ画像が見えません。



11.6.パスワードセキュリティ

[開始]→[設定]→[ユーザー権限]→[セキュリティ]→[Password Security]をクリックして、次の画面に移動します。






この画面では、パスワードの強度と有効期限を設定できます。

Level: パスワードの強度です。Week(弱)、Medium(中)、Strong(強)から選択できます。設定した強度未満のパスワードは設定できなくなります。新しいパスワードを入力時に、パスワード入力ボックスの下に表示される赤い線で強度を確認できます。

Expiration Time: 有効期限です。無期限、30、90、180日を選択できます。指定した期間が経過したログインはパスワードの再設定が必要です。

11.7.オンラインユーザーの表示

[開始]→[設定]→[ユーザー権限]→[ユーザー状態]をクリックし、オンラインユーザー情報を表示します(オンラインユーザー名、ログインタイプ、IP アドレス、ログイン時間を表示できます。をクリックして、選択チャンネルプレビューと選択チャンネル再生を示すウィンドウをポップアップ表示します)。

オンラインユーザー				
ユーザー名	ログインタイプ	IP	ログイン時間	詳細
admin	ローカル	--	2022/03/17 16:12:09	
admin	リモート	192.168.10.202	2022/03/23 11:11:14	

12 デバイス管理

12.1.ネットワーク設定

12.1.1.TCP/IP 設定

[開始]→[設定]→[ネットワーク]→[TCP/IP]をクリックして、次の画面に移動します。[IPv4 アドレス自動的取得]、[IPv6 アドレス自動取得]、[DNS 自動取得]をチェックしてネットワークアドレスを自動的に取得するか、ネットワークアドレスを手動で入力します。[適用]をクリックして設定を保存します。

IPアドレス設定

イーサネットポート1 (オンライン)

IPv4アドレス自動取得

アドレス 192 . 168 . 10 . 26

サブネットマスク 255 . 255 . 255 . 0

ゲートウェイ 192 . 168 . 10 . 1

MTU 1500

IPv6アドレス自動取得

アドレス

マスク長さ

ゲートウェイ

DNS自動取得

優先DNS 8 . 8 . 8 . 8

代替DNS

詳細

適用

[詳細]をクリックすると下図のウィンドウがポップアップします。ネットワークの状態に応じて設定できます。

詳細TCP/IP設定

二次IPを有効にする

アドレス

サブネットマスク

OK 中止

12.1.2.ポート設定

[開始]→[設定]→[ネットワーク]→[ポート]をクリックして、下図の画面に移動します。NVR の HTTP ポート、HTTPS ポート、サーバーポート、RTSP ポート、および POS ポートを入力し、[適用]をクリックして設定を保存します。また、RTSP ポートに対して、匿名ログインを許可する場合は、[匿名の登録…]をチェックしてください。

HTTP ポート: NVR のデフォルト HTTP ポートは 80 です。ポート番号は 81 のように他のポート番号に変更できます。ポートは主に Web クライアントアクセスに使用されます。Web ブラウザを介して NVR にアクセスする場合は、“http://192.168.11.61:81”のように、Web ブラウザのアドレスバーに IP アドレスと HTTP ポートを入力する必要があります。

HTTPS ポート: NVR のデフォルトの HTTPS ポートは 443 です。HTTPS は、Web サイトの認証を提供し、ユーザーのプライバシーを保護します。証明書が必要です。設定は Web ブラウザ経由で行います。

- ① Web ブラウザのアドレスバーに IP アドレスと HTTP ポートを入力します。次に、ログインするユーザー名とパスワードを入力します。[機能パネル]→[ネットワーク]→[HTTPS]をクリックして、次の画面に移動します。

- ② 証明書をインストールします。

* Create a private certificate: プライベート証明書はここで作成できます。[Create]ボタンをクリックして、プライベート証明書を作成します。国(2文字のみ利用可能)、ドメイン(NVR の IP アドレス/ドメイン)、有効日付、パスワード、都道府県、地域などを入力します。次に、[OK]をクリックして設定を保存します。

* 署名された証明書がある場合は、[ブラウザ]をクリックして証明書を選択し、[入力]をクリックしてインストールします。

* [証明書要求を作成(Create a certificate request)]をクリックして次の画面を入力します。

[Create]をクリックして証明書要求を作成します。次に、[出力]をクリックして、証明書要求をダウンロードし、署名のために信頼された証明機関に送信します。署名された証明書を受け取った後、証明書をデバイスにインポートします。[ブラウザ]をクリックして証明書を選択し、[入力]をクリックしてインストールします。

③ 証明書をインストールした後、この機能を有効にして[適用]をクリックします。その後、カメラは、“https://IP:httpsポート”を入力してアクセスすることができます(例えば、https://192.168.1.201:443)。

サーバーポート: NVR のデフォルトのサーバーポートは 6036 です。サーバーポート番号は必要に応じて変更されます。ポー

トは主にネットワークビデオ管理システムで使用されています。

RTSP ポート: リアルタイムストリームプロトコルを使用して、リアルタイムデータの送信を制御できます。RTSP リアルタイムストリームプロトコルをサポートするメディアプレーヤー(VLC プレーヤーなど)によって、ライブイメージを同期的に表示できます。デフォルトの RTSP ポートは 554 で、必要に応じて変更できます。(アドレス形式:rtsp://IP アドレス:554/chID=1&streamType=main または rtsp://IP アドレス:554/chID=1&streamType=sub; main はメインストリームを指します; sub はサブストリームを指します; chID はチャンネル ID を指します)。

例: ①RTSP および[匿名の登録...]を有効にします。次に、VLC プレーヤーを開き、VLC プレーヤーのネットワークアドレスバーにアドレス(たとえば、rtsp://192.168.1.88:554/chID=1&streamType=main)を入力します。その後、チャンネル 1 のビデオを見ることができます。

②RTSP を有効にして、VLC プレーヤーを開きます。その後、VLC プレーヤーのネットワークアドレスバーにアドレス(例えば rtsp://192.168.1.88:554/chID=1&streamType=sub)を入力します。するとログインボックスがポップアップします。API サーバのユーザー名とパスワードと同じであるユーザー名とパスワードを入力します。その後、チャンネル 1 のビデオを見ることができます。

POS ポート: NVR のデフォルト POS ポートは 9036 です。

Note:

NVR の HTTP ポートとサーバーポートは、WAN 経由で NVR にアクセスする前にルータにマッピングする必要があります。

12.1.3.PPPoE 設定

[開始]→[設定]→[ネットワーク]→[PPPoE]をクリックし下図の画面に移動します。PPPoE 設定で[有効]をチェックし、ディバイスから取得したユーザー名とパスワードを入力します。[適用]をクリックして設定を保存します。

PPPoE設定

有効

ユーザー名 abc

パスワード ●●●●●●

適用

12.1.4.DDNS 設定

DDNS は、ドメイン名を介して動的 IP アドレスを制御するために使用されます。DDNS が有効で設定されている場合、NVR に簡単にアクセスできます。

[開始]→[設定]→[ネットワーク]→[DDNS]をクリックして下図へ移動します。

[有効]をチェックし、DDNS の種類を選択します。選択した DDNS タイプに従って、サーバーアドレス、ドメイン名、ユーザー名、パスワード、ハートビート間隔を入力します。[テスト]をクリックして、入力情報の有効性をテストします。[適用]をクリックして設定を保存します。


DDNS タイプが選択されている場合は、サーバーアドレスとドメイン名を入力する必要があります。関連する DNS Web サイトに移動してドメイン名を登録し、ここに登録されたドメイン情報を入力します。“www.dvrdydns.com”を例に説明します。

- ① アドレスバーに“www.dvrdydns.com”を入力して、DNS ウェブサイトにアクセスします。

- ② [Registration]をクリックして、下記のような画面に移動します。DDNS アカウント情報(ユーザー名、パスワードなど)を設定し、[Submit]をクリックしてアカウントを保存します。

DDNS account creation.

NEW USER REGISTRATION

USER NAME	<input type="text"/>
PASSWORD	<input type="password"/> 
PASSWORD CONFIRM	<input type="password"/>
FIRST NAME	<input type="text"/>
LAST NAME	<input type="text"/>
SECURITY QUESTION	My first phone number. ▾
ANSWER	<input type="text"/>
CONFIRM YOU'RE HUMAN	<p>7+1=</p> <p>New Captcha</p> <input type="text"/> <p>Solve the problem above.</p>

Submit Reset

Already have an account? [Click here to login.](#)

- ③ ドメイン名を作成し、[Request Domain]をクリックします。

Domain Name Creation

Enter a new domain name below.

You must create a domain name to continue.

Domain name must start with (a-z, 0-9), must be least 3 char!. Cannot end or start, but may contain a hyphen and is not case-sensitive.

.dvrddns.com ▾ Request Domain

- ④ ドメイン名を正常に要求すると、一覧にドメイン名情報が表示されます。

My Domains

Your domain names are listed below. Choose create new domain to add additional domain names.

Your domain was successfully created.

Search by Domain. Search

Click a name to edit your domain settings.

NAME	STATUS	DOMAIN
REDSUNSHINE		redsunsine.dvrddns.com

Last Update: *Not yet updated* IP Address: 210.21.229.138

Create additional domain names

[1]

- ⑤ [開始]→[設定]→[ネットワーク]→[DDNS]をクリックして、DDNS 設定画面に移動します。DDNS を有効にし、DDNS の種類“www.dvrddns.com”を選択します。登録したユーザー名、パスワード、ドメイン名を入力し、[適

用]をクリックします。||。

- ⑥ ルータの IP アドレスと HTTP ポートをマップします(もし UPnP 機能が有効な場合は、この手順はスキップできます)。
- ⑦ 登録メイン名と HTTP ポートをアドレスバーに“http://www.xxx.dvrtydns.com:81”と同じように入力し、エンターキーを押して Web クライアントに移動します。

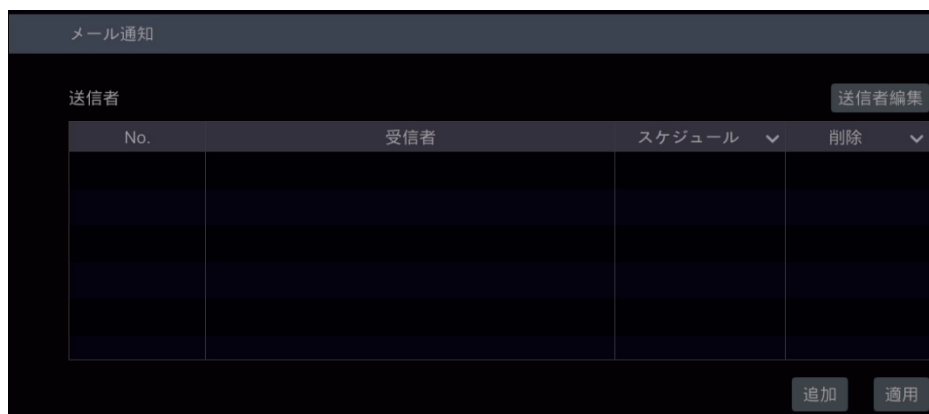
12.1.5.電子メールの設定

[開始]→[設定]→[ネットワーク]→[メール]をクリックして、次の画面に移動します。



送信者の名前、電子メールアドレス、SMTP サーバ、および SMTP ポート([デフォルト]をクリックして SMTP ポートを既定値にリセットできます)を入力し、SSL と添付画像を有効または無効にします。ユーザー名を選択し(ユーザー名リストは入力したメールアドレスに従って自動的に更新されます)、送信者のパスワードを入力し、[適用]をクリックして設定を保存します(匿名ログインの場合はユーザー名とパスワードを入力する必要はありません)。[テスト]をクリックしてウィンドウをポップアップします。ウィンドウに受信者の電子メールアドレスを入力し、[OK]をクリックします。送信者の電子メールアドレスは、受信者に電子メールを送信します。電子メールが正常に送信された場合は、送信者の電子メールアドレスが正しく設定されていることを示します。

[受信者編集]をクリックして次の画面に移動します。



[追加]をクリックし受信者の電子メールアドレスを入力し、スケジュールを選択します(スケジュールを選択すると、選択したスケジュール時間にのみシステムはアラームメールを送信して、受信者は受信します)。ウィンドウで[追加]をクリックして受信者を追加します。




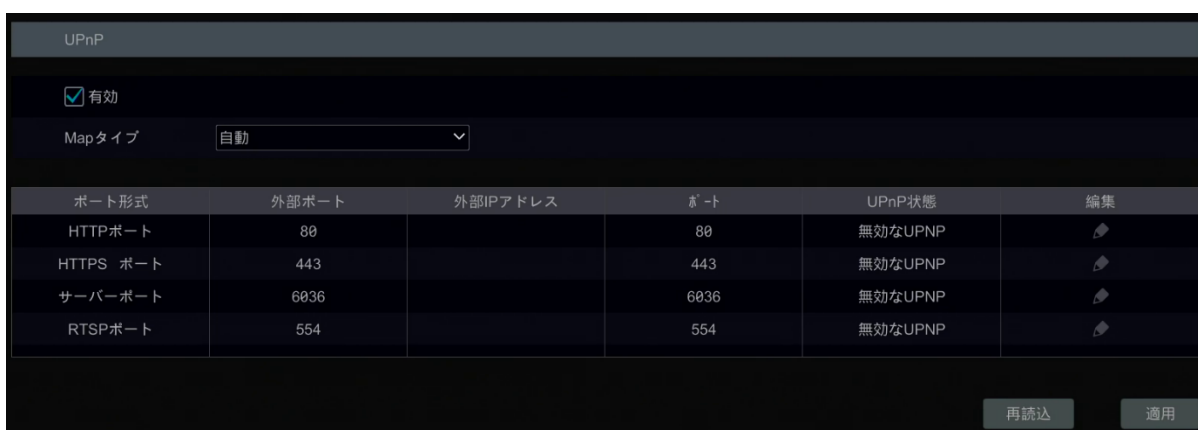
また、受信者の受信スケジュールを変更するには、スケジュール欄の▼をクリックします。一覧の🗑️をクリックして受信者を削除します。[適用]をクリックして設定を保存します。[送信者編集]をクリックして、送信者の電子メール設定画面に移動します。





12.1.6.UPnP 設定

UPnP によって、WAN にある Web クライアントが、ポートのマッピングなしでルータを介して NVR にアクセスできます。

- ① [開始]→[設定]→[ネットワーク]→[UPnP]をクリックして、次の画面に移動します。
- ② ルータが UPnP 機能をサポートし、UPnP がルータで有効になっていることを確認します。
- ③ ルータに対応する NVR の IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイなどを設定します。
- ④ 以下のように画面で[有効]をチェックして、[適用]をクリックします。

[再読込]ボタンをクリックして UPnP ステータスを更新します。数回更新しても、UPnP ステータスが「無効な UPnP」の場合、ポート番号が間違っている可能性があります。Map タイプを[手動]に変更して、 をクリックして、UPnP ステータスが [有効]に変わるまでポートを変更します。次の図を参照してください。



ポート形式	外部ポート	外部IPアドレス	ポート	UPnP状態	編集
HTTPポート	80		80	無効なUPnP	
HTTPS ポート	443		443	無効なUPnP	
サーバーポート	6036		6036	無効なUPnP	
RTSPポート	554		554	無効なUPnP	

13.1.7.802.1X

有効にされている場合、NVR データを保護できます。NVR が IEEE 802.1X で保護されたネットワークに接続されている場合、ユーザー認証が必要です。



この機能を使用するには、NVR を 802.1x プロトコルをサポートするスイッチに接続する必要があります。スイッチは、ローカルネットワーク内のデバイスを識別する認証システムと見なすことができます。スイッチのネットワーク画面に接続された NVR がスイッチの認証に合格した場合、ローカルネットワークを介してアクセスできます。

プロトコルの種類と EAPOL Version: 既定の設定を使用してください。

ユーザー名とパスワード: ユーザー名とパスワードは、認証サーバに登録されたユーザー名とパスワードと同じである必要があります。

12.1.8.NAT 設定

[開始]→[設定]→[ネットワーク]→[NAT]をクリックして、NAT 設定のメニュー画面に移動します。[有効]にチェックしてアクセスタイプを選択します。[適用]をクリックして設定を保存します。

携帯電話やタブレット PC にインストールされているモバイルクライアントを介して QR Code をスキャンして、モバイルクライアントに即座にログインすることができます。

アクセスタイプ: NAT1.0 または NAT2.0 を選択できます。

Note: クラウドアップグレードを使用する場合は、NAT2.0 を有効にする必要があります。

NAT

有効

アクセスタイプ NAT2.0(d2020.autonat.com:7968) ▼

訪問アドレス www.autonat.com

NAT状態 エラー

適用

携帯電話のクライアントを使用してQRコードをスキャンしてください

NAT有効

12.1.9.FTP 設定

一部のモデルでは、この機能をサポートしていない可能性があります。

[開始]→[設定]→[ネットワーク]→[FTP]をクリックして、FTP 設定の画面に移動します。[有効]をチェックして、サーバーアドレス、ポート、ユーザー名とパスワード、最大ファイルサイズ(Max File Size)、送信先フォルダ(Remote Directory)を入力します。

通信状態が悪い場合は、必要に応じて[アップロードを再開]を有効にしてください。

その後、この画面で必要に応じてアップロードする録画ファイルを選択できます。

FTP

有効

サーバーアドレス

ポート

ユーザー名

パスワード 匿名

Max File Size M

Remote Directory

アップロードを再開
 注：FTPが正常に再接続された後、NVRまたはDVRはFTP切断期間中に撮影されたビデオを自動的にアップロードします。

Uploading Settings

Uploading record									
No.	カメラ名	スケジュール	動体検知	Intelligence	センサー	例外アラーム	ストリーミング	Uploading Image	
1	IPC右	24x7	オフ	オフ	オフ	オフ	サブストリーム	オフ	
2	IPカメラ01	24x7	オフ	オフ	オフ	オフ	サブストリーム	オフ	
3	IPC	24x7	オフ	オフ	オフ	オフ	サブストリーム	オフ	

スケジュール管理
テスト
適用

12.1.10.プラットフォームアクセス

一部のモデルでは、この機能をサポートしていない可能性があります。

この機能は、主に ECMS/NVMS の接続に使用されます。設定手順は以下の通りです。

[開始]→[設定]→[ネットワーク]→[プラットフォームアクセス]をクリックして、画面に移動します。

プラットフォームアクセス	
アクセスタイプ	プラットフォーム
<input checked="" type="checkbox"/> 有効	
サーバーアドレス	192.168.1.200
ポート	2009
レポートID	レポートID入力
レポート状態	無効
適用	

プラットフォームアクセス

- ① アクセスタイプとして[プラットフォーム]を選択し、上図のように[有効]にします。
- ② ECMS/NVMS の転送メディアサーバの IP アドレスとポートをチェックします。自動レポートの既定のサーバーポートは 2009 です。変更された場合は、転送メディア画面に移動して確認してください。
- ③ 新しいデバイスを追加する場合、ECMS で自動レポートを有効にします。次に、自己-デバイス ID を定義し、ECMS/NVMS でデバイスの残りの情報を完成させます。
- ④ サーバ画面に、上記のサーバーアドレス、ポート、およびレポート ID を入力します。次に、[適用]をクリックして設定を保存します。これで、ECMS/NVMS システムは自動的にこのデバイスに接続します。

12.1.11.SNMP

- ① [開始]→[設定]→[ネットワーク]→[SNMP]をクリックして、SNMP 設定の画面に移動します。

SNMP

SNMPv1有効

SNMPv2有効

SNMPポート

読込用コミュニティ名

書込用コミュニティ名

トラップアドレス

トラップポート

適用

- ② この機能を有効にするには、SNMPv1 または SNMPv2 をチェックします。
- ③ SNMP のポートとコミュニティを設定します。
- ④ トラップアドレスとトラップポートを設定します。
- ⑤ 設定を保存するには[適用]をクリックします。

トラップアドレス: SNMP ホストの IP アドレス。

トラップポート: SNMP ホストのポート。

Note: SNMP を設定する前に、SNMP ソフトウェアをダウンロードし、SNMP ポート経由でデバイス情報を受信するように管理してください。トラップアドレスを設定することにより、デバイスはアラームイベントと例外メッセージをモニタリングセンターに送信できます。

12.1.12.3G/4G

機能を持つモデルのみ有効です。

[開始]→[設定]→[ネットワーク]→[3G/4G]をクリックして、ワイヤレス設定の画面に移動します。




- ① ワイヤレスでのアクセスを可能にするため[有効]をチェックします。
- ② 各項目を設定します。

項目	説明
ワイヤレス形式	ワイヤレスの形式を選択します。 選択できるのは、3G-WCDMA、3G-EVDO、4G です。
接続ポイント	アクセスポイントを入力します。
APN 番号	APN 番号を入力します。
ユーザー名	ユーザー名を入力します。
パスワード	パスワードを設定します。

- ③ 最後に[適用]をクリックして、設定を保存します。

13.1.13.ネットワーク状態の表示

ネットワーク状態を表示するには、[開始]→[設定]→[ネットワーク]→[ネットワーク状態]をクリックします。あるいは、ライブ画面の下部にあるツールバーにある  をクリックして、ネットワーク状態を簡単に表示できます。



属性	値
イーサネットポート1	オンライン
IPv4 DHCP状態	無効
IPv4 アドレス	192.168.10.20
IPv4 サブネットマスク	255.255.255.0
IPv4 ゲートウェイ	192.168.10.1
優先DNS	8.8.8.8
代替DNS	
IPv6 状態	有効
IPv6 DHCP状態	無効
IPv6 アドレス	fe80::ffff:192:168:2:200
IPv6 Address(SLAAC)	
IPv6 マスク長さ	64
IPv6 ゲートウェイ	fe80::ffff:192:168:2:1
Preferred IPv6 DNS	
Alternate IPv6 DNS	
MACアドレス	00:0F:3A:A0:E0:7E
内部イーサネットポート	オンライン
IPv4 アドレス	10.151.151.1
IPv4 サブネットマスク	255.255.255.0
PPPoE状態	無効
ポート	

12.2. システム設定

12.2.1. 一般設定

[開始]→[設定]→[システム] →[一般]→[一般設定]をクリックして、次の画面に移動します。デバイス名、デバイス No.、言語、映像形式、メイン出力を設定します。ウィザードを有効または無効にし、[自動ログイン]、[自動ログアウト](オンの場合は、待ち時間を設定できます)、[モバイル App ライブ自動適合]と[自動滞留](オンの場合は、待ち時間を設定できます)を設定します。[適用]をクリックして設定を保存します。

デバイス名、デバイス No.: デバイスの名前。これは、ユーザーの理解を助けるためクライアントまたは CMS に表示される場合があります。

言語: 表示する言語を選択します。

映像形式: 2つのモード: PALとNTSC。カメラに合わせて映像形式を選択します。

メイン出力: [Fixed display resolution]を有効にして必要に応じてメイン出力の解像度を選択します。

Note: NVRにデュアル出力がある場合は、メイン出力とセカンダリ出力の解像度をそれぞれ設定できます。

ウィザード有効: システム起動後、最初にログインした際に表示される設定ウィンドウを有効にします。

自動ログイン: 起動したときに自動でログインします。

自動ログアウト: 指定時間操作がない場合に自動でログアウトします。

APP ライブ自動適合: 通信状態にあわせて画像パラメータを自動で変更します。

自動滞留: 指定時間操作がない場合に画面を切り替えます。

12.2.2.日付と時刻の設定

[開始]→[設定]→[システム]→[一般]→[日時設定]をクリックして、次に示す画面に移動します。NVR のシステム時刻、日付形式、時間形式、タイムゾーンを設定します。デフォルトのタイムゾーンは“GMT+08 北京、香港、上海、台北”です。選択したタイムゾーンに DST が含まれている場合、デフォルトでタイムゾーンの DST がチェックされます。[適用]をクリックして設定を保存します。

システム時刻を手動で設定したり、NTP を介してネットワークとシステム時刻を同期することができます。

手動: 同期オプションで[手動]を選択し、次に[システム時刻]の後の🕒をクリックしシステム時刻を設定します。

NTP: 同期オプションで[NTP]を選択し、NTP サーバを入力します。

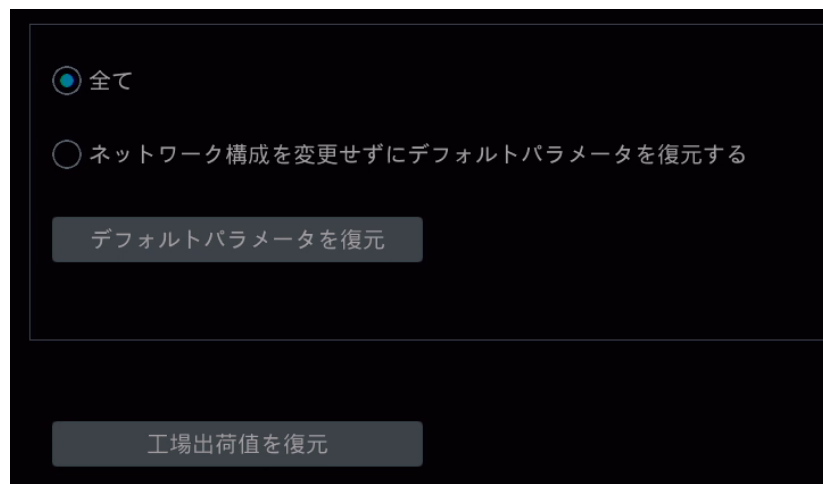
12.2.3.OSD 設定

[開始]→[設定]→[システム]→[一般]→[OSD 設定]をクリックして、OSD 設定画面に移動します。OSD 名とアイコンを有効にできます。[適用]をクリックして設定を保存します。



12.3.初期設定

[開始]→[設定]→[システム]→[メンテナンス]→[初期設定]をクリックして、次の画面に移動します。必要に応じて項目を選択してください。[工場出荷値を復元]をクリックすると工場出荷時の状態に戻ります。

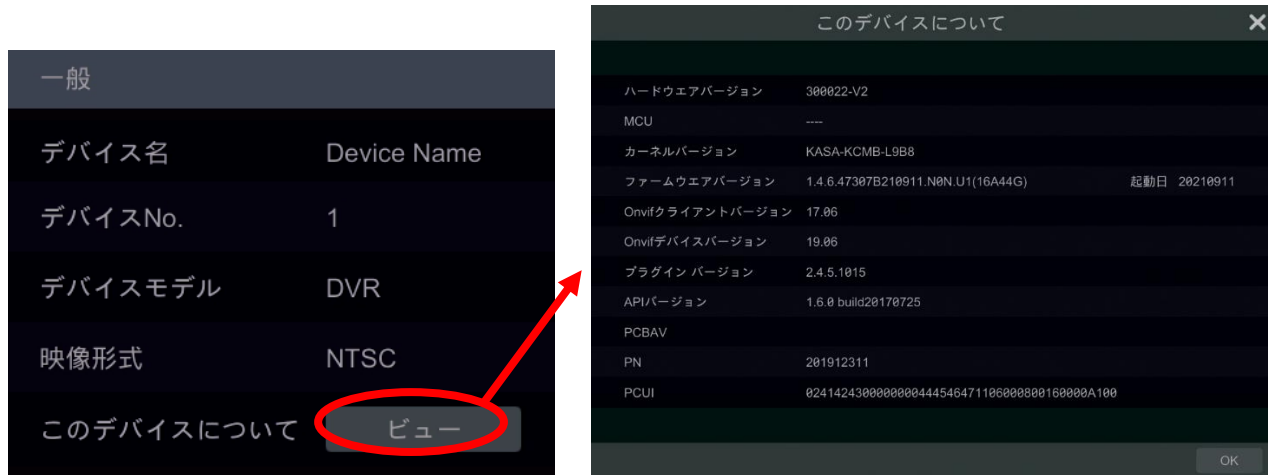


Note: 工場出荷時の設定にリセットしても、タイムゾーンは変更されません。

12.4.デバイスソフトウェアのアップグレード

● アップグレード

MCU、カーネルバージョン、ファームウェアバージョンなどを表示するには、[開始]→[設定]→[システム]→[情報]→[一般]をクリックします。このデバイスについての[ビュー]をクリックすると詳細なバージョンが確認できます。



アップグレードの前に、ディーラーからアップグレードファイルを手に入れてください。

アップグレード手順は次のとおりです。

- ① アップグレードソフトウェア(.tar)を USB 蓄積装置にコピーします。
- ② NVR の USB インターフェイスに USB 蓄積装置を挿入します。
- ③ [開始]→[設定]→[システム]→[メンテナンス]→[更新]をクリックして、アップグレード画面に移動します。デバイス名から USB デバイスを選択して、アップグレードソフトウェアが存在するパスに移動します。アップグレードソフトウェアを選択し、[更新]をクリックします。アップグレード中にシステムが自動的に再起動する場合があります。実行中に NVR の電源をオフにしないでください。



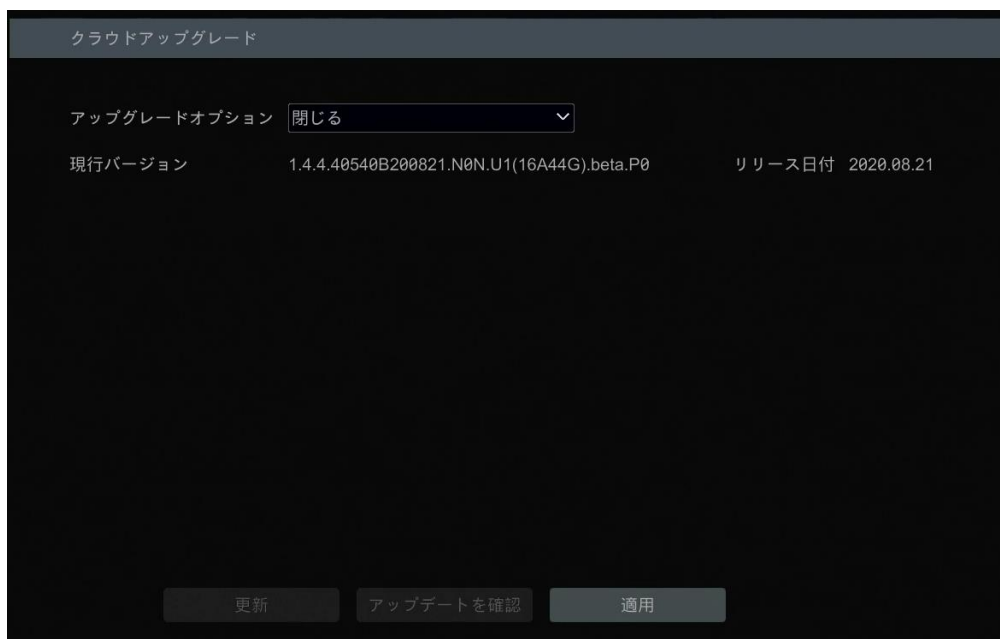
Note:

アップグレード、バックアップや復元に使用される USB モバイルデバイスのファイルシステムは FAT32 形式である必要があります。

● クラウドアップグレード

Note: クラウドアップグレードを使用する前に、NAT2.0 を有効にしてください。

- ① [開始]→[設定]→[ネットワーク]→[クラウドアップグレード]をクリックして、下図に移動します。

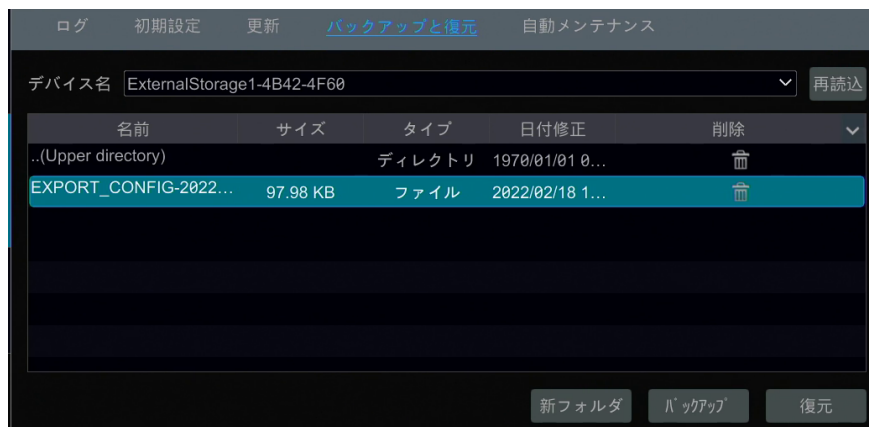


- ② アップグレードオプションで[通知のみを受け入れる]を選択するか、または、下部の[アップデートを確認]をクリックして現在のバージョンが最新か確認します。ソフトウェアのバージョンが最新でない場合は、[更新]をクリックして、クラウドサーバーからダウンロードおよびアップグレードします。
- ③ アップグレード処理中は電源を切らないでください。

12.5.バックアップと復元

NVR の構成ファイルは、他の蓄積装置にエクスポートすることでバックアップできます。時間を節約するために、バックアップした NVR と同じモデルの他の NVR に設定を回復することもできます。

NVR の USB インターフェイスに USB 蓄積装置を挿入し、[開始]→[設定]→[システム]→[メンテナンス]→[バックアップと復元]をクリックして画面に移動します。



- バックアップ

デバイス名で USB デバイスを選択します。必要に応じて[新フォルダ]をクリックしてフォルダを作成できます。設定バックアップファイルを保存するパスに移動し、[バックアップ]をクリックします。最後に、ポップアップウィンドウで[OK]をクリックします。

- 復元

デバイス名で USB デバイスを選択します。設定のバックアップファイルを見つけて、[復元]をクリックします。最後に、ポップアップウィンドウで[OK]をクリックします。

12.6.自動メンテナンス

NVR が定期的なメンテナンスのため自動再起動時間を設定できます。[開始]→[設定]→[システム]→[メンテナンス]→[自動メンテナンス]をクリックして、下図の画面に移動します。自動メンテナンスを有効にし、間隔の日数と時間を設定し、次に[適用]をクリックして設定を保存します。NVR は、間隔の日数ごとに指定された時間に自動的に再起動します。



Note: 再起動中は、録画や監視ができません。

12.7.ログの表示

[開始]→[設定]→[システム]→[メンテナンス]→[ログ]をクリックして、ログビュー画面に移動します。ログのメインタイプを選択し、🕒をクリックして開始時刻と終了時刻を設定します。そして、[検索]をクリックします。検索したログが一覧に表示されます。

No.	種類	ログ時間	内容	詳細	再生
1	アラーム	2020/12/28 16:55:35	動体アラーム	IPC右	▶
2	アラーム	2020/12/28 16:55:28	動体アラーム	IPC右	▶
3	アラーム	2020/12/28 16:55:09	動体アラーム	IPC右	▶
4	アラーム	2020/12/28 16:54:59	動体アラーム	IPC右	▶
5	アラーム	2020/12/28 16:54:48	動体アラーム	IPC	▶
6	アラーム	2020/12/28 16:54:17	動体アラーム	IPC右	▶
7	アラーム	2020/12/28 16:53:56	動体アラーム	IPカメラ01	▶
8	アラーム	2020/12/28 16:53:42	動体アラーム	IPC右	▶
9	アラーム	2020/12/28 16:53:18	動体アラーム	IPC右	▶
10	アラーム	2020/12/28 16:53:18	動体アラーム	IPC	▶
11	アラーム	2020/12/28 16:52:26	動体アラーム	IPC右	▶
12	アラーム	2020/12/28 16:52:04	動体アラーム	IPカメラ01	▶
13	アラーム	2020/12/28 16:51:52	動体アラーム	IPC右	▶
14	アラーム	2020/12/28 16:51:28	動体アラーム	IPC右	▶
15	アラーム	2020/12/28 16:51:03	動体アラーム	IPC右	▶
16	アラーム	2020/12/28 16:50:56	動体アラーム	IPC右	▶
17	アラーム	2020/12/28 16:50:37	動体アラーム	IPC	▶

リスト内のログを選択し、次に[出力]をクリックしてログをエクスポートします。タイトル行の内容欄の☑️をクリックしてメニューリストをポップアップ表示します。メニューリストで内容をチェックすると、チェックされたログの内容のみが表示されます。▶️をクリックして映像ログを再生します。

12.8.システム情報の表示

[開始]→[設定]→[システム]→[情報]をクリックし、対応するメニューをクリックしてシステムの[一般]、[カメラ状態]、[アラーム状態]、[録画状態]、[ネットワーク状態]と[HDD]の情報を表示します。

- 一般

システム情報を表示します。このデバイスについての[ビュー]をクリックするとさらに詳しい情報が表示されます。



- カメラ状態

カメラ情報を表示します。

一般	カメラ状態	アラーム状態	録画状態	ネットワーク状態	HDD状態
カメラ名	状態	動体検知	スマート検知	録画	
IPC右	オンライン	アラーム無し	アラーム無し	録画	
2M Hisensitivity	オンライン	アラーム無し	--	録画	
SB200	オンライン	アラーム無し	アラーム無し	録画	
IPCcenter	オンライン	アラーム無し	アラーム無し	録画	
IPCright	オンライン	アラーム無し	アラーム無し	録画	
IPCleft	オンライン	アラーム無し	アラーム無し	録画	

- アラーム状態

アラーム情報を表示します。操作は「

10.6.アラーム状態の表示」を参照してください。



● 録画状態

録画の状態を表示します。

カメラ名	状態	ストリーミング	FPS	ビットレート...	画質	画質	解像度	録画タイプ
IPC右	録画	メインス...	30	VBR	高	1917 / 2048 Kbps	1920x1080	動体検知/スケジュール
IPC右	録画	サブスト...	30	CBR	--	521 / 512 Kbps	704x480	動体検知/スケジュール
2M Hisensitivity	録画	メインス...	30	VBR	高	3559 / 2048 Kbps	2048x1536	スケジュール
2M Hisensitivity	録画	サブスト...	30	CBR	--	447 / 512 Kbps	704x480	スケジュール
SB200	録画	メインス...	30	VBR	高	1769 / 2048 Kbps	1020x1080	スケジュール
SB200	録画	サブスト...	30	CBR	--	508 / 512 Kbps	704x480	スケジュール
IPCcenter	録画	メインス...	30	VBR	高	396 / 3072 Kbps	2592x1520	スケジュール
IPCcenter	録画	サブスト...	30	CBR	--	523 / 512 Kbps	704x480	スケジュール
IPCright	録画	メインス...	30	VBR	高	593 / 3072 Kbps	2592x1520	スケジュール
IPCright	録画	サブスト...	30	CBR	--	518 / 512 Kbps	704x480	スケジュール
IPCleft	録画	メインス...	30	VBR	高	550 / 3072 Kbps	2592x1520	スケジュール
IPCleft	録画	サブスト...	30	CBR	--	529 / 512 Kbps	704x480	スケジュール

● ネットワーク状態

ネットワーク情報を表示します。

属性	値
イーサネットポート1	オンライン
IPv4 DHCP状態	無効
IPv4 アドレス	192.168.10.20
IPv4 サブネットマスク	255.255.255.0
IPv4 ゲートウェイ	192.168.10.1
優先DNS	8.8.8.8
代替DNS	
IPv6 状態	有効
IPv6 DHCP状態	無効
IPv6 アドレス	fe80::ffff:192:168:2:200
IPv6 Address(SLAAC)	fe80::20f:3aff:fe00:e07e
IPv6 マスク長さ	64
IPv6 ゲートウェイ	fe80::ffff:192:168:2:1
Preferred IPv6 DNS	
Alternate IPv6 DNS	
MACアドレス	00:0f:3a:a0:e0:7e
内部イーサネットポート	オンライン
IPv4 アドレス	10.151.151.1
IPv4 サブネットマスク	255.255.255.0
PPPoE状態	無効




● HDD 状態

HDD 情報を表示します。

一般	カメラ状態	アラーム状態	録画状態	ネットワーク状態	HDD状態		
HDD	タイプ	Free/Capacity[GB]	状態	ソース	グループ	録画期間	
HDD1	オーディナリ...	1323.88/1863	RW(Encrypted)	ローカル	1	2022/03/20~2022/03/23	

13 遠隔監視

13.1.モバイルクライアント監視 [Super Live Plus]

- ① [開始]→[設定]→[ネットワーク]→[TCP/IP]をクリックして、TCP/IP メニューに移動します。NVR の IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、優先 DNS、および代替 DNS を設定します。詳細については、「[12.1.1.TCP/IP 設定](#)」を参照してください。
- ② NVR で NAT を有効にします。詳細については、「[12.1.8.NAT 設定](#)」を参照してください。
- ③ Android または iOS システムを搭載したモバイルデバイスにモバイルクライアント「Super Live Plus」をダウンロードしてインストールします。
- ④ モバイルクライアントを実行し、右上のデバイスの追加の  アイコンをタップします。
- ⑤  スキャンコードで追加をタップして NVR の QR Code をスキャンします。
(NVR の QR Code を表示するには、[開始]→[設定]→[システム]→[情報]→[一般]をクリックします)。
- ⑥ QR Code を正常にスキャンした後、NVR のパスワードを入力して保存します。
- ⑦ サーバーリストに登録した NVR を表示します。  をタップして NVR に接続できます。



13.2. パソコン監視 [Web CLIENT] LAN アクセス

- ① [開始]→[設定]→[ネットワーク]→[TCP/IP]をクリックして、TCP/IP メニューに移動します。NVR の IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、優先 DNS、および代替 DNS を設定します。詳細については、「[12.1.1.TCP/IP 設定](#)」を参照してください。
- ② Web ブラウザを開き、アドレスバーに NVR の IP アドレスを入力します。
- ③ 初めてアクセスしたときはプラグインのダウンロードを促す場合があります。プラグインのインストールはブラウザを閉じてからインストールしてください。ブラウザが開いたままだとプラグインのインストールに失敗します。プラグインをインストールしたら再度 Web ブラウザを開き、アドレスバーに NVR の IP アドレスを入力します。
- ④ ログイン画面を表示します。ログイン画面の右上隅で表示言語を変更できます。NVR のユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン]をクリックしてライブ画面を表示します。



Note:


1. NVR とコンピュータの IP アドレスが同じローカルネットワークセグメントに設定されていることを確認してください。たとえば、コンピュータの IP アドレスが 192.168.1.41 であると仮定すると、NVR の IP アドレスは 192.168.1.XXX に設定されていなければいけません。
2. NVR の HTTP ポートを 80 以外に変更した場合は、ネットワーク経由で NVR にアクセスするときに、アドレスバーに IP アドレスとポート番号を入力する必要があります。たとえば、HTTP ポートを 81 に変更したときは、アドレスバーに <http://192.168.1.41:81> と入力してください。

13.3. パソコン監視 [Web CLIENT] WAN アクセス

➤ NAT アクセス

- ① [開始]→[設定]→[ネットワーク]→[TCP/IP]をクリックして、TCP/IP メニューに移動します。NVR の IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、優先 DNS、および代替 DNS を設定します。詳細については、「[12.1.1.TCP/IP 設定](#)」を参照してください。
- ② NVR で NAT を有効にします。詳細については、「[12.1.8.NAT 設定](#)」を参照してください。
- ③ コンピュータで Web ブラウザを開き、アドレスバーに <http://www.autonat.com> を入力します。
- ④ NVR に初めてアクセスする場合は、関連するプラグインをダウンロードしてインストールする場合があります。



上から、シリアル番号(ライブ画面表示の下部にあるツールバー上の)をクリックすると NVR のシリアル番号が表示されます)、ユーザー名(デフォルトでは NVR のユーザー名は、“admin”)、NVR のパスワードを入力します。ログイン画面の右上隅にある表示言語を選択し、[ログイン]をクリックして Web クライアント画面を表示します。

➤ PPPoE アクセス

- ① [開始]→[設定]→[ネットワーク]→[PPPoE]をクリックして、PPPoE メニューに移動します。PPPoE 設定で、[有効]をチェックして、ISP から取得したユーザー名とパスワードを入力します。[適用]をクリックして設定を保存します。
- ② NVR の IP アドレスを表示するには、[開始]→[設定]→[ネットワーク]→[ネットワークの状態]をクリックします。
- ③ NVR の IP アドレスを確認したら、コンピュータで Web ブラウザを開き、アドレスバーに“http://210.21.229.138”のような NVR の IP アドレスを入力します。
- ④ NVR に初めてアクセスする場合は、関連するプラグインをダウンロードしてインストールします。
- ⑤ ログイン画面を表示したら NVR のユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン]をクリックして Web クライアント画面を表示します。

➤ ルータアクセス

- ① [開始]→[設定]→[ネットワーク]→[TCP/IP]をクリックして、TCP/IP メニューに移動します。NVR の IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、優先 DNS、および代替 DNS を設定します。詳細については、「[12.1.1.TCP/IP 設定](#)」を参照してください。
- ② HTTP ポートを設定します。(HTTP ポートの初期値は 80 が使用されていますが、HTTP ポートを変更することをお勧めします。)
- ③ NVR とルータの両方で UPnP 機能を有効にします。(UPnP 機能がルータで使用できない場合は、ルータにポートマッピングの設定をする必要があります。NVR の LAN IP アドレス、HTTP ポート、およびサーバーポートをルータのポートマッピングに追加設定します。ポートマッピングの設定は、ルータによって異なる場合がありますので、詳細については、ルータのユーザーマニュアルを参照してください。)
- ④ ルータから NVR の WAN IP アドレスを取得します。NVR の WAN IP アドレスを確認したら、コンピュータで Web ブラウザを開き、アドレスバーに“http://WAN IP アドレス”のように入力します
- ⑤ NVR に初めてアクセスする場合は、関連するプラグインをダウンロードしてインストールする場合があります。
- ⑥ ログイン画面を表示したら NVR のユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン]をクリックして Web クライアント画面を表示します。

Note:

WAN IP アドレスが動的 IP アドレスである場合、NVR にアクセスするにはドメイン名を使用する必要があります。DDNS を設定するには、[開始]→[設定]→[ネットワーク]→[DDNS]をクリックします(詳細は「

12.1.4.DDNS 設定」を参照)。DDNS 機能を使用すると、ドメイン名と HTTP ポートを使用し

13.4.Web CLIENT について (遠隔監視)

Web CLIENT は、WINDOWS システムの Edge、IE8/9/10/11、Firefox、Opera、Chrome(45 未満のバージョンでのみ利用可能)および MAC システムの Safari で利用可能です。初めて Web CLIENT で NVR にアクセスする場合は、プレビュー画像と録画映像の再生のために、プラグインをダウンロードしてインストールする必要がある場合があります。

(インストールが必要な場合はインストールを促すメッセージが表示されます。また、プラグインをインストールするときはブラウザを閉じてインストールする必要があります。)

Web CLIENT 画面の右上隅にあるボタンは以下のようになっています。

admin: 現在のログインユーザー名。

ログアウト: クリックするとログアウトし、ログイン画面に戻ります。

パスワードの変更: クリックすると、現在ログインしているユーザーのパスワードを変更できます。パスワード変更画面に現在のパスワードと新パスワードを入力します。OK をクリックして新パスワードを保存します。

ローカル設定: クリックすると、以下のウィンドウがポップアップされます。スナップショット数を設定し、[ブラウザ]をクリックして、スナップショットの保存先と録画ファイルの保存先を設定します。[適用]をクリックして設定を保存します。

スナップショット数	5	▼
スナップショット保存先	C:\Users\user\Pictures	ブラウザ
録画ファイル保存先	C:\Users\user\Pictures	ブラウザ
適用		

Note:

Web ブラウザの種類によりローカルへの保存方式が異なります。上記のようなローカル設定で行う場合や、Web ブラウザのダウンロード機能を使用するブラウザもあります。



なお、ローカルへの保存の場合、Web ブラウザは管理者権限での実行が必要な場合があります。

13.4.1. リモートプレビュー



ライブ映像を見たいときは Web CLIENT の「ライブ画面」をクリックします。プレビュー画面は、次の図に示す 4 つの領域で構成されています。






▶ プレビュー画面

プレビュー領域でウィンドウをクリックしてから、左パネルでオンライン状態のカメラをクリックすると、プレビュー領域にカメラ画像を表示することができます。ツールバー上の  をクリックすると、すべてのカメラをプレビュー画面に表示したり、全てのカメラを消したりすることができます。複数のカメラを同時に表示するときにはツールバーの  をクリックして分割数を変更します。


▶ 左パネルの概要

左パネル内の  をクリックして左パネルを非表示にしたり、 をクリックして左パネルを表示したりできます。左側のパネルには全てのカメラとカメラグループ（事前に設定が必要）を表示することができます。




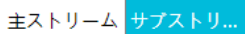









▶ カメラ（左パネル）

左パネル内の  をクリックすると、レコーダーに登録した、カメラの一覧を表示します。例えば、左パネルの一番上に表示しているカメラ (4/5) の左の数字 4 はオンラインしているカメラの数、右の数字 5 は登録されているカメラの数を表しています。検索ボックスにカメラ名を入力し、 をクリックするとカメラを検索することができます。 をクリックするとカメラ一覧が更新されます。



➤ 表示モード変更（左パネル）

 をクリックすると、画面レイアウトを変更するためのリストを左パネルに表示します。NVR のソフトウェアバージョンによって、画面レイアウト設定が Web CLINT 上で作れないため、NVR 本体で作成する必要があります。NVR 本体で画面レイアウトを作成しておくと、一覧表示することができます。詳細は「[5.2.3.スキームビューの順番](#)」を参照してください。


➤ ツールバーの概要


ボタン	説明
	画面分割切替えボタン。
	OSD 切替えボタン：OSD を有効と無効を切り替えることができます。 (OSD : On Screen Display)
	全画面ボタン：クリックすると全画面表示します。マウスを右クリックすると全画面表示を終了します。
	カメラの画像表示に使用するストリームを設定します。 [主ストリーム]をクリックすると、全てのカメラがカメラに設定されているメインストリームの画像を表示するようになります。 ※分割画面表示のとき全メインストリームをクリックするとネットワークデータが大きくなりすぎるときがあります。 [サブストリーム]をクリックすると、全てのカメラがカメラに設定されているサブストリームの画像を表示するようになります。
	手動アラームボタン。アラーム出力機能があるカメラを NVR に直接接続しているときに押すとアラーム出力を手動で操作することができます。 ※遠隔の NVR にアラーム出力機能を持つカメラを接続している場合、手動アラームの操作はできません。
	クリックすると、全てのカメラ映像を表示します。
	クリックすると、全てのカメラ映像を消します。
	クリックすると、すべてのカメラ映像をコンピュータへ録画します。  をクリックすると録画を停止します。録画ファイル保存先は「 12.1.1.TCP/IP 設定 」のローカル設定を参照します。
	手動録画の開始・停止ボタン。クリックすると、NVR のすべてのカメラ録画を開始します。  をクリックすると停止します。
	クリックすると、NVR との通話が有効になります。  をクリックすると通話が無効になります。

➤ 右パネルの概要


右パネル内の  をクリックして右パネルを非表示にしたり、 をクリックして右パネルを表示したりできます。

プレビュー領域でカメラをクリックすると 右パネル下部の一番下に各種操作パネルを選択できます。


 **操作** をクリックしてカメラ操作パネルに移動します。

 **レンズ制御** をクリックしてレンズ制御パネルに移動します。











 をクリックして PTZ パネルに移動します。

 **360°魚眼** をクリックして魚眼カメラの制御画面に移動します。

注：機能が無い場合、グレーアウトが表示されていません。

プレビュー領域でカメラ映像をクリックして選択してから、 をクリックすると、ライブビュー映像と録画ストリームを設定できます。必要に応じて、解像度、FPS、ビットレートを設定し、**[適用]**をクリックして保存します。

右パネル操作パネルの概要:

ボタン	説明
	スナップショット画像を取得できます。スナップショット画像の保存先は「 12.1.1. TCP/IP 設定 」のローカル設定を参照します。
	クリックすると、プレビューカメラを閉じます。
	コンピュータに録画を開始するボタンです。録画開始後、再度クリックすると録画を停止します。録画ファイルの保存先は「 12.1.1. TCP/IP 設定 」のローカル設定を参照します。
	NVR 本体に録画するには、このボタンをクリックします。(手動録画)
	デジタルズームイン。クリックすると、カメラの画像を拡大表示します。カメラ画像上でマウスをドラッグすると画像を上下左右に動かすことができます。
	デジタルズームアウト。クリックすると、カメラの画像を縮小表示します。
	クリックすると双方向の通話ができます。 ※NVR 本体にマイクやスピーカーを接続する必要があります。
	3Dズームイン機能は、P.T.Z カメラ用です。このボタンをクリックして有効にします。拡大したいところを左クリックしながら右下にドラッグします。マウスから手を離すと拡大表示します。広角画像に戻るときはマウスを右クリックしながらドラッグします。
	クリックすると、元の比率で表示することができます。
	スピーカーのアイコンをクリックして音声を有効にすると、カメラ側の音を聞くことができます。スライダバーを動かすと音量を調整できます。

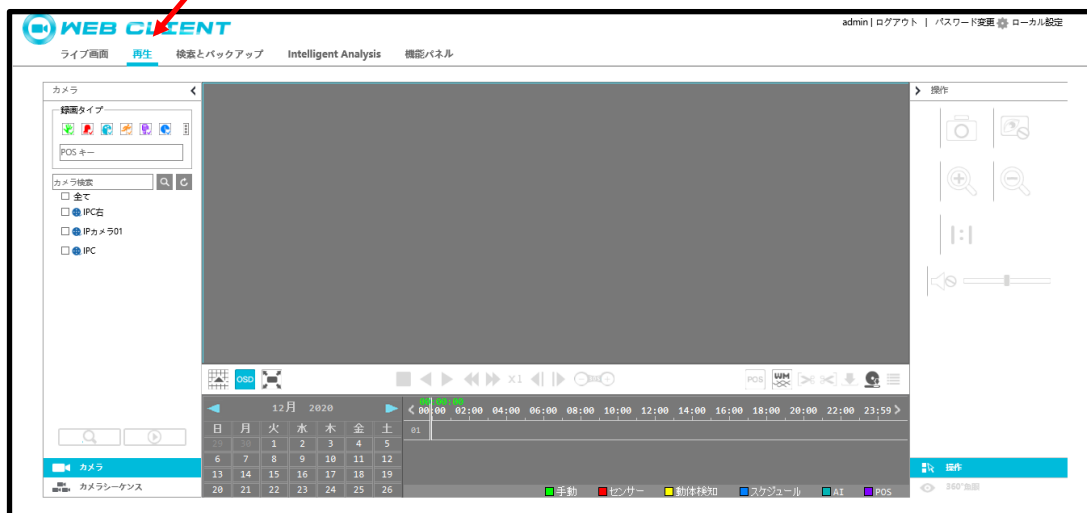
注：機能が無い場合、グレーアウトが表示されていません。

PTZ パネルの概要:PTZ カメラを選択したとき表示します。

ボタン	説明
	をクリックすると、ドームを回転させることができます。をクリックするとドームの回転を停止します。
	スライダーをドラッグすると、ドームの回転速度を調整することができます。
	をクリックすると、カメラ画像を拡大/縮小することができます。長く押しと連続して画像が拡大/縮小することができます。
	をクリックすると、フォーカスの調整をすることができます。
	をクリックすると、レンズの絞りを増減します。(手動絞りに対応したカメラのみ動作します。)
プリセット	[クルーズ]の横の矢印をクリックすると、プリセットリストを表示します。リスト内のボタンをクリックすると、プリセットを呼び出すことができます。
クルーズ	[プリセット]の横の矢印をクリックすると、クルーズリストを表示します。リスト内の対応するボタンをクリックすると、クルーズを開始または停止することができます。

13.4.2.リモート再生













レコーダーに保存している録画データを再生したいときは Web CLIENT の「再生」をクリックします。



- ① 左パネルの録画タイプ（マウスカーソルをアイコン上に置くと録画タイプを表示します）と再生したいカメラにチェックを入れます。タイムスケールの左横にあるカレンダーで録画日にチェックをします。（録画データがある日は青丸で示されています。）
- ② をクリックすると、録画データを検索します。
- ③ をクリックするか、タイムスケールのバーの上を直接クリックすると再生が始まります。

再生タイムスケール動作は、NVR の主プログラムのタイムスケールの動作と同様です。詳細は「[8.2.再生画面について](#)」を参照してください。

再生制御ボタンの概要:



ボタン	説明
	停止ボタン
	巻き戻しボタン。クリックすると、録画映像を逆再生します。
	再生ボタン。クリックすると、録画映像を再生します。
	一時停止ボタン。
	減速ボタン。クリックすると、再生速度が遅くなります。
	加速ボタン。クリックすると、再生速度が速くなります。
	前のフレームに戻るボタン。 これは、1 分割の画面モードで順方向再生が一時停止しているときのみ動作します。
	次のフレームに進めるボタン。 これは、1 分割の画面モードで順方向再生が一時停止しているときのみ動作します。
	 をクリックすると、30 秒巻き戻し、  をクリックすると 30 秒早送りします。
	バックアップタスクボタン。 クリックすると、バックアップの進捗を表示します。
	イベントリストボタン。 クリックすると、手動/スケジュール/センサー/モーションのイベント記録を表示します。

13.4.3.リモート検索とバックアップ



録画映像の検索と録画データのバックアップをしたいときは Web CLIENT の「検索とバックアップ」をクリックします。イベントまたは時間指定でバックアップができます。



➤ イベント検索



左パネルにある録画タイプにチェックし、 をクリックして開始時間と終了時間を設定します。検索したいカメラにチェックし、右側の  をクリックしてイベントを検索します(検索されたイベント録画データをリスト表示します)。バックアップしたいデータの録画データにチェックして、画面下段の[バックアップ]をクリックします。バックアップを開始します。


➤ 日時検索

画面の左側の  をクリックすると、バックアップしたい開始時間と終了時間を設定できます。バックアップしたいカメラをチェックして右側の  をクリックします。ポップアップしたウィンドウで録画データを保存するフォルダを指定して「OK」ボタンを押すとバックアップを開始します。

➤ 画像管理

画像管理画面に移動するには[画像管理]をクリックします。レコーダーにキャプチャされた静止画像を自動的にリストに表示します。

 をクリックすると静止画像を表示します。画像表示したウィンドウ下部の  をクリックして画像をバックアップできます。

 をクリックすると、バックアップウィンドウがポップアップ表示され PC または USB メモリなどにバックアップできます。

 をクリックすると画像を削除します。

➤ バックアップ状態

[バックアップ状態]をクリックすると、バックアップを実行している進捗状態を表示します。[一時停止]をクリックした場合、バックアップを一時停止します。バックアップを続行するには[再開]をクリックします。[削除]をクリックすると、バックアップを削除します。

13.4.5.機能パネル

NVR 本体に接続したカメラ、録画設定、アラーム、HDD、ネットワーク、ユーザー権限、システムを設定したいときは Web CLIENT の「機能パネル」をクリックします。これらの設定はすべて、NVR の設定と同様です。詳細については NVR の設定を参照してください。



付録

付録 A : よくある質問

Q1.HDD が見つからないのはなぜですか？

- a. HDD の電源ケーブルと SATA データケーブルを確認して、それらが良好であることを確認してください。
- b. 1U または小さい 1U の一部の NVR では、AC 電源アダプタが HDD が動作するのに十分でない場合があります。NVR に付属の AC 電源アダプタを使用してください。
- c. HDD が NVR と互換性があることを確認してください。詳細は「[付録 C : 互換デバイス一覧](#)」を参照してください。
- d. HDD が壊れている可能性があります。

Q2.カメラウィンドウの一部または全部に画像が出力されていないのはなぜですか？

- a. カメラに設定してある解像度が NVR に対応している解像度なのか確認してください。
- b. IP カメラと NVR のネットワークケーブルが両方とも接続されていることを確認してください。ネットワークパラメータが正しく設定されていることも確認してください。
- c. ネットワークとスイッチの両方が正常に動作することを確認してください。

Q3.NVR を正常に起動した後、モニタ画面に映像出力が表示されません。

- a. 高精細モニタと HDMI ケーブルまたは VGA のケーブルが良好に接続されていることを確認してください。
- b. モニタ画面が 1280*1024、1920*1080 または 3840*2160(4K*2K)の解像度をサポートしていることを確認してください。NVR は、解像度が 1280*1024 より低い画面に表示することはできません、あるいは、画面の解像度は NVR によってサポートされていない可能性があります。NVR を起動する前に、1280*1024、1920*1080 または 3840*2160 解像度に画面を変更してください。
- c. マウスの右ボタンを 5 秒間以上押し続けると、モニタ出力がレコーダーのサポートしている低解像度に自動的に切り換わります。

Q4.パスワードを忘れた場合はどうすればよいですか

- a. admin のパスワードは、[秘密の質問編集]機能を通じてリセットすることができます。ログインウィンドウで[パスワード復旧]をクリックし、選択した質問の回答をポップアップウィンドウに入力します。すべての質問に正しく回答したら、admin のパスワードをリセットできます。質問の答えを忘れた場合、この方法ではパスワードをリセットできません。その場合は販売店にお問い合わせください。
 - b. 管理者権限以外のユーザーのパスワードは管理者がリセットすることができます。詳細は「

c. 11.1.1.2.ユーザーの編集」を参照してください。

Q5.NVR は IP カメラの最大数まで追加できませんか？

16CH NVR を例にあげます。一部の 16CH NVR は入力帯域幅が最大 120Mbps に対応しています。下の図を参照してください。残りの帯域幅は、追加する IP カメラの帯域幅より大きい必要があります。残りの帯域幅を広げるには、登録しているカメラのビットレート設定を下げる必要があります。

The screenshot shows a window titled 'カメラ追加' (Add Camera) with a close button (X) in the top right. Below the title bar are three tabs: '簡単追加' (Simple Add), '手動追加' (Manual Add), and 'レコーダーの追加' (Add Recorder), with the last one being active. The main area contains a table with the following columns: No., デバイス名 (Device Name), アドレス (Address), ポート (Port), 編集 (Edit), モデル (Model), and シリアルNo. (Serial No.).

No.	デバイス名	アドレス	ポート	編集	モデル	シリアルNo.
1	1234zcvb(0/32)	10.10.1.79	8036	✎	TD-3532H8	00:18:AE:AC:DC:3C
2	Device Name(0/8)	10.10.6.93	8036	✎	3108B1	00:18:AE:00:48:5A
3	Device Name(0/64)	10.10.6.229	8036	✎	TD-3364B8	42:A6:6C:E0:B2:44
4	Device Name(0/32)	10.10.6.230	8036	✎	TD-3532H8...	00:18:AE:56:C6:81
5	X-20(0/16)	10.10.6.251	8036	✎	3316B2-0P...	00:18:AE:CA:27:BC
6	Device Name(0/16)	10.10.7.06	8036	✎	TD-3316B4...	00:18:AE:00:4C:A0
7	Device Name(0/8)	10.10.7.111	8036	✎	FFF	00:18:AE:58:00:8D
8	Device Name(0/128)	10.10.7.165	8036	✎	TD-3512B8...	00:18:AE:00:48:30

At the bottom left of the window, there is a label '残りの帯域幅' (Remaining Bandwidth) with a red box around the value '153 / 160 Mb'. At the bottom right, there are four buttons: '初期パスワード' (Initial Password), '手動追加' (Manual Add), '追加' (Add), and '中止' (Cancel).

Q6.NVR のコンポジット端子に接続するアナログカメラが、カメラリストに自動的に表示されません

- IP カメラを使用する設定になっている場合があります。その場合、まずアナログカメラを使用するように設定を変更する必要があります。「4.1.3.カメラ信号」を参照して確認ください。
- コンポジット端子のリソースが、ネットワークを介して追加された別の IP カメラによって占有されている可能性があります。他のコンポジット端子に変更するか、占有している IP カメラを削除する必要があります。「4.1.3.カメラ信号」を参照して確認ください。削除した IP カメラは、接続上限になっていなければ、再度カメラ追加で追加できます。

Q7.IP カメラはカメラリストに表示されていますが、画像出力がないのはなぜですか？

IP カメラのユーザー名とパスワードが正しいことを確認してください。IP カメラのユーザー名とパスワードは、以下の 2 つの方法で変更できます。

- ① [設定メニュー]→[カメラ]→[カメラ編集]と進み以下のメニューに移動します。🖱️ クリックして IP カメラのユーザー名とパスワードを変更します。(ポップアップしたウィンドウで IP カメラのユーザー名とパスワードを修正し、次に[OK]をクリックします。)



The screenshot shows a web interface for camera management. At the top, there are tabs for 'カメラ編集' (Camera Edit), 'カメラグループ設定' (Camera Group Settings), and 'IP状況' (IP Status). Below the tabs is a search bar labeled 'カメラ検索' and a 'カメラ追加' (Add Camera) button. The main content is a table with the following columns: No., カメラ名 (Camera Name), アドレス (Address), ポート (Port), 状態 (Status), プロトコル (Protocol), モデル (Model), プレビュー (Preview), 編集 (Edit), 更新 (Update), and バージョン (Version). The first row is highlighted with a red box.

No.	カメラ名	アドレス	ポート	状態	プロトコル	モデル	プレビュー	編集	更新	バージョン
1	IPC右	192.168.10.99	9008	オンライン	IP Camera	X009RD			↑	4.3.0.0
2	[POE02]IPカメラ01	192.168.11.102	9008	オンライン	IP Camera	D063RW			↑	4.2.1.0
3	IPC	192.168.10.251	9008	オンライン	IP Camera	D046QW			↑	4.2.1.0

- ② ライブ画面に移動し、画像の出ていないチャンネルの右上にある をクリックして、IP カメラのユーザー名とパスワードを修正することもできます。

Q8.録画できませんが、なぜですか？

- 使用前に HDD の初期化を実行していることを確認します。
- 録画スケジュールがカスタマイズモードで設定されていませんか？ 詳細については、「

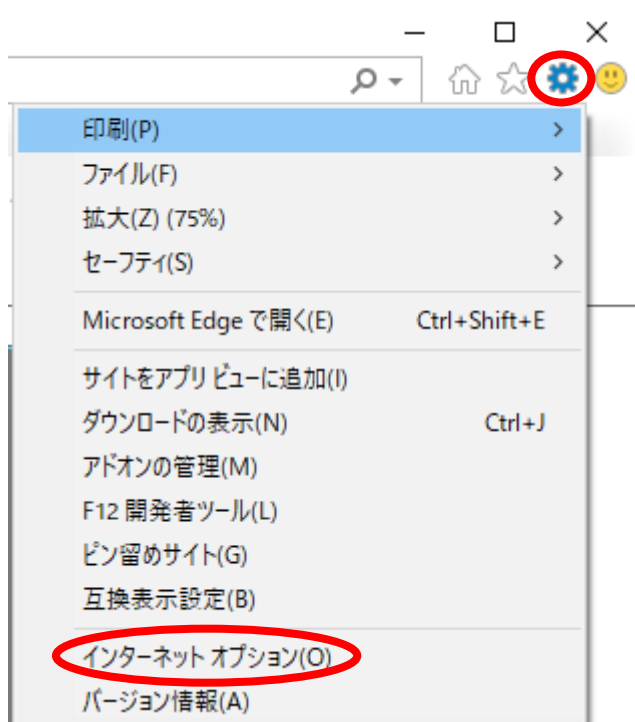
- c. 7.1.2.録画スケジュール設定」を参照してください。
- d. HDD が容量フルの可能性がありま。DISK 管理から HDD 情報を確認し、必要に応じて上書き機能（Cycle Record）にチェックを入れてください。（詳細は「7.1.3.高度な設定」を参照してください。）
 - e. カメラが割り付けられているディスクグループにディスクが存在しません。少なくとも1つのディスクをグループに追加してください。詳細は「
- f. 7.4.2.記録モードの設定」を参照してください。
- g. HDD が壊れている可能性があります。別の HDD に交換してください。

Q9.IE（Internet Explorer）を介して NVR にリモートでアクセスできません。

- a. IE バージョンが IE8 以上であることを確認してください。
- b. PC がファイアウォールを有効にしているか、ウイルス対策ソフトウェアをインストールしているかを確認してください。ファイアウォールを無効にし、ウイルス対策ソフトウェアを停止した後、再度 NVR にアクセスしてください。
- c. [ユーザー権限]の設定で許可と不許可リストが設定されている可能性があります。PC の IP アドレスが不許可リストに含まれるか、または、許可リストから外れた PC は NVR にリモートアクセスできません。

Q10.ActiveX コントロールをダウンロードできません。何をすればできますか？

- a. IE ブラウザは ActiveX コントロールをブロックします。以下の手順に従ってセットアップを行ってください
 - ① IE ブラウザを開きます。⚙️ をクリックしてインターネットオプションを開きます。



- ② [セキュリティ]→[カスタムレベル]を選択します。図 10-1 を参照してください。
 - ③ ActiveX コントロールとプラグインの下にあるすべてのサブオプションを有効にします。図 10-2 を参照してください。
 - ④ 次に、[OK]をクリックしてセットアップを完了します。
- b. 他のプラグインまたはアンチウイルスは、ActiveX をブロックする可能性があります。設定を無効にするか、必要な設定を

行ってください。

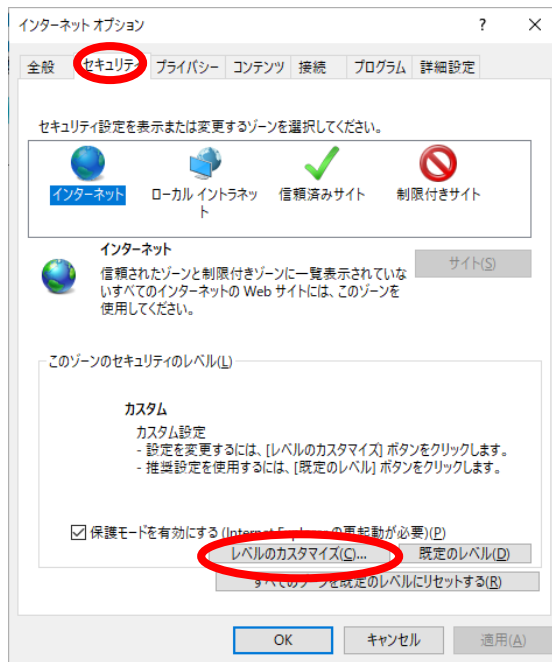


図 10-1

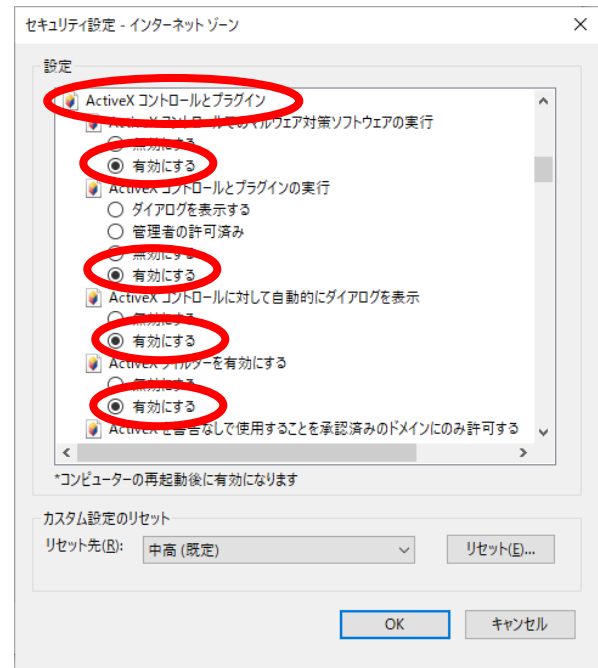


図 10-2

Q11. バックアップファイルを再生する方法は？

- NVR によってバックアップされた録画映像：録画された映像が保存されている USB メモリを PC の USB インターフェイスに挿入します。USB メモリのパスを開きます。録画された映像は、NVR でプライベートフォーマットと AVI 形式でバックアップできます。
- 録画映像を NVR でバックアップする時にプライベートフォーマット形式（個人用）を選択すると、録画映像データとともに自動的に USB メモリに RPAS 圧縮ファイル（RPAS.zip：再生プレーヤー）がバックアップされます。録画データを再生するには再生プレーヤーを起動する必要があります。再生プレーヤーを起動するには RPAS.zip を解凍します。解凍後に Play from USB フォルダが生成されます。生成されたフォルダ内にある RPAS.exe をクリックします。RPAS プレーヤーを起動し、画面の中央にある[フォルダを開く]をクリックしてフォルダを選択します。プレイリストの右側の **+** をクリックしてもフォルダを開くことができます。図 11-1 を参照してください。

再生プレーヤー画面の左側にあるツリーに表示したフォルダをダブルクリックすると録画データの再生が始まります。カメラ画像の下にあるツールバーの **+** をクリックして、オーディオを有効にします。図 11-2 を参照してください。

Note:

NVR で録画するときに音声を無効にすると、録画には音声はバックアップされません。詳細については、「7.1.1.モード設定」および「7.2.エンコードパラメータの設定」を参照してください。

- 録画映像を NVR でバックアップする時に、AVI 形式を選択した場合、VLC media player または、GOM player をインストールしてから再生してください。Windows media player では再生できません。
- Internet Explorer 経由でバックアップした場合、録画映像は AVI 形式のみになります。録画された映像は、VLC

media player または、GOM player をインストールしてから再生してください。Windows media player では再生できません。

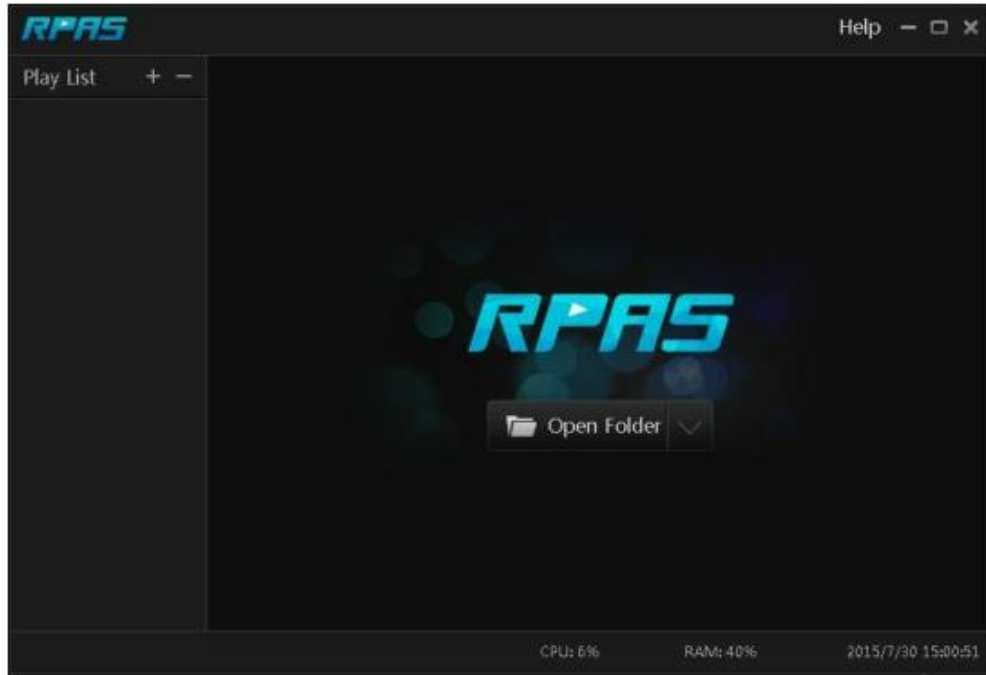


図 11-1

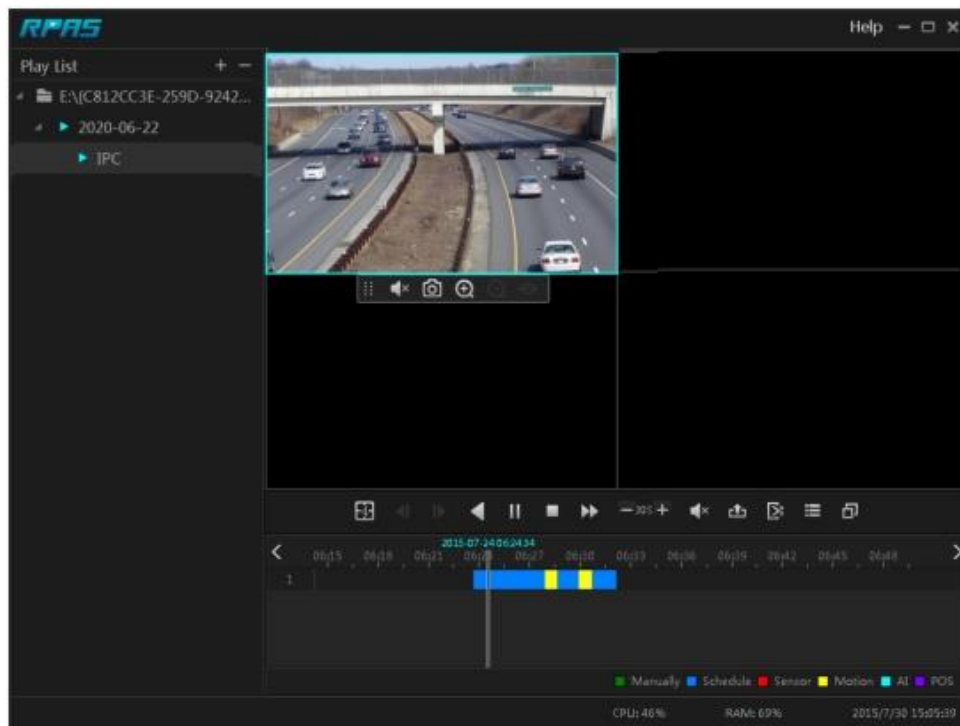


図 11-2

付録 B : 記録容量を計算する

記録容量は主に録画の解像度、録画ストリーム、ビットレートで決まります。異なる録画パラメータは、同じ録画時間でも異なる記録容量となります。録画の解像度、録画ストリーム、および録画ビットレートが大きいほど、ディスク容量は同じ時間でより多く使用されます。記録容量の計算形式は以下の通りです。

記録容量(MB)=ビットレート(Kbps)÷1024÷8×3600×1 日あたりの記録時間×録画の日数×チャンネル数
3600 は 1 時間の録画を意味します(1TB=1024GB、1GB=1024MB、1MB=1024KB、1 バイト=8 ビット)。

録画ビットレート (Kbps)	1 時間あたりの使用容量 (MB/hour)	1 日あたりの使用容量 (MB/day)
10240	4500	108000
8192	3600	86400
6144	2700	64800
4096	1800	43200
3072	1350	32400
2048	900	21600
1024	450	10800
768	337.5	8100
512	225	5400
384	168.75	4050
256	112.5	2700

次の表は、30 日間の録画保存した場合の記録容量要件を示しています。

録画ビットレート (Kbps)	記録容量(TB)					
	1CH	4CH	8CH	16CH	32CH	64CH
10240	3.09	12.36	24.72	49.44	98.88	197.76
8192	2.48	9.89	19.78	39.56	79.11	158.21
6144	1.86	7.42	14.84	29.67	59.33	118.66
4096	1.24	4.95	9.89	19.78	39.56	79.11
3072	0.93	3.71	7.42	14.84	29.67	59.33
2048	0.62	2.48	4.95	9.89	19.78	39.56
1024	0.31	1.24	2.48	4.95	9.89	19.78
768	0.24	0.93	1.86	3.71	7.42	14.84
512	0.16	0.62	1.24	2.48	4.95	9.89
384	0.12	0.47	0.93	1.86	3.71	7.42
256	0.08	0.31	0.62	1.24	2.48	4.95

たとえば、1 日 24 時間の録画で 32CH NVR が 30 日間保存するとします。NVR は 2 個のストリームを録画するとします。メインストリームは 4096Kbps で、サブストリームは 1024Kbps で、総記録容量は 49.45TB (39.56TB + 9.89TB)です。

ディスクのフォーマット損失が約 10%であることを考慮すると、必要なディスク容量は 55TB($49.45\text{TB} \div (1-10\%)$)になります。

付録 C : 互換デバイス一覧

互換性のある HDD リスト

ブランド・シリーズ		容量
Seagate	BarraCuda シリーズ	500GB/1TB/2TB/3TB
	SV35 シリーズ(推奨)	1TB/2TB/3TB
	監視 HDD シリーズ(推奨)	1TB/2TB/3TB/4TB/6TB/8TB
Western Digital	BLUE シリーズ	500GB/1TB
	Green シリーズ	2TB/3TB/4TB
	Purple シリーズ(推奨)	1TB/2TB/3TB/4TB/6TB/8TB

互換性のある USB モバイルデバイス

ブランド	容量
SSK	2GB
Netac	4GB
Kingston	2GB/8GB/16GB/32GB
Aigo	2GB
Smatter vider	1GB
SanDisk	4GB/8GB/16GB/32GB

付録 D : 通信ポートリスト

ポート	プロトコル (TCP/UDP)	説明
80	TCP	説明: HTTP 通信ポート。これはデフォルトで開かれ、WEB クライアントからのアクセスに利用されます。 認証: ユーザー名とパスワード 暗号化: NO
443	TCP	説明: HTTPS 通信ポート。これはデフォルトで開かれ、WEB クライアントからのアクセスに利用されます。 認証: ユーザー名とパスワード 暗号化: TLS
554	TCP	説明: RTSP 通信ポート。既定では閉じられます。RTSP 機能を有効にすると、このポートが開かれ、音声および映像ストリームの転送に使用されます。 認証: ユーザー名とパスワード(ダイジェスト) 暗号化: NO
6036	TCP	説明: プライベート通信ポート。これはデフォルトで開かれ、音声および映像ストリームを転送するために使用されます。 認証: ユーザー名とパスワード(ダイジェスト) 暗号化: AES
9036	TCP	説明: このポートは、POS 端末またはプリンターから送信された情報を受信するために主に使用され、デフォルトで開かれます。情報は、プレビューモードまたは記録モードで設定した IP カメラの画像上にオーバーレイされます。 認証: いいえ 暗号化: いいえ
41952	TCP	説明: このポートは、主に他の UPnP デバイスから送信された要求を受信し、他の UPnP デバイスと通信するために使用されるデフォルトで開かれています。 認証: いいえ 暗号化: いいえ
41953	TCP	説明: このポートはデフォルトで閉じられています。UPnP 機能が有効になると、このポートも有効になります。これは主に他の UPnP デバイスから送信された要求を受信し、他の UPnP デバイスと通信するために使用されます。 認証: いいえ 暗号化: いいえ
1900	UDP	説明: このポートは、デフォルトでオープンしており、SSDP を有効にして検索して実行するために使用されます。また、他のオンライン UPnP デバイスからマルチキャストパケットを受信するためにも使用されます。 認証: いいえ 暗号化: いいえ

製品仕様

型番	R004 (4ch)	R008 (8ch)	R016(16ch)	
圧縮方式	Standard H.265 High Profile			
OS	Embedded Linux			
ペンタプレックス機能	ライブ映像表示、録画、再生、バックアップ、遠隔監視の同時操作可能			
映像信号フォーマット	AHD、HD-TVI、HD-CVI、CVBS			
カメラ接続数(アナログ+IP)	6=ANA:4+IP:2	12=ANA:8+IP:4	24=ANA:16+IP:8	
IPカメラ接続数(IP のみの場合)	6	12	16	
映像出力	MAIN	2(HDMI、VGA)		
	SPOT	非対応		
音声入出力	入力:1(RCA)/出力:1(RCA)			
I/F	USB2.0	2		
	RS-485	非対応		
	LAN	1(10/100Mbps)		
	センサー入力	非対応		
	アラーム出力	非対応		
	eSATA	非対応		
	内蔵 SATA	1(最大 8TB)		
	CoC 制御	対応		
ライブ	HDMI 解像度	1920×1080、1280×1024、1024×768		
	VGA 解像度	1920×1080、1280×1024、1024×768		
	分割数	1,4,6,9	1,4,6,9,16	
	デジタル ZOOM	対応		
	録画レート(アナログ)	1080p、720p、NTSC で 30fps/ch		
	録画レート(IPC)	1080p、720p で 30fps/ch		
	同時再生チャンネル数	4	8	16
	録画モード	手動、連続、イベント、センサー、連続+イベント、連続+センサー、連続+イベント+センサー		
	検索モード	手動、カレンダー、イベント、タグ		
	再生解像度	1080p、720p、VGA(サブストリーム)		
	再生速度	x1/32、x1/16、x1/8、x1/4、x1、x2、x4、x8、x16、x32		
	Backup デバイス	USB フラッシュメモリ		
	Backup ファイル	AVI、独自ファイル形式		
ネットワーク	TCP/IP、PPPoE、DHCP、DNS、DDNS、UPnP、NTP、SMTP、RTSP、ONVIF			
操作方法	USB マウス			
電源電圧	DC+12V			
消費電力	Max5W	Max8W	Max10W	
動作温度/湿度	-10~50°C / 10~90% RH			
寸法 mm(突起部除く)	W255×H42×D222		W255×H42×D234	
重量(HDD 除く)	0.7kg	0.7Kg	0.9Kg	

製品保証

- ◆ 故障かなと思われた場合には、弊社カスタマサポートまでご連絡ください。
 - 1) 修理を依頼される前に今一度、この取扱説明書をご確認ください。
 - 2) 本製品の保証期間内の自然故障につきましては無償修理させていただきます
 - 3) 故障の内容により、修理ではなく同等品との交換にさせて頂く事があります。
 - 4) 弊社への送料はお客様の負担とさせていただきますのでご了承ください。

初期不良保証期間：

ご購入日より **3ヶ月間** (弊社での状態確認作業後、交換機器発送による対応)

製品保証期間：

《本体》ご購入日より **1年間** (お預かりによる修理、または交換対応)

- ◆ 保証期間内であっても、以下の場合は有償修理とさせていただきます。
(修理できない場合もあります)
 - 1) 使用上の誤り、お客様による修理や改造による故障、損傷
 - 2) 自然災害、公害、異常電圧その他外部に起因する故障、損傷
 - 3) 本製品に水漏れ・結露などによる腐食が発見された場合
- ◆ 保証期間を過ぎますと有償修理となりますのでご注意ください。
- ◆ 一部の機器は、設定を本体内に記録する機能を有しております。これらの機器は修理時に設定を初期化しますので、お客様が行った設定内容は失われます。恐れ入りますが、修理をご依頼頂く前に、設定内容をお客様にてお控えください。
- ◆ 本製品に起因する損害や機会の損失については補償致しません。
- ◆ 修理期間中における代替品の貸し出しは、基本的に行っておりません。別途、有償サポート契約にて対応させていただきます。有償サポートにつきましてはお買い上げの販売店にご相談ください。
- ◆ 本製品の保証は日本国内での使用においてのみ有効です。

製品に関するご質問・お問い合わせ先

ハイテクインター株式会社

カスタマサポート

TEL 0570-060030

E-mail support@hytec.co.jp

受付時間 平日 9 : 00 ~ 17 : 00